

平成28年度一般会計等決算

概要説明資料

議員全員協議会

資料1	<p>新規事業・主要事業の成果及び評価並びに改善点</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 一般会計(2) 特別会計
資料2	<p>決算関係資料</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 補助金負担金の交付団体、責任者、使用目的等一覧(2) 借地の所在地、面積、契約金額等一覧(3) 執行状況（不用額）に関する一覧【別冊】(4) 平成27年度繰越明許費決算調書(5) 平成28年度継続費繰越調書(6) 平成28年度繰越明許費繰越調書

平成29年8月16日

鳩山町

<目次>

- ・資料の説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2 p

- ・資料1 新規事業・主要事業の成果及び評価並びに改善点
 - (1) 一般会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3 p ～56 p
 - (2) 特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57 p ～66 p

- ・資料2
 - (1) 補助金負担金の交付団体、責任者、使用目的等一覧・・・・・・・・・・67 p ～71 p
 - (2) 借地の所在地、面積、契約金額等一覧・・・・・・・・・・・・72 p ～80 p
 - (3) 執行状況（不用額）に関する一覧・・・・・・・・ 【別冊】
 - (4) 平成27年度繰越明許費決算調書・・・・・・・・・・・・・・・・81 p ～84 p
 - (5) 平成28年度継続費繰越調書・・・・・・・・・・・・・・・・85 p ～86 p
 - (6) 平成28年度繰越明許費繰越調書・・・・・・・・・・・・87 p ～89 p

【資料の説明】

1 はじめに

この資料は、平成 28 年度行政報告書を補完する資料として作成したものです。

行政報告書⇒地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づき、主要な施策の概要を報告する資料。

2 資料の構成

この資料は、次の構成となっています。

(資料 1) 新規事業・主要事業の成果及び評価並びに改善点

(資料 2) 決算関係資料

資料 1	新規事業・主要事業の成果及び評価並びに改善点 (1) 一般会計 (2) 特別会計
資料 2	決算関係資料 (1) 補助金負担金の交付団体、責任者、使用目的等一覧 (2) 借地の所在地、面積、契約金額等一覧 (3) 執行状況（不用額）に関する一覧【別冊】 (4) 平成27年度繰越明許費決算調書 (5) 平成28年度継続費繰越調書 (6) 平成28年度繰越明許費繰越調書

3 (資料 1) 新規事業・主要事業の成果及び評価並びに改善点

当初予算参考資料の一般会計事業概要に掲載した事業、及び補正予算で措置した主要事業について、事業の実施概要と成果及び評価並びに改善点を一覧表で整理したものです。

なお、特別会計及び企業会計も一般会計に準じて整理しました。

4 決算関係資料（資料 2）

「補助金負担金」、「借地」、「不用額」の状況について、一覧表で整理したものです。なお、不用額一覧については、節及び細節の全ての執行率を表で整理してあります。

また、近年は国の補助金等の活用に伴い、繰越明許事業が多くなっています。そこで「平成 27 年度繰越明許費決算調書」、「平成 28 年度継続費繰越調書」及び「平成 28 年度繰越明許費繰越調書」を作成しました。

資料 1

新規事業・主要事業の実施概要



資料 1 - (1) 新規事業・主要事業の実施概要（一般会計）

(注) **新**=新規事業。 **補**=補正予算で措置した事業。当初予算額には繰越予算を含む事業がある。

■款 1 議会費

項 1 議会費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
1	議会だより印刷製本費	<p>(1) 事業の概要 定例会ごとに年間 4 回発行する議会広報の印刷 委託業者名：大屋印刷(株)（深谷市）</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.9% 議員が 2 名欠員となり、当初の想定よりもページ数が少なくなったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 5/1・8/1・11/1・2/1 付け発行 4 回×5,600 部、年間 22,400 部発行 定例会中から編集委員会を開催し、読みやすい紙面の発行を心がけた。 議員が積極的にアイデアを出し、わかりやすく、充実した紙面づくりに努めた。また、以前から議会だよりの音訳をボランティアの方の協力により行っていたが、8/1 発行の第 133 号より、一般質問のページを議員が音訳するなど、新たな試みにも挑戦した。</p>	
	当初予算額		1,063 千円
	補正予算額		△184 千円
	決算額		879 千円
	①所管課⇒議会事務局 ②総合計画⇒		
2	会議録作成委託料	<p>(1) 事業の概要 定例会、臨時会及び常任委員会の会議録作成業務 委託業者名：(株)会議録研究所（東京都新宿区）</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 88.3%。会議録のページ数が、想定よりも少なかったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 H28 年第 1 回定例会会議録 406 頁 16 部 412,888 円…校正・印刷まで H28 年第 2 回定例会会議録 240 頁 16 部 531,739 円…一式 H28 年第 3 回定例会会議録 311 頁 16 部 782,144 円…一式 H28 年第 4 回定例会会議録 224 頁 16 部 535,783 円…一式 H28 年第 1 回臨時会(5 月)会議録 27 頁 16 部 64,471 円…一式 H28 年第 2 回臨時会(7 月)会議録 19 頁 16 部 30,360 円…一式 H29 年第 1 回臨時会(1 月)会議録 33 頁 16 部 72,765 円…一式 H29 年第 1 回定例会会議録 367 頁 16 部 554,238 円…反訳・粗原まで 総務産業委員会会議録 8 回分 210,468 円 福祉文教委員会会議録 8 回分 256,432 円 合計 3,451,288 円 粗原稿の納期限を早めたことにより、議会だよりの原稿作成及び校正作業など、短期間作業が可能となり、また会議録や議会音声配信の速報版公開も行っている。近隣議会からも関心を寄せられている。</p>	
	当初予算額		3,909 千円
	補正予算額		0 千円
	決算額		3,452 千円
	①所管課⇒議会事務局 ②総合計画⇒		
3	議員共済会負担金	<p>(1) 事業の概要 議員年金の町負担分（全額交付税措置）</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 なし</p>	
	当初予算額		13,432 千円
	補正予算額		0 千円
	決算額		13,431 千円
	①所管課⇒議会事務局 ②総合計画⇒		

■款 2 総務費

項 1 総務管理費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果																																					
4	今宿コミュニティセンター管理代行料	<p>(1) 事業の概要 平成 26 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで、(株)クリーン工房を指定管理者に指定し、施設の管理運営の合理化と住民サービスの向上及び経費削減を図るものである。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 指定管理者が管理運営のすべてを行うことにより、町が直接管理するよりも相当の経費節減に繋がっている。</p>																																					
	当初予算額		6,892 千円																																				
	補正予算額		0 千円																																				
	決算額		6,892 千円																																				
	①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒																																						
5	ふれあいセンター・梅沢集会所管理代行料	<p>(1) 事業の概要 平成 28 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで、(株)セイウンを指定管理者に指定し、施設の管理運営の合理化と住民サービスの向上及び経費削減を図るものである。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 指定管理者が管理運営のすべてを行うことにより、町が直接管理するよりも相当の経費節減に繋がっている。</p>																																					
	当初予算額		7,500 千円																																				
	補正予算額		0 千円																																				
	決算額		7,500 千円																																				
	①所管課⇒総務課(東出張所) ②総合計画⇒																																						
6	タウンセンター施設管理費負担金	<p>(1) 事業の概要 タウンセンターの共有部分の各施設の維持管理、保守点検及び修繕等に係る町負担金である。町と株式会社アセット・ワンで締結しているタウンセンター管理組合に関する協定に基づき管理組合を設置し、ホームライフ管理株式会社鳩山支店に施設管理等を委託している。 負担割合は、タウンセンターに占める面積割合とし、次のとおりである。</p> <p>共有部分の管理費 7,376,400 円 町(48.568%) 3,582,570 円 アセット・ワン(51.432%) 3,793,830 円</p> <p style="text-align: right;">(単位：㎡)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象範囲</th> <th>1 階</th> <th>2 階</th> <th>3 階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">タウンセンター共有部分</td> <td>プラザ</td> <td>315.849</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>階段室</td> <td>20.492</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>E V</td> <td>9.802</td> <td>E V 14.355</td> <td>E V 13.339</td> </tr> <tr> <td>EV 機械室</td> <td>8.604</td> <td>PS, EPS 19.413</td> <td>通路階段 76.897</td> </tr> <tr> <td>電気室</td> <td>54.279</td> <td>通路階段 269.261</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受水槽室</td> <td>64.506</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PS, EPS</td> <td>17.284</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>884.081</td> <td>490.816</td> <td>303.029</td> <td>90.236</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 タウンセンター管理組合に関する協定書に基づき管理組合を設置し、施設管理を実施することにより、効率の良い施設の維持管理及び人件費の削減に繋がっている。</p>	対象範囲	1 階	2 階	3 階	タウンセンター共有部分	プラザ	315.849			階段室	20.492			E V	9.802	E V 14.355	E V 13.339	EV 機械室	8.604	PS, EPS 19.413	通路階段 76.897	電気室	54.279	通路階段 269.261		受水槽室	64.506			PS, EPS	17.284			884.081	490.816	303.029	90.236
	対象範囲		1 階	2 階	3 階																																		
	タウンセンター共有部分		プラザ	315.849																																			
			階段室	20.492																																			
E V		9.802	E V 14.355	E V 13.339																																			
EV 機械室		8.604	PS, EPS 19.413	通路階段 76.897																																			
電気室		54.279	通路階段 269.261																																				
受水槽室		64.506																																					
PS, EPS		17.284																																					
884.081	490.816	303.029	90.236																																				
当初予算額	3,583 千円																																						
補正予算額	0 千円																																						
決算額	3,583 千円																																						
	①所管課⇒総務課(東出張所) ②総合計画⇒																																						

7 新	タウンセンター施設修繕費負担金		<p>(1) 事業の概要 タウンセンターの共有部分の各施設の修繕費に係る町負担金である。町と株式会社アセット・ワンで締結しているタウンセンター管理組合に関する協定に基づくもので、必要に応じてその都度負担するもの。負担割合は、タウンセンター施設管理費負担金と同じである。</p> <p>①タウンセンター通路雨水防止改修工事負担金 89千円 ②タウンセンター消防設備等修繕費負担金 380千円 ③タウンセンター電気設備受入れ試験等負担金 99千円 ④タウンセンター非常用発電設備交換工事負担金 446千円</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 96.8% 当初は①の89千円予算計上したが、非常用電気設備の定期点検等で②③④の指摘があったことから、早急に修繕等の必要が生じたことから補正で対応した。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 タウンセンター管理組合に関する協定書に基づく、施設修繕費負担金であり、施設運営の効率化及び安全・安心な施設運営に繋がっている。</p>
	当初予算額	89千円	
	補正予算額	958千円	
	決算額	1,014千円	
<p>①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒</p>			
8	コミュニティ施設特別整備事業補助金		<p>(1) 事業の概要 地区のコミュニティ活動の振興を図るとともに、地域住民の集いの場や身近な生活環境施設などコミュニティ関連施設の整備事業に対して、その一部を補助する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.8%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 大字大豆戸地区のコミュニティ活動の拠点である大豆戸公会堂にスロープを設置し、バリアフリー化を行った。車イス等でも公会堂を使用できるようになり、地域住民が安心して集いを行えるようになった。</p>
	当初予算額	375千円	
	補正予算額	△51千円	
	決算額	323千円	
<p>①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒</p>			
9 新	ふれあいセンター3階会議室仕切りパネル修繕工事		<p>(1) 事業の概要 コミュニティ活動の拠点であるふれあいセンターについては、築20年が経過し、施設等が老朽化により破損し支障をきたしていることから、計画的に整備している。平成28年度は、ふれあいセンター3階会議室の仕切りパネルの修繕工事を実施。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 ふれあいセンター3階会議室仕切りパネルの修繕により、利用者等の負担が軽減し、施設等環境の向上も図られ住民の方が安心して快適にコミュニティ活動を行えるようになった。</p>
	当初予算額	240千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	240千円	
<p>①所管課⇒総務課（東出張所） ②総合計画⇒</p>			
10	納涼夏まつり補助金		<p>(1) 事業の概要 『楽しさとさめく はとやまの夏』をメインテーマに鳩山町納涼夏まつり実行委員会主催による納涼夏まつりを開催。納涼夏まつりは8月6・7日、町中央公民館北側駐車場及び鳩山ニュータウンセンター地区広場で、まつりの風情を楽しみながら町民の交流を深め、人情にあふれる快適なまちづくりを推進する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 第1会場における盆踊り、打ち上げ花火、第2会場でのお祭りステージ、神輿の練り歩きなど、多くの人で賑わい町民の交流が深められた。</p>
	当初予算額	3,500千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	3,500千円	
<p>①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒⇒</p>			

11	交通安全対策経費（道路反射鏡設置等）		(1) 事業の概要																		
	当初予算額	598 千円	交通安全対策事業として、各季の交通安全運動期間中に西入間交通安全協会鳩山支部をはじめ、鳩山町交通安全母の会、西入間警察署等の各団体との連携を図り今宿交差点等の主要交差点を中心に、交通安全啓発品等を配布するとともに、交通ルールやマナーの遵守を呼びかけた。																		
	補正予算額	2,167 千円	また、敬老会やはとやま祭り、鳩山駅伝大会等の各種町の事業では、西入間交通安全協会鳩山支部の協力を得て、交通安全・交通秩序の確保を図った。なお、街頭等での啓発活動のほかに、道路反射鏡の設置や修繕事業等を実施した。																		
	決算額	2,835 千円	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 交通死亡事故ゼロ日数 3,000 日の達成に向け、交通安全啓発品等を購入し、町民に配布するとともに、更なる安心・安全なまちづくりに向けた意識啓発に取り組んだため。																		
①所管課⇒生活環境課 ②総合計画⇒社会資本の分野		(3) 成果及び評価並びに改善点 平成 21 年 2 月 2 日以降続いている交通死亡事故ゼロ日数を、平成 28 年度も継続することができた。 なお、人身事故の発生件数は平成 27 年の 39 件に対し、平成 28 年は 32 件と減少しているが、交通事故防止は永遠の課題でもあり、更なる啓発活動の実施に努めていかなければならない。																			
12	防犯対策経費（防犯灯管理・設置・補修等）		(1) 事業の概要																		
	当初予算額	19,769 千円	防犯対策事業として、「偶数月（4 月・10 月・12 月・2 月）の 15 日の年金支給日」における振り込み詐欺防止に向けた啓発活動を、西入間地区地域安全連絡推進協議会鳩山支部並びに職員、西入間警察署との連携により実施した。また、青色回転灯装備車による児童生徒の下校時間帯にあわせた自主防犯パトロール活動を、毎週月曜日に生活環境課と教育委員会が合同で、毎週水曜日には同鳩山支部により実施している。																		
	補正予算額	△2,446 千円	なお、住民が安全で安心して生活できるよう、防犯灯の電球切れ等の修理や交換業務等も継続して行った。																		
	決算額	16,630 千円	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 防犯灯器具修理交換費、電気料金等が最終的に見込み額を下回ったため。																		
①所管課⇒生活環境課 ②総合計画⇒社会資本の分野		(3) 成果及び評価並びに改善点 窃盗やひったくりなどの犯罪件数は平成 27 年が 59 件、平成 28 年は 58 件と横並びの状況となっているが、重大犯罪は発生していない。また、町職員を名乗る還付金詐欺の予兆電話も発生したが、被害が発生する状況までには至っていない。 しかしながら、犯罪等の被害防止に向け、防犯情報の定期的かつ積極的な発信が重要になってくるものと考えている。																			
13	鳩山町地域公共交通会議負担金（町内循環バス運行経費分）		(1) 事業の概要																		
	当初予算額	10,350 千円	運賃収入、国庫補助金で不足する分を負担することで、町内循環バスのニュータウンコース、ニュータウン石坂コース（1 台）を本格運行。なお、24 年度から国庫補助金の制度が大幅に変わり、補助金が減額された分の町負担金が大幅に増えた。しかし、道路運送法第 4 条許可を受けた事業者への赤字補填に変更した結果、町補填部分に対し特別交付税が措置され、実質的な町負担は少ない。																		
	補正予算額	0 千円																			
	決算額	10,350 千円																			
①所管課⇒町民課 ②総合計画⇒社会資本の分野		<table border="1"> <tr> <td>町内循環バス（1 台） 運行経費</td> <td>12,635 千円</td> <td colspan="2">*うち特別交付税対象額：運行経費から運賃収入、国庫補助金等を除いた額（一部見込額での算出のため決算額とは一致しない）10,176 千円・①</td> </tr> <tr> <td>財源内</td> <td>運賃収入</td> <td>1,118 千円</td> <td>8.9%</td> <td rowspan="3">①の 8 割に対して特別交付税措置 (10,176 千円×80%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>国庫補助金</td> <td>1,092 千円</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>町負担金</td> <td>10,350 千円</td> <td>81.9%</td> </tr> </table>			町内循環バス（1 台） 運行経費	12,635 千円	*うち特別交付税対象額：運行経費から運賃収入、国庫補助金等を除いた額（一部見込額での算出のため決算額とは一致しない）10,176 千円・①		財源内	運賃収入	1,118 千円	8.9%	①の 8 割に対して特別交付税措置 (10,176 千円×80%)		国庫補助金	1,092 千円	8.6%		町負担金	10,350 千円	81.9%
町内循環バス（1 台） 運行経費	12,635 千円	*うち特別交付税対象額：運行経費から運賃収入、国庫補助金等を除いた額（一部見込額での算出のため決算額とは一致しない）10,176 千円・①																			
財源内	運賃収入	1,118 千円	8.9%	①の 8 割に対して特別交付税措置 (10,176 千円×80%)																	
	国庫補助金	1,092 千円	8.6%																		
	町負担金	10,350 千円	81.9%																		

前年度繰越金	75千円	0.6%	8,140千円
合計	12,635千円	100.0%	

(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由
執行率 100.0%である。

(3) 成果及び評価並びに改善点
年間 12,554 人、1 日平均 36 人が利用した。

項 2 はとやま再生・創造費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
14	町道第1号線道路改良工事に伴う用地測量業務委託料	<p>(1) 事業の概要 鳩山町北部地域活性化基本条例第4条に基づき、平成27年3月に地域住民と町との協働により「泉井地区における活性化取組方針」を策定した。本事業は、この取組方針に基づく社会資本整備事業である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 H28年度における設計積算単価の入替等に併い当初見込額より全体事業費が増加した。これに対応するため他の北部地域活性化事業委託料からの流用を行ったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 町道第1号線道路改良工事は、平成27年度から平成31年度までの計画年数5年で計画している。2年目である平成28年度については、道路改良工事に伴う用地測量と物件調査を実施することができた。</p>	
	当初予算額		36,882千円
	補正予算額		0千円
	決算額		37,844千円
	①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒はとやま再生・創造戦略		
15	町道第56号線外道路改良工事に伴う用地測量等業務委託料	<p>(1) 事業の概要 鳩山町北部地域活性化基本条例第4条に基づき、平成27年3月に地域住民と町との協働により「泉井地区における活性化取組方針」を策定した。本事業は、この取組方針に基づく生活周辺環境整備事業である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 入札執行により事業費の削減が図れたこと並びに一部区間において、物件調査の減額変更等を行ったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 町道第56号線外道路改良工事は、平成27年度から平成31年度までの計画年数5年で計画している。2年目である平成28年度については、整備に伴う用地測量、物件調査と橋梁拡幅設計を実施することができた。</p>	
	当初予算額		18,144千円
	補正予算額		△3,000千円
	決算額		12,925千円
	①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒はとやま再生・創造戦略		
16 新	町道第495号線道路改良工事に伴う調査測量設計業務委託料	<p>(1) 事業の概要 鳩山町北部地域活性化基本条例第4条に基づき、平成27年11月に地域住民と町との協働により「上熊井地区における活性化取組方針」を策定した。本事業は、この取組方針に基づく地区内生活道路等整備事業である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 町道第495号線道路改良工事は、平成28年度から平成32年度までの計画年数5年で計画している。初年度である平成28年度については、整備に伴う測量、道路詳細設計を実施することができた。</p>	
	当初予算額		5,490千円
	補正予算額		0千円
	決算額		5,130千円
	①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒はとやま再生・創造戦略		
17	都市機能施設評価分析等に関する検討業務委託料	<p>(1) 事業の概要 本業務は、都市再生特別措置法第81条の規定による立地適正化計画の策定に向けて、H27年度に実施した調査分析結果等を踏まえて、都市機能誘導区域のとりまとめ等を行い、立地適正化計画の策定を適切に行うための検討業務である。 主な業務内容は、都市機能誘導区域・居住誘導区域のとりまとめ、目標</p>	
	当初予算額		5,700千円
	補正予算額		△192千円
	決算額		5,508千円

	<p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒はとやま再生・創造戦略</p>	<p>指標の設定等についての検討業務である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 立地適正化計画策定に向けての検討業務を実施できた。</p>						
18	<p>立地適正化計画策定業務委託料</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>1,900千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△118千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>1,782千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒はとやま再生・創造戦略</p>	当初予算額	1,900千円	補正予算額	△118千円	決算額	1,782千円	<p>(1) 事業の概要 本業務は、H27年度に実施した「都市機能施設評価分析等に関する調査業務」及びH28年度に実施した「都市機能施設評価分析等に関する検討業務」に基づき、都市再生特別措置法第81条の規定による立地適正化計画を策定する業務である。 主な業務内容は、立地適正化計画（案）の作成、パブリックコメント、住民説明会及び都市計画審議会等の資料作成である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 立地適正化計画を策定し、当初の予定どおり平成29年3月31日に公表を行うことができた。</p>
当初予算額	1,900千円							
補正予算額	△118千円							
決算額	1,782千円							
19	<p>多世代活動交流センター改修工事設計業務委託料</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>13,000千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△3,416千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>9,584千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒はとやま再生・創造戦略</p>	当初予算額	13,000千円	補正予算額	△3,416千円	決算額	9,584千円	<p>(1) 事業の概要 多世代活動交流センターの耐震補強及び改修をするための実施設計を行うものである。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 多世代活動交流センター耐震補強及び改修工事実施設計書を作成した。耐震補強、消防設備改修、屋上防水、トイレ改修等の設計額を算出することができた。</p>
当初予算額	13,000千円							
補正予算額	△3,416千円							
決算額	9,584千円							
20	<p>(仮称) 鳩山町地域包括ケアセンター整備工事</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>1,040,000千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△107,204千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>187,000千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒はとやま再生・創造戦略</p>	当初予算額	1,040,000千円	補正予算額	△107,204千円	決算額	187,000千円	<p>(1) 事業の概要 高齢者の皆さんが可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるような包括的な支援・サービス提供体制を構築するための施設を整備したものの。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率20%（前払金）である。 工事進捗率90%（翌年度繰越のため）</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 2月に開所した「鳩山松寿園東館」と連続して整備したことにより、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援を一体的に提供できる福祉の拠点施設となる。</p>
当初予算額	1,040,000千円							
補正予算額	△107,204千円							
決算額	187,000千円							
21	<p>地域包括ケア研修事業実施業務</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>5,000千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>4,989千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略事業</p>	当初予算額	5,000千円	補正予算額	0千円	決算額	4,989千円	<p>(1) 事業の概要 「安心して住み続けられるまちを支える地域包括ケアの推進」を図るために、鳩山町生涯活躍のまち構想推進による住宅団地アクティブ化・キックオフ事業[地方創生加速化交付金]として、事業者・行政職員などサービス提供者と、それを利用する町民が、本町の地域包括ケアシステムの目指す将来像を共有する研修事業を実施し、あわせて研修事業実施計画を作成した。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額5,000千円、決算額4,989千円、執行率99.8%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 ①地域包括ケア研修事業実施計画作成 ②研修事業実施</p>
当初予算額	5,000千円							
補正予算額	0千円							
決算額	4,989千円							

		<p>ア 町民研修 (98名参加) 平成29年3月19日 ふれあいセンター 「生き生きシンポジウム」</p> <p>イ 職員研修 (38名参加) 平成29年3月13日 保健センター 「上手な若い方を支援していくために」</p> <p>ウ 事業所研修 (16名参加) 平成29年3月14日 総合福祉センター 「介護予防ケアマネジメントの実践で、健康寿命の更なる延伸を！」 地域包括ケアシステムの目指す将来像と、その地域包括ケアシステムの普及促進が図れた。</p>						
22	<p>石坂の森環境保全業務委託料</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>300 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>300 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒北部地域活性化推進室 ②総合計画⇒協働戦略事業</p>	当初予算額	300 千円	補正予算額	0 千円	決算額	300 千円	<p>(1) 事業の概要 石坂の森利用者の安全確保及び環境保全を図るための事業である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 石坂の森内の除草、枯損木処理、下刈り、動植物調査及び監視など、環境保全活動並びに里山景観の維持活動を継続して実施できた。</p>
当初予算額	300 千円							
補正予算額	0 千円							
決算額	300 千円							
23	<p>笛吹峠・鎌倉街道上道周辺除草業務委託料</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>48 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>48 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒北部地域活性化推進室 ②総合計画⇒協働戦略事業</p>	当初予算額	48 千円	補正予算額	0 千円	決算額	48 千円	<p>(1) 事業の概要 全町公園化の拠点のひとつであり、文化財資源としての保全及び里山・平地林再生事業の実施後における里山環境等の管理を行うものである。管理対象は、良品計画と交換（造成地内町道との交換）した土地である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100.0%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 年2回の除草作業により、笛吹峠・鎌倉街道上道周辺の環境保全に向けた適切な維持活動を行うことができた。</p>
当初予算額	48 千円							
補正予算額	0 千円							
決算額	48 千円							
24	<p>北部地域活性化基金積立金</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>110 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>96 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒北部地域活性化推進室 ②総合計画⇒</p>	当初予算額	110 千円	補正予算額	0 千円	決算額	96 千円	<p>(1) 事業の概要 北部地域活性化基本条例第 11 条に基づき、北部地域活性化施策を推進するため、当該基金条例第 2 条第 1 項の規定により、基金の造成を行ったものである。なお、積立金は基金利子のみである。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 86.4%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 北部地域活性化基金利子：95,066 円</p>
当初予算額	110 千円							
補正予算額	0 千円							
決算額	96 千円							
25	<p>泉井交流体験エリア整備設計業務</p> <p>新</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>15,000 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△4,299 千円 (流用)</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>10,386 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒はとやま再生・創造戦略</p>	当初予算額	15,000 千円	補正予算額	△4,299 千円 (流用)	決算額	10,386 千円	<p>(1) 事業の概要 鳩山町北部地域活性化基本条例第 4 条に基づき、平成 27 年 3 月に地域住民と町との協働により「泉井地区における活性化取組方針」を策定した。本事業は、この取組方針に基づく整備事業である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 97.1%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 泉井交流体験エリア整備に伴う基本設計、実施設計が作成できた。</p>
当初予算額	15,000 千円							
補正予算額	△4,299 千円 (流用)							
決算額	10,386 千円							
26	<p>泉井交流体験エリア境界確定測量・物件調査業務</p>	<p>(1) 事業の概要 鳩山町北部地域活性化基本条例第 4 条に基づき、平成 27 年 3 月に地域住民と町との協働により「泉井地区における活性化取組方針」を策定し</p>						

新	当初予算額	0千円	<p>た。</p> <p>本事業は、この取組方針に基づく整備事業である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100.0%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 泉井交流体験エリア整備に伴う基本設計、実施設計に必要な境界確定測量、事業推進に必要な移転物件調査が実施できた。</p>									
	補正予算額	1,674千円 (流用)										
	決算額	1,674千円										
<p>①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒はとやま再生・創造戦略</p>												
27 新	泉井交流体験エリア敷地造成設計業務		<p>(1) 事業の概要 鳩山町北部地域活性化基本条例第4条に基づき、平成27年3月に地域住民と町との協働により「泉井地区における活性化取組方針」を策定した。本事業は、この取組方針に基づく整備事業である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100.0%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 泉井交流体験エリア整備に伴う基本設計、実施設計に必要な敷地造成設計が作成できた。</p>									
	当初予算額	0千円										
	補正予算額	2,625千円 (流用)										
決算額	2,625千円											
<p>①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒はとやま再生・創造戦略</p>												
28 新	鳩山町地域公共交通会議負担金（町営路線バス試験運行経費）		<p>(1) 事業の概要 平成29年1月11日（水）～3月31日（金）までの80日間を運行した、町営路線バス試験運行に係る経費。 ＜鳩山町地域公共交通会議 平成28年度収支決算書より関連経費一覧＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町営路線バス費</td> <td>19,613千円</td> <td>・試験運行費</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,613千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%である</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 80日間の利用者数は、延べ3,251人、1日平均で40.6人であった。</p>	区分	金額	備考	町営路線バス費	19,613千円	・試験運行費	合計	19,613千円	
	区分	金額		備考								
	町営路線バス費	19,613千円		・試験運行費								
合計	19,613千円											
当初予算額	10,000千円											
補正予算額	9,163千円											
決算額	19,613千円											
<p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒はとやま再生・創造戦略</p>												

項3 政策財政費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果						
29	総合振興計画審議会委員報酬							
	当初予算額	0千円						
	補正予算額	300千円						
決算額	114千円							
<p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒協働戦略事業</p> <p>(1) 事業の概要 総合計画審議会を開催し、町長から諮問を受けて『第5次鳩山町総合計画基本方針一部再改定』を審議。会議開催回数は1回。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 会議を2回開催できるよう予算措置したが、資料調整の関係で第1回会議の開催が3月28日となったため、会議1回分の報酬が不用額となった。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 第5次鳩山町総合計画基本構想一部再改定（案）を審議し、平成29年5月18日の第2回会議において、審議会答申を得た。</p>								
30	鳩山町地域公共交通会議負担金（デマンドタクシー運行経費分及び鳩山町地域公共交通形成計画策定費分）							
	当初予算額	19,779千円						
	補正予算額	0千円						
決算額	20,029千円							
<p>* 予備費充当 250千円</p> <p>(1) 事業の概要 鳩山町地域公共交通会議の運営費等並びにデマンドタクシー〔埼玉医大便(1台)・町内エリア便(2台)〕の運行経費（国土交通省／地域公共交通確保維持改善事業補助金及び運賃収入で不足する分）を負担。 また、『鳩山町地域公共交通網形成計画』に基づき、再編実施計画の策定や推進事業を実施。 ＜鳩山町地域公共交通会議 平成28年度収支決算書より関連経費一覧＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域公共交通会議の運営費等相当額</td> <td>123千円</td> <td>・会議費、事務費など</td> </tr> </tbody> </table>			区分	金額	備考	地域公共交通会議の運営費等相当額	123千円	・会議費、事務費など
区分	金額	備考						
地域公共交通会議の運営費等相当額	123千円	・会議費、事務費など						

	①所 管 課⇒政策財政課 ②総合計画⇒社会資本の分野		鳩山町地域公共交通再編実施計画策定費	4,979 千円	・計画策定業務委託料	
			鳩山町地域公共交通網形成計画推進費	954 千円	・モビリティ・マネジメント実施経費(うち、国庫補助金 477 千円)	
			デマンドタクシー運行経費(3台) *運賃収入と国庫補助金を除いた赤字分	16,004 千円	・うち運行に係る直接的経費から交通事業者が負担し、それに対して補助した額	11,241 千円(A)
					・特別交付税措置額(A)×80%	8,993 千円
			合計	22,060 千円	※一般会計決算額である 20,029 千円は、合計額に含まれている。	
<p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予備費より 25 万円充用。執行率は 100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 総人口の 22.6%に相当する 3,231 人が利用者登録し、年間 17,865 人、1 日平均 73.5 人が利用した。</p>						
31	固定資産台帳整備業務委託料		(1) 事業の概要			
	当初予算額	0 千円	総務省が示す「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づく財務書類を作成するため、開始貸借対照表の基礎となる固定資産台帳を整備するものである。			
	補正予算額	2,160 千円	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由			
	決算額	2,160 千円	執行率 100%である。			
①所 管 課⇒政策財政課 ②総合計画⇒		(3) 成果及び評価並びに改善点				
		国では平成 28 年度決算からすべての地方公共団体が統一的な基準に基づいた財務書類を作成し、公表するようにと要請している。財務書類を作成する上で開始点となる固定資産台帳の整備が行えたことで、平成 28 年度決算に係る財務書類作成上の基礎となるものができた。				
32	公共施設等総合管理計画策定業務委託料		(1) 事業の概要			
	当初予算額	5,508 千円	公共施設等の建設時期や耐震改修などの現状から課題を整理し、安全で快適な施設を長期にわたって確保するため、長期的な視点に立った施設の更新、統廃合、長寿命化などを計画的に取り組むことで、財政負担の軽減・平準化を図り、公共施設等の最適な配置を実現するための計画を策定するものである。			
	補正予算額	0 千円	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由			
	決算額	5,227 千円	執行率 94.9%である。			
①所 管 課⇒政策財政課 ②総合計画⇒		(3) 成果及び評価並びに改善点				
		施設の更新、統廃合等の検討・実施を進めるための基本となる総合管理計画を策定することができた。今後は、本計画に基づき、各課等で所管する各施設の個別施設計画の策定に取り組む必要がある。				
33	広報はとやま印刷製本費		(1) 事業の概要			
	当初予算額	3,765 千円	町の方針や施策、行事、相談窓口などを町民に伝え、理解と協力を得て、町政の円滑な推進を図るための広報紙印刷事業である。			
	補正予算額	0 千円	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由			
	決算額	3,741 千円	執行率 99.4%である。			
①所 管 課⇒政策財政課 ②総合計画⇒		(3) 成果及び評価並びに改善点				
		広報はとやまを通じて、町政全般の情報が広く町民に伝わり、町政の円滑な推進に寄与することができた。				

34	総合行政情報システム運用等経費（保守・借上・回線使用料）		<p>(1) 事業の概要 住民基本台帳などの住民情報、町税などの課税情報及び乳幼児医療や重度心身障害者医療などの福祉情報を状況に応じていろいろな処理を行うとともにデータを守っている。 保守料 2,566 千円、借上料 18,467 千円、回線使用料 1,124 千円。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 97.7%である</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 総合行政情報システムを導入したことにより、事務処理の効率化が進み、住民サービスの向上につながっている。</p>
	当初予算額	23,480 千円	
	補正予算額	△ 806 千円	
	決算額	22,157 千円	
<p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒</p>			
35 新	情報セキュリティ強化対策等業務委託料（繰越明許費）		<p>(1) 事業の概要 総務省が提示した新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化に向けて、行政業務とインターネットの分離を行い、情報漏えいやサイバー攻撃などの脅威に備えるネットワークを構築する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100.0%である</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 行政事務で使用するパソコン端末にネットワークを分割する仮想化システムを導入することでインターネットから分離させ、情報漏えいやサイバー攻撃対策が強化できた。今後は、インターネットを活用した業務効率化を維持するため、データを安全に受け渡せる体制の構築が必要である。</p>
	当初予算額	12,300 千円	
	補正予算額	0 千円	
	決算額	12,300 千円	
<p>* 繰越明許事業</p> <p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒</p>			
36	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部専門部会委員報償		<p>(1) 事業の概要 鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略を、効果的かつ効率的に策定し推進するため、鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部設置要綱の規定に基づき、鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部専門部会を設置している。専門部会は、産業機関、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、情報機関など外部機関を含めて構成しており、総合創生戦略の策定及び検証において重要な役割を担っている。本事業は委員の報償費を計上したものであるが、専門部会の設置経緯及び役割を鑑み、日額報償費を8,000円としている。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 平成28年度における会議開催回数を3回と想定して予算計上を行ったが、9月21日開催の会議（通算第4回会議）において、予定していた次の議事が終了したため不用額が生じたものである。なお、地方創生交付金事業は、短期間での検討が必要であり、減額補正を行わなかった。（執行率16.7%） ①地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業に係る効果検証について ②地方創生加速化交付金事業の概要について ③地方創生推進交付金の概要について</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 平成28年度は1回の会議に留まったが、積極的な開催が必要であった。また、創生総合戦略の策定時点では8,000円の日額報償費は妥当性があったが、他の委員会等の報償費額との調整を図る（減額する）ことも必要である。</p>
	当初予算額	288 千円	
	補正予算額	0 千円	
	決算額	48 千円	
<p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略事業</p>			
37	（仮称）鳩山町生涯活躍のまち構想及び基本計画策定業務委託料（地方創生加速化交付金事業）		<p>(1) 事業の概要 鳩山町は、昭和49年から大規模住宅団地である鳩山ニュータウンの入居が始まり人口が急増したが、平成7年をピークに減少に転じ、平成27年10月1日現在の住民基本台帳人口はピーク時から約3,500人減の14,386人となっている。特に鳩山ニュータウンは、少子高齢化と人口減少が急速に進</p>

		<p>んでいる。</p> <p>また、団地内の住宅の1割近く（平成27年度の実態調査では約7%）が空き家となっており、その活用による団地再生も大きな課題となっている。</p> <p>この課題に対応するため、「空き家への移住促進」、「各種資源を活かした多世代の活躍」、「安心して住み続けられるまちを支える地域包括ケアの推進」を柱とする「鳩山町生涯活躍のまち構想及び基本計画」を、専門業者に委託して策定した。</p> <p>なお、本事業は地方創生加速化交付金（繰越明許費）を活用したものである。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率は99.4である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 本業務は参考とすべき事例が極めて少なく、困難なものであった。そういったなか、構想及び基本計画を策定するとともに、鳩山町コミュニティ・マルシェの基本設計を実施することができた。</p>						
	<table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>15,000千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>14,904千円</td> </tr> </table> <p>* 繰越明許事業</p> <p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略事業</p>	当初予算額	15,000千円	補正予算額	0千円	決算額	14,904千円	
当初予算額	15,000千円							
補正予算額	0千円							
決算額	14,904千円							
38	<p>(仮称) 鳩山町コミュニティ・マルシェ整備工事設計業務委託料 (地方創生加速化交付金事業)</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>3,000千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>3,000千円</td> </tr> </table> <p>* 繰越明許事業</p> <p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略事業</p>	当初予算額	3,000千円	補正予算額	0千円	決算額	3,000千円	<p>(1) 事業の概要 「鳩山町生涯活躍のまち構想及び基本計画」に基づき、住宅団地アクティブ化事業を具体的に展開するため、空き店舗（旧西友リビング館）を町が取得し、複合的拠点施設として鳩山町コミュニティ・マルシェを整備した。</p> <p>本事業は工事にあたっての実施設設計業務である。なお、町単独事業として実施した給排水等整備工事（トイレ工事）の設計も、本事業において実施した。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率は100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 時間的な制約があるなかで、設計業務を完了することができた。</p>
当初予算額	3,000千円							
補正予算額	0千円							
決算額	3,000千円							
39	<p>(仮称) 鳩山町コミュニティ・マルシェ整備工事監理業務委託料 (地方創生加速化交付金事業)</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>1,000千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>996千円</td> </tr> </table> <p>* 繰越明許事業</p> <p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略事業</p>	当初予算額	1,000千円	補正予算額	0千円	決算額	996千円	<p>(1) 事業の概要 「鳩山町生涯活躍のまち構想及び基本計画」に基づき、住宅団地アクティブ化事業を具体的に展開するため、空き店舗（旧西友リビング館）を町が取得し、複合的拠点施設として鳩山町コミュニティ・マルシェを整備した。本事業は工事にあたっての監理業務である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率は99.6%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 工事を無事完了し、7月1日にコミュニティ・マルシェをオープンすることができた。</p>
当初予算額	1,000千円							
補正予算額	0千円							
決算額	996千円							
40	<p>鳩山町空き家バンクシステム構築運用業務委託料 (地方創生加速化交付金事業)</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>8,000千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>8,000千円</td> </tr> </table> <p>* 繰越明許事業</p> <p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略事業</p>	当初予算額	8,000千円	補正予算額	0千円	決算額	8,000千円	<p>(1) 事業の概要 住宅団地アクティブ化事業では、空き家への移住推進が重要事業となっており、空き家バンクシステム（空き家の売却、賃貸等を希望する空き家所有者より申込みを受けた空き家情報を、空き家への入居等を希望する方へ紹介する仕組みをシステム化したもの）を構築したもの。なお、システムの運用は、鳩山町コミュニティ・マルシェ内の移住推進センターで行うため、当該施設の環境整備（Wi-fi設置など）も本事業で行った。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 ・執行率は100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 プロポーザル方式により業者選定を行い、空き家バンクシステムを構築することができた。なお、当該システムは汎用化したものがなく、本町独</p>
当初予算額	8,000千円							
補正予算額	0千円							
決算額	8,000千円							

		自のシステムとなっている。また、システム構築に併せ、鳩山町空き家バンク制度設置要綱（案）を作成することができた。
41 新 補	学生シェアハウス・モデル事業 基礎調査業務委託料 (地方創生推進交付金事業)	(1) 事業の概要 住宅団地のアクティブ化を図るためには、地域活動への若者の参加が必要である。そこで、地方創生推進事業として、東京電機大学理工学部や町内及び近隣大学と連携し、学生シェアハウス・モデル事業を実施することとしている。 本事業は、事業化（学生シェアハウスの制度設計、空き家取得費、空き家改修・整備など）に向けて、基礎調査を実施したものである。
	当初予算額	0千円
	補正予算額	500千円
	決算額	500千円
	①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略事業	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 ・執行率は100%である。 (3) 成果及び評価並びに改善点 学生シェアハウスを住宅団地アクティブ化に結びつけるためには、地域や学生の生の声を拾っていく必要がある。本事業では、そのような視点を重視し、基礎調査を行った。 なお、事業化に向けては法制度を含め、多方面の詳細調査が必要である
42 新 補	(仮称) 移住交流まちづくり公社 設立準備業務委託料 (地方創生推進交付金事業)	(1) 事業の概要 住宅団地アクティブ化事業を効果的に展開していくためには、個別事業の事業主体とは別に「アクティブ化データの効果的活用（シンクタンク機能）」「モデル事業の効率的実施」「空き家等の適正管理」などの役割を担う公益的な総合組織が必要である。 本事業は、その役割を担う（仮称）移住交流まちづくり公社の設立を進めるための準備調査を実施したものである。
	当初予算額	0千円
	補正予算額	500千円
	決算額	497千円
	①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略事業	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 ・執行率は99.4%である。 (3) 成果及び評価並びに改善点 住宅団地のアクティブ化を実現するためには、団地内に新たな仕事を創造（起業）していくことが重要である。行政組織を公社化することは、新たな仕事の創造につながるものであり、準備調査の成果を活かすことが必要である。
43	(仮称) 鳩山町コミュニティ・マルシェ整備工事 (地方創生加速化交付金事業)	(1) 事業の概要 「鳩山町生涯活躍のまち構想及び基本計画」に基づき、住宅団地アクティブ化事業を具体的に展開するため、空き店舗（旧西友リビング館）を町が取得し、複合的拠点施設として鳩山町コミュニティ・マルシェを整備した事業である。
	当初予算額	26,000千円
	補正予算額	0千円
	決算額	25,920千円
	*繰越明許事業 ①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略事業	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率は99.7%である。 (3) 成果及び評価並びに改善点 限られた予算のなかで、鳩山町コミュニティ・マルシェを整備することができた。今後においては、「働く、支える、移住する」ための好循環を生み出すための拠点施設として、ソフト面の整備、充実を図ることが必要である。
44	空き店舗購入費 (地方創生加速化交付金事業)	(1) 事業の概要 住宅団地アクティブ化事業を具体的に展開するため、空き店舗（旧西友リビング館）を町が取得した事業である。 なお、本事業の実施にあたっては、平成28年11月1日に「旧西友リビング館等の取得にかかる対応基本方針」を政策会議で決定した。
	当初予算額	5,000千円
	補正予算額	0千円
	決算額	5,000千円
	*繰越明許事業	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率は100%である。

	<p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略事業</p>	<p>(3) 成果及び評価並びに改善点 空き店舗状態が続いていた「旧西友リビング館」を、地方創生加速化交付金を活用して取得し、鳩山町コミュニティ・マルシェとして再活用することができた。</p>						
45	<p>(仮称) 鳩山町コミュニティ・マルシェ用備品購入費 (地方創生加速化交付金事業)</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>6,000千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>5,996千円</td> </tr> </table> <p>* 繰越明許事業</p> <p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略事業</p>	当初予算額	6,000千円	補正予算額	0千円	決算額	5,996千円	<p>(1) 事業の概要 鳩山町コミュニティ・マルシェ内に整備した移住推進センター、まちおこしカフェ、シェア・オフィス、マルシェ研修室の備品を購入整備した事業である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率は99.9%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 鳩山町コミュニティ・マルシェは、特殊な備品が必要であり、地方創生加速化交付金を活用し、当該備品を購入することができた。</p>
当初予算額	6,000千円							
補正予算額	0千円							
決算額	5,996千円							
46	<p>地域連携コンソーシアム支援事業費補助金 (地方創生加速化交付金事業)</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>4,970千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>4,970千円</td> </tr> </table> <p>* 繰越明許事業</p> <p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略事業</p>	当初予算額	4,970千円	補正予算額	0千円	決算額	4,970千円	<p>(1) 事業の概要 本町の資源である町内に立地する学術研究機関と連携し公開講座の開催や新産業の創出につながるようなプロジェクトを推進する、(仮称)大学コンソーシアムの組織化を支援する事業である。なお、本事業により平成28年8月5日に「宇宙・産学官・地域連携コンソーシアム」が設立された。また、平成29年3月4日には、コンソーシアム主催のシンポジウムが東京電機大学を会場として開催された。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率は100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 「宇宙・産学官・地域連携コンソーシアム」は、宇宙関連機関が集積する本町の特徴を活かすとともに、近隣自治体も含め、地域連携により様々な課題の解決を目指す組織である。 このような組織は、これまでは存在しておらず、地域活性化の新たなエンジンとして期待できる。</p>
当初予算額	4,970千円							
補正予算額	0千円							
決算額	4,970千円							
47	<p>新 補 住宅団地アクティブ化データシステム共同構築事業補助金 (地方創生推進交付金事業)</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>500千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>500千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒政策財政課 ②総合計画⇒まち・ひと・しごと創生総合戦略事業</p>	当初予算額	0千円	補正予算額	500千円	決算額	500千円	<p>(1) 事業の概要 住宅団地アクティブ化事業は、活動的でQOL(人生・生活の質)の高い健康長寿のまちを目指す取り組みでもある。 この取り組みを推進するためには、蓄積されている各種データを、将来人口推計などとリンクさせ、住民への訴求力のある説明資料や、効果的な施策の展開に結びつけることが必要である。 そこで、既存のデータと鳩山町人口ビジョンを連携させ、過去・現在・将来の状況を客観的に把握し評価分析できるアクティブ化データシステムを学術研究機関と共同構築することとし、そのための基礎調査を実施した事業である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率は100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 人口減少と少子高齢化が急速に進むなか、活動的でQOL(人生・生活の質)の高い健康長寿のまちを目指すためには、各種データを効果的に活用し、PDCAサイクルに基づく事業展開を図ることが必要となっている。この取り組みは、行政単独でも業者委託でも実現困難であり、本事業は、大学や民間事業者と行政が共同で構築するための方向性を検討したものである。</p>
当初予算額	0千円							
補正予算額	500千円							
決算額	500千円							

項 4 徴税費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果						
48	固定資産評価資料作成業務委託料 <table border="1" data-bbox="231 360 580 465"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>4,385千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>270千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>4,115千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒税務課 ②総合計画⇒</p>	当初予算額	4,385千円	補正予算額	270千円	決算額	4,115千円	<p>(1) 事業の概要 固定資産（土地・家屋）の評価を公平かつ適正に実施するため、固定資産の課税客体となる土地・家屋の現況を的確に把握し、課税業務の効率化を目的とする資料を作成するもの。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 入札による委託契約額が低くなったため予算額と決算額で乖離が生じた。執行率 100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 土地分合筆 60 筆、画地構成・条件取得 54 筆、路線価算出 617 路線ほか。評価資料を作成し、活用することで、正確かつ効率的な賦課を実施した。</p>
当初予算額	4,385千円							
補正予算額	270千円							
決算額	4,115千円							
49	総合行政情報システム（税務）電算処理委託料 <table border="1" data-bbox="231 808 580 913"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>7,209千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>7,154千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒税務課 ②総合計画⇒</p>	当初予算額	7,209千円	補正予算額	0千円	決算額	7,154千円	<p>(1) 事業の概要 総合行政情報システムの税務行政全般を担う税務システムを稼働する事業。平成 26 年 11 月より埼玉県町村情報システム共同化により現在の事業者に変更となり、28 年度中にマイナンバー対応の新システムに変わった。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.2%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 当初課税処理から収納処理まで本システムを使用することにより、情報を共有し、効率的に処理することができた。また、証明事務についても迅速かつ正確に交付することができた。</p>
当初予算額	7,209千円							
補正予算額	0千円							
決算額	7,154千円							
50 新補	給与支払報告書取込用付番機能付スキャナー保守業務委託料 <p>※給与支払報告書様式変更（マイナンバー要記載）に伴う経費</p> <table border="1" data-bbox="231 1352 580 1458"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>9千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>9千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒税務課 ②総合計画⇒</p>	当初予算額	0千円	補正予算額	9千円	決算額	9千円	<p>(1) 事業の概要 本町では、給与支払報告書の入力業務を TKC に委託しているが、給与支払報告書の様式が、平成 28 年分から、従業員及び被扶養者のマイナンバー記載欄のある様式へ変わり、給与支払報告書の受け渡し方法も、従来の紙の手渡しから、受け渡し時の紛失を防ぐため、スキャンデータに変わったので、給与支払報告書の裏面に通し番号をプリントしながらスキャンするスキャナーを導入した。 給与支払報告書は 1 月末から 2 月にかけて約 8 千枚が集中的に提出されるが、確定申告受付期間前までの 2 週間で、申告支援システムに取り込まねばならない情報であることから、異常時に即対応できるよう、保守業務を委託する必要が生じた。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 89.8%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 特定個人情報の漏えい防止に資するとともに、給与支払報告書を無事に確定申告受付期間前に、申告支援システムに取り込み、確定申告受付がスムーズに進むとともに、番号を検索すれば申告支援システムのイメージ画面で給与支払報告書が見えることとなり、業務が効率化した。</p>
当初予算額	0千円							
補正予算額	9千円							
決算額	9千円							
51 新補	給与支払報告書取込用付番機能付スキャナー購入費（備品購入費） <p>※給与支払報告書様式変更（マイナンバー要記載）に伴う経費</p>	<p>(1) 事業の概要 本町では、給与支払報告書の入力業務を TKC に委託しているが、給与支払報告書の様式が、平成 28 年分から、従業員及び被扶養者のマイナンバー記載欄のある様式へ変更になり、受け渡し方法が、従来の紙の手渡しから、受け渡し時の紛失を防ぐため、スキャンデータに変わった。 そこで、給与支払報告書の裏面に通し番号をプリントしながらスキャンするスキャナーを導入した。</p>						

		(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.8%である。
	当初予算額	0 千円
	補正予算額	225 千円
	決算額	225 千円
	①所管課⇒税務課 ②総合計画⇒	
52	マイナンバー関係書類廃棄用シュレッダー購入費(備品購入費) ※給与支払報告書・確定申告書・住民税申告書へのマイナンバー記載義務化に伴う経費	(1) 事業の概要 平成 28 年分から、給与支払報告書・確定申告書・住民税申告書の様式が、申告者及び被扶養者のマイナンバー記載欄のある様式へ変更となり、確定申告書の提出にはマイナンバーカード等の写しの添付が必要となった。 そこで、差替え時など、マイナンバーを含む書類が不要となった時点で廃棄できるよう、シュレッダーを確定申告会場に設置した。
	当初予算額	43 千円
	補正予算額	0 千円
	決算額	43 千円
	①所管課⇒税務課 ②総合計画⇒	
		(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 96.4%である。
		(3) 成果及び評価並びに改善点 マイナンバーを含む書類の適切な管理につながった。

項 5 戸籍住民基本台帳費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果
53	住民基本台帳ネットワーク運用等経費(保守・借上料)	(1) 事業の概要 住民記録に関連した転入通知の受信、広域住民票の交付、住民基本台帳カードの交付等などの利用に供する。 なお、平成 27 年 10 月からのマイナンバー制度施行に伴い、平成 28 年 1 月からは、住民基本台帳カードに変わり発行が開始された個人番号カード交付等にも利用している。
	当初予算額	1,351 千円
	補正予算額	0 千円
	決算額	1,350 千円
	①所管課⇒町民課 ②総合計画⇒	
		(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.9%である。
		(3) 成果及び評価並びに改善点 個人番号カード交付枚数 692 枚。電子証明書の普及や本人確認として少なくとも定着しつつある。
54	戸籍総合システム運用等経費(保守・借上・使用料)	(1) 事業の概要 平成 17 年 3 月より稼働しているシステムで、戸籍謄抄本等の証明発行、戸籍受付から記載まで一括管理している戸籍総合システムの運用のための経費である。
	当初予算額	3,211 千円
	補正予算額	0 千円
	決算額	3,209 千円
	①所管課⇒町民課 ②総合計画⇒	
		(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.9%である。
		(3) 成果及び評価並びに改善点 定期的な保守の委託により、随時、機能の追加等が行え、目的である迅速な戸籍処理を行うことができた。
55	個人番号カード等交付事業交付金	(1) 事業の概要 平成 27 年 10 月からのマイナンバー制度導入に伴う、通知カード・個人個人番号カード関連事務の委任に係る交付金である。 ・委託先：地方公共団体情報システム機構

		<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度繰越事業分：予算額 2,408 千円 決算額 1,241 千円 平成 28 年度事業分：予算額 1,113 千円 決算額 0 千円（繰越明許費へ）
	当初予算額	3,521 千円
	補正予算額	0 千円
	決算額	1,241 千円
	①所管課⇒町民課 ②総合計画⇒	
	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 66.9%である。（内繰越明許費：1,113 千円） 平成 27 年度繰越事業分について、見込額を下回ったため。	
	(3) 成果及び評価並びに改善点 マイナンバー制度導入に伴う各種業務は、町では実施は困難なことから、業務上不可欠なものであり、制度の運用に多大な効果が得られた。	

項 6 選挙費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
56	参議院議員選挙費	(1) 事業の概要 平成 28 年 7 月 10 日執行 参議院議員通常選挙の実施。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.9% (3) 成果及び評価並びに改善点 ・投票率 前回 61.84% 今回 68.77% 前回比 +6.93ポイント ・開票終了 前回 00 時 11 分 今回 1 時 45 分 前回比 1 時間 34 分超過 投票率は前回に比べ向上した。また、開票終了時刻については、町長選挙と同日選挙となったため、前回（平成 25 年 7 月 21 日執行）に比べ、1 時間 34 分の遅れとなったが、問題なく終了することができた。	
	当初予算額		7,862 千円
	補正予算額		△654 千円
	決算額		7,201 千円
	①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒		
57	町長選挙費	(1) 事業の概要 平成 28 年 7 月 10 日執行 鳩山町長選挙の実施。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.8% 参議院議員通常選挙と同日選挙だったため、執行経費が大幅に削減となった。 (3) 成果及び評価並びに改善点 ・投票率 前回 55.92% 今回 67.23% 前回比+11.31ポイント ・開票終了 前回 22 時 03 分 今回 23 時 26 分 前回比 1 時間 23 分超過 投票率は前回に比べ向上した。また、開票終了時刻については前回（平成 24 年 7 月 8 日）と比較し、参議院議員通常選挙と同日選挙となったこともあり、1 時間 23 分遅れてしまったが、特に問題なく終了することができた。	
	当初予算額		6,219 千円
	補正予算額		△3,988 千円
	決算額		2,227 千円
	①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒		

項 7 統計調査費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
58	基幹統計調査費	(1) 事業の概要 基幹統計調査として、例年実施している学校基本調査のほか、平成 28 年経済センサス-活動調査を実施した。 ・平成 28 年度学校基本調査 平成 28 年 5 月 1 日基準日 ・平成 28 年経済センサス-活動調査 平成 28 年 6 月 1 日基準日	
	当初予算額		628 千円
	補正予算額		△100 千円
	決算額		524 千円
	①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒		
	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.2%		
	(3) 成果及び評価並びに改善点		

		<p>各統計調査とも事故等もなく無事に実施することができた。特に経済センサス-活動調査については、今回調査からインターネットによる回答方式が導入された。調査客体からの問合せ、苦情等も少なく無事に事業を終了することができた。</p>
--	--	---

■款3 民生費

項1 社会福祉費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果						
59	<p>支え合いまちづくり推進事業委託料</p> <table border="1" data-bbox="234 416 582 517"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>7,836 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>7,836 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>	当初予算額	7,836 千円	補正予算額	0 千円	決算額	7,836 千円	<p>(1) 事業の概要 国の補助金を活用し、地区人口も一番多く、高齢化率も一番高い地域である、鳩山ニュータウン地区に福祉の拠点として「ニュータウンふくしプラザ」を平成24年11月24日に開設。 「ニュータウンふくしプラザ」は、町が社会福祉協議会に運営を委託して実施し、地域福祉のコーディネーター役として専任の担当者を配置し、主に次の5つの事業を地域住民と共に実施。 ①サロン活動事業 ②ボランティアの支援・育成事業 ③小地域ネットワーク活動事業 ④相談ネットワーク活動事業 ⑤ケース支援調整会議事業</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 事業は、町が社会福祉協議会に運営を委託して実施しているが、地域住民が、ニュータウンふくしプラザでの活動を通して、地域の福祉力を向上させ、さまざまな福祉の課題に対して、地域全体で対応できるようにしたいと考え、今後とも、町民、町及び社会福祉協議会が協働で運営できるような体制整備を図りたい。また、平成29年度から、開設場所をコミュニティ・マルシェ内へ移転するため、今後は、これまでの事業に加え、新たに子ども関連の事業を展開するなど事業の拡大も図っていききたい。</p> <p>《実施状況》 ・職員配置 専任職員：1名、非常勤職員：2名 ・開所日数 344日 ・延べ入所者数 10,692人 ・ボランティア登録者数 52人（平成29年3月31日現在） ・ミーティングルーム利用状況 件数：266件、延べ利用人数：2,362人 ・相談受付件数 40件 ・小地域ネットワーク活動 延べ参加者数：1,169人 ・ふくしプラザ保健師相談会 6回開催、相談者数30人</p>
当初予算額	7,836 千円							
補正予算額	0 千円							
決算額	7,836 千円							
60	<p>平和祈念事業（戦没者追悼事業）</p> <table border="1" data-bbox="234 1480 582 1581"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>687 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△78 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>467 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒</p>	当初予算額	687 千円	補正予算額	△78 千円	決算額	467 千円	<p>(1) 事業の概要 町の平和施策の事業として、町民向けの平和祈念式典を開催し、併せて、先の大戦の歴史を振り返り、戦争の惨禍が再び起きないように願うとともに、犠牲になられた戦没者のご冥福を心からお祈りするために、鳩山町戦没者追悼式を挙げる。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 会場設営委託料等の執行残によるもの。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 「鳩山町平和を考えるつどい・戦没者追悼式 ～次世代に語り継ごう！平和の思いを～」 開催日：平成28年11月12日（土）開催 会場：今宿コミュニティセンター 内容：〈第1部〉 平和を考えるつどい 講演 演題：「戦時中、戦後の国民学校について」 講師：宮崎 芳厚 氏 〈第2部〉 戦没者追悼式 追悼の言葉、献花等 参加者：182名 <内訳> ・会場設営業務委託料 421,200円</p>
当初予算額	687 千円							
補正予算額	△78 千円							
決算額	467 千円							

		<ul style="list-style-type: none"> ・式典に係る消耗品代 20,731 円 ・講演会講師謝礼 10,000 円 ・コミュニティ施設使用料 14,750 円 合計 466,681 円 						
61	<p>子どもと障がい者のふれあい事業報償</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>80 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>66 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>	当初予算額	80 千円	補正予算額	0 千円	決算額	66 千円	<p>(1) 事業の概要</p> <p>障がい者を身近に感じて理解してもらうため、障がい者本人が、学校の授業等で講師となって自身の体験談を話すなど、子どもとふれあう機会をつくり、子どもたちに福祉の心を育むことを目的として、事業を実施した。平成 28 年度は、聴覚障がいテーマを行った。</p> <p>町内の小学校 3 校で、障がい者本人による体験談、手話の実技などを授業の一環として実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者講師謝礼 5,000 円×2 人×3 校=30,000 円 ・リーダーアシスタント謝礼 4,000 円×1 人×3 校=12,000 円 ・アシスタント謝礼 1,500 円×16 人 =24,000 円 <p>実施日 鳩山小：12 月 14 日実施、4 年生 今宿小：10 月 24 日実施、5 年生 亀井小：2 月 13 日実施、5 年生</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>執行率 82.5%である。アシスタントの人数が当初予定より少なかったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点</p> <p>子どもたちが授業の中で、障がい者自身の体験談を聞いたり、簡単な手話の実技等を行うことにより、障がい者を身近に感じ、障がいに対する理解と認識を持ち、福祉の心を育むことができた。また、障がい者と子どもたちとの交流を図ることができた。</p> <p>この事業は、平成 24 年度から実施しており、平成 24 年度は「視覚障がい」、平成 25 年度、平成 26 年度は「聴覚障がい」、平成 27 年度は「聴覚障がい」「肢体不自由」について取り上げて実施した。今後は、他の障がいについても検討し実施していく予定。</p>
当初予算額	80 千円							
補正予算額	0 千円							
決算額	66 千円							
62	<p>介護・特例介護等給付費負担金</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>155,000 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>30,939 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>186,389 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>	当初予算額	155,000 千円	補正予算額	30,939 千円	決算額	186,389 千円	<p>(1) 事業の概要</p> <p>障害者総合支援法に基づき、障がい者及びその家族等が必要とする障がい福祉サービス（居宅介護、生活介護、施設入所、就労支援など）を提供し、障がい者の自立と社会参加を促進する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>予算現額 186,723 千円、決算額 186,389 千円、執行率 99.8%である。放課後等デイサービス、生活介護、施設入所等のサービスの利用者増加により増額となった。</p> <p>＜主な増額理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス：当初予算より 4,394,000 円増加 (816,000 円→5,210,000 円) ・生活介護：7,893,000 円増加 (56,160,000 円→64,053,000 円) ・施設入所：4,973,000 円増加 (214,780,000 円→26,453,000 円) <p>(3) 成果及び評価並びに改善点</p> <p>障がいの種別（身体・知的・精神障がい）にかかわらず、障がいのある人々が必要とするサービスを利用することにより、障がい者及びその家族の経済的、精神的負担の軽減や社会参加の促進等、障がいのある人々の自立を支え、障害者総合支援法の目的である障がい者が地域で安心して暮らせる社会の実現をめざすことにつながる。</p> <p>障害者総合支援法に基づき各種サービスを提供しているが、法改正が頻りに実施されるため、適切なサービスの提供ができるよう、利用者への周知の方法等を検討していく。</p>
当初予算額	155,000 千円							
補正予算額	30,939 千円							
決算額	186,389 千円							

63	重度心身障害者医療費		<p>(1) 事業の概要 重度心身障がい者の福祉の増進を図ることを目的とし、医療の給付に係る一部負担金等について助成金を支給する。 対象者は身体障害者手帳1・2・3級、療育手帳④・A・B所持者。 県の制度改正により、平成27年1月からは精神障害者保健福祉手帳1級所持者も対象に、ただし、65歳以上の新規手帳取得者は対象外。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率95.3%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点並びに改善点 適切な支給事務と県補助申請等の事務手続きを実施し、対象者に医療費を適切に支給し重度心身障がい者の福祉の増進を図った。 平成25年度から、比企医師会管内での医療費の窓口払い廃止を開始し、平成25年10月から入間郡（毛呂山町・越生町）に所在の医療機関等（医科・歯科・保険薬局）、坂戸市・鶴ヶ島市に所在の保険薬局までエリアを拡大、さらに平成26年4月からは坂戸市、鶴ヶ島市所在の医療機関（医科・歯科）に拡大した。 （平成29年3月末現在） ・支給対象者：350人 ・支給件数：9,127件　・支給金額：39,346,969円 ・1件当たり支給金額：4,311円</p>
	当初予算額	42,768千円	
	補正予算額	△1,500千円	
	決算額	39,347千円	
<p>①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>			
64	在宅重度心身障害者手当		<p>(1) 事業の概要 在宅の重度心身障がい者の経済的・精神的負担の軽減を図ることを目的とし手当を支給する。 対象者は身体障害者手帳1・2級、療育手帳④・A、精神障害者保健福祉手帳1級所持者で住民税非課税者である。支給額は月額5,000円、支給対象者130人である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額8,040,000円、決算額7,405,000円、執行率92.1%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 手当を支給することにより、在宅の障がい者の経済的・精神的負担の軽減を図るとともに、障がいのある方の自立を支援する。</p>
	当初予算額	8,040千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	7,405千円	
<p>①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>			
65	障がい者相談支援事業		<p>(1) 事業の概要 障害者総合支援法に基づき、障がいのある人の福祉に関する様々な問題について、障がいのある人等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障がい福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助も行う。また、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障害者相談支援事業及び成年後見制度利用支援事業並びに身体障害者福祉法などに基づく相談等の業務を総合的に行うことを目的とする。 入間西障害者相談支援センターは、坂戸市、毛呂山町、越生町、鳩山町の1市3町で、入間西障害者基幹相談支援センターは、坂戸市、日高市、毛呂山町、越生町、鳩山町の2市3町で共同設置をしている。事業は（社福）毛呂病院（現：（社福）埼玉医療福祉会）に委託し、両センターとも坂戸市福祉センター内に設置している。幹事は坂戸市。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率100%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 障がい者や介護者等から相談に応じ、必要な情報提供や助言を行うことにより、関係機関との連携を図るなど、障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援している。また、自宅への訪問や出張相談会を開催するなど、相談者の相談しやすい体制整備を図っている。</p>
	当初予算額	2,683千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	2,683千円	
<p>①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>			

66	臨時福祉給付金（補助金）		<p>(1) 事業の概要 低所得者に対し、消費税率引上げ（5%→8%）による影響を緩和するため、簡素な給付措置（臨時福祉給付金の支給）を実施するもの。 また、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の高齢者及び障害・遺族基礎年金受給者に対し、個人消費の下支えの観点から、年金生活者等支援臨時福祉給付金（高齢者向け給付金及び障害・遺族基礎年金受給者向け給付金）の支給を実施するもの。</p> <p>【対象者】 ①臨時福祉給付金 基準日（平成 28 年 1 月 1 日）において鳩山町に住民登録されている方で、平成 28 年度分町民税（均等割）が課税されていない方が対象。 ただし、住民税において、課税者の扶養親族になっている方や生活保護の受給者である方は対象外。 ②高齢者向け給付金（年金生活者等支援臨時福祉給付金） 平成 27 年度の臨時福祉給付金の対象者のうち、平成 28 年度に 65 歳以上となる方。 ③障害・遺族基礎年金受給者向け給付金（年金生活者等支援臨時福祉給付金） 平成 28 年度の臨時福祉給付金の対象者のうち、障害・遺族基礎年金を受給している方。ただし、高齢者向け給付金の支給対象者を除く。</p> <p>【給付額】 ①臨時福祉給付金 給付対象者 1 人につき 3 千円 ②年金生活者等支援臨時福祉給付金（高齢者向け給付金及び障害・遺族基礎年金受給者向け給付金） 給付対象者 1 人につき 3 万円</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 適切な支給事務と国補助申請等の事務手続きを実施し、対象者に給付金を適切に支給できた。 ①臨時福祉給付金 ・申請者：1,769 人（支給決定 1,764 人、不支給決定 5 人） ・給付額：1,764 人×3,000 円=5,292,000 円 ②高齢者向け給付金（年金生活者等支援臨時福祉給付金） ・申請者：1,244 人（支給決定 1,243 人、不支給決定 1 人） ・給付額：1,243 人×30,000 円=37,290,000 円 ③障害・遺族基礎年金受給者向け給付金（年金生活者等支援臨時福祉給付金） ・申請者：75 人（支給決定 75 人） ・給付額：75 人×30,000 円=2,250,000 円</p>
	当初予算額	57,630 千円	
	補正予算額	△12,798 千円	
	決算額	44,832 千円	
	①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒		
67	社会福祉協議会補助金		<p>(1) 事業の概要 社会福祉協議会事業の安定的な運営と地域福祉の増進を図るため、補助金を交付する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額 33,074 千円、決算額 31,758 千円、執行率 96.0%。 人件費、事務費、事業費等の実績額に基づく精算により残金が生じた。生じた残金(1,316 千円)については年度内戻入処理済み。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 地域福祉事業の効果的推進とボランティア活動の振興を図り、また、町民の地域福祉に対する多様なニーズに応えるため、民間の持つ特性・柔軟性を生かした事業により、誰もが安心して暮らせる豊かな地域社会の推進に寄与している。</p>
	当初予算額	34,481 千円	
	補正予算額	△1,407 千円	
	決算額	31,758 千円	
	①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野		

68	後期高齢者医療広域連合負担金		<p>(1) 事業の概要 埼玉県後期高齢者医療広域連合へ市町村から職員を派遣し、組織を運営維持するための共通経費負担金及び医療給付費のうち当町が負担すべき額を広域連合へ納付する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%である。 広域連合が年度当初に見込んだ共通経費負担金及び医療給付費に対し、平成 28 年度途中までの実績による必要見込額との差額を補正したため予算残額を最小限(225 円)に抑えた。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 75 歳以上を対象とした後期高齢者医療制度の運営のため、高齢者が将来にわたって安心して医療が受けられるように、広域連合と連携・協力して医療保険制度の運営を行っている。</p>
	当初予算額	154,269 千円	
	補正予算額	△363 千円	
	決算額	153,906 千円	
①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野			
69	シルバー人材センター補助金		<p>(1) 事業の概要 高齢者の就業の機会を提供する鳩山町シルバー人材センターの運営を支援するため、補助金を交付する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 高齢者の生きがいの充実や社会参加の推進を図るため、就業を援助することにより、高齢者の能力を活かした活力ある地域づくりに寄与している。</p>
	当初予算額	5,000 千円	
	補正予算額	0 千円	
	決算額	5,000 千円	
①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野			
70	地域福祉事業補助金		<p>(1) 事業の概要 鳩山町社会福祉協議会の配食サービス事業及び会食会事業に対し補助金を交付する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額 5,965 千円、決算額 5,685 千円、執行率 95.3%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 単身高齢者等の食生活の改善、健康管理及び安否確認を行うことにより、福祉の向上に寄与している。 返還金が生じないよう、全額を一度に前払いせず、実績報告後の精算払いとしている。</p>
	当初予算額	5,965 千円	
	補正予算額	0 千円	
	決算額	5,685 千円	
①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野			
71	国民健康保険特別会計繰出金		<p>(1) 事業の概要 低所得者の国保税軽減分に対する保険基盤安定繰出金、出産育児一時金の給付に対する繰出金、国保財政の安定を支援する繰出金及び事務費等繰出金と赤字補填分としての法定外繰出金を国保特別会計へ繰出している。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 国保保険給付費の療養給付費、療養費、高額療養費などが増加したため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 毎年医療費の適正化の推進に努めているが、保険給付費については、年々増加しており国保財政は厳しい状況である。 なお一層の医療費適正化を進めるべく、広報・ホームページ等町民への周知を行っている。</p>
	当初予算額	71,844 千円	
	補正予算額	25,008 千円	
	決算額	96,851 千円	
①所管課⇒町民課 ②総合計画⇒			
72	後期高齢者医療特別会計繰出金		<p>(1) 事業の概要 低所得者に対する保険料軽減分を補填するための保険基盤安定制度により、一般会計に歳入があった県負担分(3/4)に町負担分(1/4)を加え特別会計への繰り出しするものと、事務費として一般会計から特別会計に繰</p>

	<table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>30,428 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△654 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>29,771 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>	当初予算額	30,428 千円	補正予算額	△654 千円	決算額	29,771 千円	<p>り出しするもの。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%である。 保険基盤安定事業負担金について、広域連合が当初に見込んだ繰出額に対し、平成 28 年度途中までの実績による必要見込額との差額を補正したため予算残額を最小限(2,867 円)に抑えた。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 保険基盤安定制度として、保険料の低所得者への負担軽減分を公費負担することにより、後期高齢者医療保険制度の安定的な事業運営に寄与している。</p>
当初予算額	30,428 千円							
補正予算額	△654 千円							
決算額	29,771 千円							
73	<p>福祉センター管理代行料</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>16,366 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△503 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>15,863 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>	当初予算額	16,366 千円	補正予算額	△503 千円	決算額	15,863 千円	<p>(1) 事業の概要 指定管理者制度により、総合福祉センターを町社会福祉協議会に管理代行させるもの。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 高齢者が健康で生きがいのある生活が送れるように、老人福祉センター及びデイサービスセンターの適正な管理運営を行い、利用者の福祉の向上に寄与している。</p>
当初予算額	16,366 千円							
補正予算額	△503 千円							
決算額	15,863 千円							
74	<p>介護保険特別会計繰出金</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>147,689 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△6,930 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>140,758 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>	当初予算額	147,689 千円	補正予算額	△6,930 千円	決算額	140,758 千円	<p>(1) 事業の概要 介護給付（予防給付）・地域支援事業・事務に必要な費用を一般会計から繰り入れるもの。介護給付（予防給付）に必要な費用は、サービス利用時の利用者負担を除き、50%が公費でまかなわれ、市町村の費用負担は 12.5%となっている。地域支援事業費のうち介護予防・日常生活支援総合事業に必要な費用についても介護給付等と同じ財源構成となっている。その他の地域支援事業（包括的支援事業・任意事業）については、市町村が 19.5%となっている。また、事務に要する費用は市町村の負担となっている。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 保険給付費が見込額より少なかったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 当町の費用負担を一般会計から繰り出すことにより、介護保険財政の安定化に寄与している。</p>
当初予算額	147,689 千円							
補正予算額	△6,930 千円							
決算額	140,758 千円							
75	<p>認知症検診事業業務委託料</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>100 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>130 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>	当初予算額	0 千円	補正予算額	100 千円	決算額	130 千円	<p>(1) 事業の概要 認知症について周知を図るとともに、認知症の早期発見及び状況に応じた適切な治療につなげることを目的とし、町内に住む平成 28 年度に 70 歳に達する者（対象者 318 名）を対象とする認知症検診事業を 10 月 1 日より実施した。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額 130 千円、決算額 130 千円、執行率 100.0%である。 ※節内流用 30 千円 埼玉県による補助制度（国保加入者補助率 10/10）が創設されたため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 広報はとやま、町ホームページへの掲載及び対象者への個別通知により、認知症検診の必要性等について周知を図り、受診率は県内トップの 20.4%でその受診者数は 65 名であった。精密検査を要する人には個別に案内をするなどし、早期受診によって重症化の予防になっている。</p>
当初予算額	0 千円							
補正予算額	100 千円							
決算額	130 千円							

76

新

補

**高年者が輝くまちづくり事業
業務委託料**

当初予算額	0千円
補正予算額	2,626千円
決算額	2,626千円

- ①所管課⇒高齢者支援課
②総合計画⇒暮らしの分野

(1) 事業の概要

元気な高齢者の社会参加を促進し、みんなで支え合い、住み慣れた町でいつまでも生活できる地域づくりを推進するために、町の元気なシニアを中心とする住民の社会参加を促すための事業を実施した。事業の遂行においては、埼玉県アクティブシニアの社会参加支援事業費補助金を活用し、埼玉県のモデル市町村の指定を受けて実施。

(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由

埼玉県による補助制度（補助率 10/10 限度額 300 万円）が創設されたため、補助事業によるモデル市町村に応募し、認定された。

(3) 成果及び評価並びに改善点

①シニア輝き講演会事業実施（96名参加）

平成 29 年 1 月 21 日 ふれあいセンター
「アクティブシニアのいきいきライフ！」
～脳トレと体操で活性化させましょう～

②介護予防・生活支援サポーター養成講座の開催

ボランティア（介護予防・生活支援サポーター）育成活動の推進。

ア 基本研修コース（延べ 120 名参加）

	日時	会場	内容	参加者数
1 日目	2月21日 13:30～16:00	ふれあい センター	鳩山町の現状と介護保険について	50 名
			傾聴に関する講座	
2 日目	3月1日 13:30～16:30	ふれあい センター	高齢者や認知症、老化についての理解	30 名
			緊急時の対応について	
3 日目	①3月14日 10:00～13:00	保健 センター	選択研修①又は② ①生活支援サポーター ・家事援助の実践 ・調理実習	15 名
	②3月6日 10:00～12:00	ふれあい センター	②介護予防サロンボランティア ・レクリエーション研修	

イ ステップアップコース（延べ 80 名参加）

	日時	会場	内容	参加者数
1 日目	2月21日 13:30～16:00	ふれあい センター	鳩山町の現状と介護保険について	50 名
2 日目	①3月13日 10:00～12:00	ふれあい センター	選択研修①又は② ①生活支援サポーター ・消費者被害について ・介護の基礎知識、技術	17 名
	②2月28日 13:30～15:00	ふれあい センター	②介護予防サロンボランティア ・高齢者の身体機能の変化と効果的な運動方法	

③ボランティアトータルコーディネーター研修

シニア世代のボランティア活動を促進するため、ボランティアのトータルコーディネーター研修を実施。

	日時	会場	内容	参加者数
1 日目	2月14日 10:30～ 16:00	総合福祉 センター	・ボランティア活動の特性・課題、弱点 ・ボランティアコーディネーターの役割 ・社協ボランティアセンターへの相談の特徴 ・ボランティアマネジメントの必要性と業務の流れ	17 名

		2 日 目	2月15日 10:30～ 16:00	総合福祉 センター	・事業企画、ボランティアプログラムとは ・ミワーク「課題の再確認、質疑応答」 ・ワーク「ボランティアプログラム作成、事業企画」 ・グループ発表、・まとめ、質疑応答	13 名
		3 日 目	3月15日 13:00～ 16:00	総合福祉 センター	子どもと福祉をつなぐコーディネート ～生きる力と福祉教育～	10 名
		4 日 目	3月21日 13:00～ 16:00	総合福祉 センター	市民と連携した災害ボランティアセンター	12 名

項2 児童福祉費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果																														
77	放課後児童健全育成事業業務委託料	<p>(1) 事業の概要 児童福祉法第6条の2第2項の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童（放課後児童）に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。 《委託先》 ①学童保育おしゃもじ山クラブ 委託料：20,674,000円 児童数：82人 指導員：常勤4名、非常勤10人 ②学童保育所銀河鉄道'90 委託料：16,344,500円 児童数：59人 指導員：常勤2名、非常勤10人</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額37,079千円、決算額37,019千円、執行率99.8%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 町内の放課後児童クラブ2カ所と委託契約を締結し、事業を実施し、児童の健全育成を図った。 子ども・子育て支交付金及び埼玉県放課後児童健全育成事業費補助金を活用。</p>																														
	当初予算額		36,551千円																													
	補正予算額		528千円																													
	決算額		37,019千円																													
	①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒人づくりの分野																															
78	民間保育所育成費補助金	<p>(1) 事業の概要 民間保育所の育成及びその入所児童の処遇改善並びにその保育所に勤務する職員の給与処遇の改善を図るため、保育所設置者に対し補助金を交付する。</p> <p style="text-align: right;">単位：円</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①一時保育事業（ひばり保育園）</td><td>1,580,000</td></tr> <tr><td>②一時保育事業（ひばりゆりかご保育園）</td><td>2,840,000</td></tr> <tr><td>③地域子育て支援センター事業（ひばり子育て支援センター）</td><td>7,803,000</td></tr> <tr><td>④延長保育促進事業（ひばり保育園）</td><td>1,342,000</td></tr> <tr><td>⑤延長保育促進事業（ひばりゆりかご保育園）</td><td>300,000</td></tr> <tr><td>⑥病後児保育事業（ひばりゆりかご保育園）</td><td>4,935,000</td></tr> <tr><td>⑦一歳児担当保育士雇用費（ひばりゆりかご保育園ほか）</td><td>3,160,000</td></tr> <tr><td>⑧乳児途中入所促進事業（ひばりゆりかご保育園）</td><td>320,000</td></tr> <tr><td>⑨アレルギー等対応等特別給食提供事業（ひばり保育園）</td><td>600,000</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">町単独事業 単位：円</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①保育充実費（育成費）（ひばり・ひばりゆりかご保育園外）</td><td>1,842,000</td></tr> <tr><td>②保育充実費（地代費）（ひばり・ひばりゆりかご保育園）</td><td>252,505</td></tr> <tr><td>③保育士加配事業（ひばり・ひばりゆりかご保育園）</td><td>800,000</td></tr> <tr><td>④障害児保育事業（ひばり保育園）</td><td>1,560,000</td></tr> </tbody> </table>	事業	補助額	①一時保育事業（ひばり保育園）	1,580,000	②一時保育事業（ひばりゆりかご保育園）	2,840,000	③地域子育て支援センター事業（ひばり子育て支援センター）	7,803,000	④延長保育促進事業（ひばり保育園）	1,342,000	⑤延長保育促進事業（ひばりゆりかご保育園）	300,000	⑥病後児保育事業（ひばりゆりかご保育園）	4,935,000	⑦一歳児担当保育士雇用費（ひばりゆりかご保育園ほか）	3,160,000	⑧乳児途中入所促進事業（ひばりゆりかご保育園）	320,000	⑨アレルギー等対応等特別給食提供事業（ひばり保育園）	600,000	事業	補助額	①保育充実費（育成費）（ひばり・ひばりゆりかご保育園外）	1,842,000	②保育充実費（地代費）（ひばり・ひばりゆりかご保育園）	252,505	③保育士加配事業（ひばり・ひばりゆりかご保育園）	800,000	④障害児保育事業（ひばり保育園）	1,560,000
	事業		補助額																													
	①一時保育事業（ひばり保育園）		1,580,000																													
	②一時保育事業（ひばりゆりかご保育園）		2,840,000																													
③地域子育て支援センター事業（ひばり子育て支援センター）	7,803,000																															
④延長保育促進事業（ひばり保育園）	1,342,000																															
⑤延長保育促進事業（ひばりゆりかご保育園）	300,000																															
⑥病後児保育事業（ひばりゆりかご保育園）	4,935,000																															
⑦一歳児担当保育士雇用費（ひばりゆりかご保育園ほか）	3,160,000																															
⑧乳児途中入所促進事業（ひばりゆりかご保育園）	320,000																															
⑨アレルギー等対応等特別給食提供事業（ひばり保育園）	600,000																															
事業	補助額																															
①保育充実費（育成費）（ひばり・ひばりゆりかご保育園外）	1,842,000																															
②保育充実費（地代費）（ひばり・ひばりゆりかご保育園）	252,505																															
③保育士加配事業（ひばり・ひばりゆりかご保育園）	800,000																															
④障害児保育事業（ひばり保育園）	1,560,000																															
当初予算額	30,209千円																															
補正予算額	△2,874千円																															
決算額	27,335千円																															
	①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒人づくりの分野																															

		<p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 町内のひばり保育園、ひばりゆりかご保育園への補助金交付を適正に行うことにより、保育（一時保育、延長保育、病児保育など）の充実が図れた。 子ども・子育て支援交付金、安心・元気！保育サービス支援事業費補助金等を活用。</p>	
79	つどいの広場運営事業費補助金		<p>(1) 事業の概要 就学前のお子様をお持ちの保護者の方々が、地域で気軽に親子で参加できる子育て支援拠点施設「つどいの広場」において、育児不安の解消や保護者の交流を促進するための事業等を実施。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 つどいの広場運営を山村学園短期大学と協定を結び事業を実施した。年間の開設日は 243 日、参加者は 4,319 人（1 日平均 17.8 人）であった。子どもや親との交流活動や講演会、子育て相談などの各種事業を実施した。 平成 27 年 7 月からは、利用対象児童の年齢を、これまでの 3 歳以下から就学前（6 歳）までに拡大した。</p>
	当初予算額	4,058 千円	
	補正予算額	0 千円	
	決算額	4,058 千円	
	<p>①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒人づくりの分野</p>		
80	こども医療費		<p>(1) 事業の概要 こどもが必要とする医療を容易に受けられるようにするため、こどもに対する医療費の一部を支給することにより、こどもの保健の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。 平成 26 年度から「こども医療費支給事業の窓口払い廃止」を比企郡、入間郡（毛呂山町・越生町）に所在の医療機関等（医科・歯科・保険薬局）及び坂戸市・鶴ヶ島市所在の保険薬局に加えて、坂戸市・鶴ヶ島市所在の医療機関（医科・歯科）まで拡大した。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額 32,788 千円、決算額 31,868 千円、執行率 97.2%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 適切な支給事務と国・県補助申請等の事務手続きを実施し、対象者に医療費を適切に支給できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給対象者：1,207 人（平成 29 年 3 月現在） ・支給件数：17,614 人 ・支給金額：31,867,650 円 ・1 件当たり支給金額：1,809 円
	当初予算額	30,000 千円	
	補正予算額	2,899 千円	
	決算額	31,686 千円	
	<p>①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒人づくりの分野</p>		
81	ひとり親家庭等医療費		<p>(1) 事業の概要 ひとり親家庭等に対し、医療費の一部を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、もってひとり親家庭等の福祉の増進を図ることを目的とする。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額 2,130 千円、決算額 2,077 千円、執行率 97.5%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 適切な支給事務と国・県補助申請等の事務手続きを実施し、対象者に医療費を適切に支給できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給対象者：110 人（平成 29 年 3 月現在）
	当初予算額	3,039 千円	
	補正予算額	△802 千円	
	決算額	2,077 千円	
	<p>①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒人づくりの分野</p>		

		<ul style="list-style-type: none"> ・支給件数：939人 ・支給金額：2,076,609円 ・1件当たり支給金額：2,212円 						
82	保育児童委託料 <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>142,531千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>17,005千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>159,472千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒人づくりの分野</p>	当初予算額	142,531千円	補正予算額	17,005千円	決算額	159,472千円	<p>(1) 事業の概要 児童福祉法(昭和22年法律第164号)第24条第1項の規定に基づき、保護者等が家庭で保育ができないと認められる場合に保育の実施を行う。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 町内のひばり保育園、ひばりゆりかご保育園等に委託し保育を実施。待機児童もなく適正な保育の実施に努めた。 今後とも、待機児童ゼロを維持できるように環境整備をしていきたい。</p> <p>入所延べ児童数：ひばり保育園：1,168人 ひばりゆりかご保育園：650人 山手保育園(飯能市)：10人 養光保育園(毛呂山町)：24人 白島ぎんが保育園(熊本県八代市)4人 <u>合計 1,856人</u></p> <p>※入所延べ児童数…各月(1日現在)の入所児童数の年間合計。</p>
当初予算額	142,531千円							
補正予算額	17,005千円							
決算額	159,472千円							
83	児童手当 <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>145,925千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△825千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>143,845千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒人づくりの分野</p>	当初予算額	145,925千円	補正予算額	△825千円	決算額	143,845千円	<p>(1) 事業の概要 次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援する制度である「児童手当」を支給し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進する。 中学生以下の児童に1人月額10,000円を給付。ただし、3歳未満児と小学校修了前の第3子以降の児童は1人月額15,000円を給付。 受給者の所得が所得制限限度額以上の場合には特例給付として児童1人月額5,000円を給付。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額145,100千円、決算額143,845千円、執行率99.1%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 適切な支給事務と国・県補助申請等の事務手続きを実施し、対象者に児童手当を適切に支給できた。</p>
当初予算額	145,925千円							
補正予算額	△825千円							
決算額	143,845千円							
84	子ども・子育て支援新制度給付事業 <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>2,838千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>2,745千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒健康福祉課 ②総合計画⇒人づくりの分野</p>	当初予算額	2,838千円	補正予算額	0千円	決算額	2,745千円	<p>(1) 事業の概要 子ども・子育て支援法に基づく、新制度について、保育の必要性の認定を受けた子どもの教育・保育に要した費用に対して、認定こども園等に施設型給付費を、多様な保育を行う事業者地域型保育給付費を支給するもの。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額2,838千円、決算額2,745千円、執行率96.7%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 町内の児童が入所している認定こども園に対し施設型給付費を支給。待機児童もなく適正な保育の実施に努めた。</p> <p>入所延べ児童数：【認定こども園(保育所機能)】 つるがしま白百合幼稚園(鶴ヶ島市)：12人 【認定こども園(保育所機能)】 ときわぎこども園(毛呂山町)：3人 坂戸あずま幼稚園(坂戸市)：24人 認定こども園ひだまり(桶川市)：11人</p>
当初予算額	2,838千円							
補正予算額	0千円							
決算額	2,745千円							

		<p>【事業所内保育所】 ひまわり保育ルーム（鳩山町）： 4人 合計 54人</p> <p>※入所延べ児童数…各月（1日現在）の入所児童数の年間合計。</p>
--	--	---

■款 4 衛生費

項 1 保健衛生費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果						
<p>85</p> <p>新</p>	<p>こころの健康づくり事業（地域自殺対策緊急強化基金対象事業）</p> <table border="1" data-bbox="233 443 579 546"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>222 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>145 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>360 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒健康福祉課 （保健センター）</p> <p>②総合計画⇒暮らしの分野</p>	当初予算額	222 千円	補正予算額	145 千円	決算額	360 千円	<p>(1) 事業の概要</p> <p>埼玉県自殺対策緊急強化基金事業費補助金を活用して、地域の自殺予防対策を強化し、町民一人一人の自殺に対する予防意識の啓発を図った。以下は実施した事業。</p> <ol style="list-style-type: none"> こころの健康づくり講演会 開催日：11月13日(日) 場所：町文化会館 来場者数：373人 こころの健康相談（臨床心理士による相談を年3回開催） 利用者数：実人数4人 延人数4人 ベビーヨガ講座（産後うつ予防） 参加者数：19人 傾聴ボランティア養成講座（年5回実施） 参加者数：延131人 庁内自殺対策連絡会の開催 図書館との共催事業 自殺予防週間(9月)に図書館内に特設コーナーを設置 <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>当初予算 222,000 円－決算額 359,196 円＝△137,196 円 ※当初予算を決算額が上回った主な理由 埼玉県自殺対策緊急強化基金事業費補助金（3号補正で計上）を活用し、こころの健康づくり講演会を開催したため。 ※執行状況 当初予算額 222,000 円 補正額 145,000 円（内訳：3号 241,000 円・6号△96,000 円） 予算現額 375,000 円 決算額 359,196 円 残額 15,804 円 ※執行率 99.8%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点</p> <p>平成24年度に設置した自殺対策庁内連絡会主催の「こころの健康づくり講演会」を開催し、町民に対し広く啓発を行った。 こころの健康相談では専門職（臨床心理士）を依頼し、保健師・精神保健福祉士から助言等を行っているが、相談件数は減っており、必要とする方へのアプローチ方法を検討していく必要がある。</p>
当初予算額	222 千円							
補正予算額	145 千円							
決算額	360 千円							
<p>86</p>	<p>健康なまちづくり共同研究事業 委託料</p> <table border="1" data-bbox="233 1509 579 1612"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>1,500 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>1,500 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒健康福祉課 （保健センター）</p> <p>②総合計画⇒暮らしの分野</p>	当初予算額	1,500 千円	補正予算額	0 千円	決算額	1,500 千円	<p>(1) 事業の概要</p> <p>活動的でQOL（人生・生活の質）の高い健康長寿の町を目指す「健康づくりのまち・鳩山」を推進するため、平成21年度より東京都健康長寿医療センター研究所との共同研究事業を実施。以下は、平成28年度事業内容。</p> <ol style="list-style-type: none"> 鳩山町役場職員研修の企画調整等 「何もない町を魅力ある町へ 地域資源を生かした交流、連携によるまちづくり～」 講師：吉弘拓生氏（群馬県下仁田町副町長）参加者85名 鳩山町「食」コミュニティ会議プロジェクトの運営 「いっしょに食べよう！はとやま親子で囲む食卓」 会場：町保健センター 参加者：46人 K-1祭り2016への協力 動脈硬化度測定：100人・体内糖化度測定：61人 シニアモニター事業（簡易郵送健康調査） 健康づくりサポーターの会の育成 介護予防事業等の運営支援等 共同研究事業のまとめ（統計分析等） <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>※執行率100.0%である。</p>
当初予算額	1,500 千円							
補正予算額	0 千円							
決算額	1,500 千円							

		<p>(3) 成果及び評価並びに改善点 本事業の効果については、健康課題に関連した10年後(平成31年)の数値目標による評価として行う予定である。</p>																																				
87	<p>健康診査 委託料</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>19,765千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>18,452千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒健康福祉課 (保健センター) ②総合計画⇒暮らしの分野</p>	当初予算額	19,765千円	補正予算額	0千円	決算額	18,452千円	<p>(1) 事業の概要 特定健診、また、それに準じた内容で実施するいきいき30健診及びいきいき長寿健診においては心臓病・糖尿病等疾病の疑いのある者もしくは危険因子を持つ者を、がん検診ではがんの疑いのある者をスクリーニングし、必要な者に対しては栄養や運動等に関する保健指導の実施、健康管理に関する正しい知識の普及を図っている。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算 19,765,000円－決算額 18,451,641円＝1,313,359円 ※当初予算を決算額が下回った主な理由 子宮がん検診完全個別化により、当初見込んでいた受診者数と比較して、実績が少なかったことが主な要因である。 ※執行状況 当初予算額 19,765,000円 補正額 0円 予算現額 18,516,000円 決算額 18,451,641円 残額 64,359円 ※執行率 99.7%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 各種検診における受診者数及び前年度比較。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>健(検)診種別</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>1,056人</td> <td>1,063人</td> </tr> <tr> <td>結核・肺がん検診</td> <td>1,355人</td> <td>1,400人</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>1,396人</td> <td>1,507人</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>256人</td> <td>111人</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>306人</td> <td>425人</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん検診</td> <td>603人</td> <td>634人</td> </tr> <tr> <td>いきいき30健診等</td> <td>63人</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td>126人</td> <td>102人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,161人</td> <td>5,315人</td> </tr> </tbody> </table> <p>前年度との比較では受診者数も全体では増加しているが、子宮がん検診のように減少傾向のものもあるため、より一層の啓発を行う必要がある。</p>	健(検)診種別	H27年度	H28年度	胃がん検診	1,056人	1,063人	結核・肺がん検診	1,355人	1,400人	大腸がん検診	1,396人	1,507人	子宮がん検診	256人	111人	乳がん検診	306人	425人	前立腺がん検診	603人	634人	いきいき30健診等	63人	73人	肝炎ウイルス検診	126人	102人	合計	5,161人	5,315人
当初予算額	19,765千円																																					
補正予算額	0千円																																					
決算額	18,452千円																																					
健(検)診種別	H27年度	H28年度																																				
胃がん検診	1,056人	1,063人																																				
結核・肺がん検診	1,355人	1,400人																																				
大腸がん検診	1,396人	1,507人																																				
子宮がん検診	256人	111人																																				
乳がん検診	306人	425人																																				
前立腺がん検診	603人	634人																																				
いきいき30健診等	63人	73人																																				
肝炎ウイルス検診	126人	102人																																				
合計	5,161人	5,315人																																				
88	<p>予防接種 委託料</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>23,700千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>300千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>25,382千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒健康福祉課 (保健センター) ②総合計画⇒暮らしの分野</p>	当初予算額	23,700千円	補正予算額	300千円	決算額	25,382千円	<p>(1) 事業の概要 定期予防接種(不活化ポリオ、BCG、四種混合、二種混合、麻しん風しん混合、日本脳炎、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチン、高齢者インフルエンザ、水痘、高齢者肺炎球菌)を実施している。また、28年度10月からはB型肝炎予防接種が追加された。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算 23,700,000円－決算額 25,381,100円＝△1,681,100円 ※当初予算を決算額が上回った主な理由 B型肝炎が追加されたこと、また、高齢者インフルエンザの接種者数が、当初見込んでいた2,000人よりも363人多い2,363人であったことが主な要因である。(363人分の委託料は約1,644,390円である。) ※執行状況 当初予算額 23,700,000円 補正額 300,000円(3号補正) 予算現額 25,388,000円 決算額 25,381,100円 残額 6,900円 ※執行率 100.0%</p>																														
当初予算額	23,700千円																																					
補正予算額	300千円																																					
決算額	25,382千円																																					

		<p>(3) 成果及び評価並びに改善点 小児の定期接種対象者へはその保護者あて接種時期を個別通知するなどし、ワクチンの適正接種による免疫獲得について啓発した。</p>						
89	<p>健康づくりトレーニング事業</p> <table border="1" data-bbox="233 344 580 456"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>682 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>567 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒健康福祉課 (保健センター) ②総合計画⇒暮らしの分野</p>	当初予算額	682 千円	補正予算額	0 千円	決算額	567 千円	<p>(1) 事業の概要 平成 20 年度から実施している大東文化大学との連携事業「AAA トレーニング教室」では筋力の維持向上を目的とし教室終了後も自主活動グループとしてトレーニングを継続していただける体制を整備している。また「はとやま AKB 測定」では、「歩く力」「筋力」「バランス能力」に着目し計測を行い、現在の自身の状況を把握し今後の生活に取り入れるアドバイスをを行っている。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算 682,000 円－決算額 566,388 円＝115,612 円 ※当初予算を決算額が下回った主な理由 計測時における指導者数が見込みよりも少ないことで謝礼に残が生じた。また、トレーニング室の油圧式トレーニングマシンの修繕が不要になったことが主な要因である。 ※執行状況 当初予算額 682,000 円 補正額 0 円 予算現額 571,000 円 決算額 566,388 円 残額 4,612 円 ※執行率 99.2%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 AAA トレーニング教室については、平成 28 年度より対象年齢を 40 歳以上の者とした。新たな自主活動グループも結成され、現在は 9 グループが、健康づくりトレーニング室(有料)においてトレーニングを継続している。また、はとやま AKB 測定については、測定後に指導員による今後の生活における健康づくりについてのアドバイスを行い参加者より好評を得た。</p>
当初予算額	682 千円							
補正予算額	0 千円							
決算額	567 千円							
90	<p>妊婦健康診査事業</p> <table border="1" data-bbox="233 1299 580 1411"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>4,271 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△100 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>3,876 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒健康福祉課 (保健センター) ②総合計画⇒暮らしの分野</p>	当初予算額	4,271 千円	補正予算額	△100 千円	決算額	3,876 千円	<p>(1) 事業の概要 妊婦健康診査にかかる費用を公費助成している。妊婦が県医師会と業務委託契約している医療機関で受診した場合は委託金額を除いた金額を負担すればよく、その委託金額については医療機関から町へ請求することとなる。公費負担上限額は 100,800 円。 また、県外にて里帰り出産する妊婦で、妊婦健康診査・助成券が使用できない(委託医療機関外)場合には、相当の健診費用に対して償還払いにより助成する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算 4,271,000 円－決算額 3,875,610 円＝425,390 円 当初、過去実績から 47 人分 401 万円を見込み、助成券を使用した妊婦は 46 人で、376 万 2,800 円の支出となり、見込んでいた人数との差である 247,200 円の残が生じた。 助成金の当初予算は、妊婦健診と同様に助成券①～④を 2～3 人分計上したところ、助成実績は 4 人、①～④を使用したのが、里帰りする時期により使用する枚数が違いがある。また里帰り先の青森県、山形県、神奈川県、熊本県の健診単価が埼玉県の健診委託料単価と比較し、熊本県で使用した①助成券は埼玉県と比較し高かったが、他の県や助成券①以外は比較的安かったため、残が生じた。 参考：妊娠届出者数 平成 26 年度 52 人 平成 27 年度 55 人 平成 28 年度 49 人 ※執行状況 ・妊婦健康診査委託料 当初予算額 4,010,000 円 補正額 0 円</p>
当初予算額	4,271 千円							
補正予算額	△100 千円							
決算額	3,876 千円							

		予算現額 4,010,000 円 決算額 3,762,800 円 残額 247,200 円 ※執行率 93.8% ・妊婦健康診査助成 当初予算額 261,000 円 補正額 △100,000 円 (6号補正) 予算現額 161,000 円 決算額 112,810 円 残額 48,190 円 ※執行率 70.1% ・妊婦健康診査事業(全体) 予算現額 4,271,000 円 決算額 3,875,610 円 ※執行率 90.7% (3) 成果及び評価並びに改善点 妊娠届出をした妊婦全員が定期的な妊婦健康診査を受診している。妊娠中の異常の早期発見をして、適切な治療や保健指導を行い、安全な分娩と健やかな児の出生を支援した。
--	--	--

項 2 環境衛生費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果						
91	公害対策経費(鳩川等・ゴルフ場農薬水質検査委託料) <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>2,594 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△26 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>2,549 千円</td> </tr> </table> ①所管課⇒生活環境課 ②総合計画⇒環境の分野	当初予算額	2,594 千円	補正予算額	△26 千円	決算額	2,549 千円	(1) 事業の概要 土地利用の変化に伴い、河川の水質が悪化する恐れがあるため、水質検査を実施し、水質の保全に努めるとともに、経年変化を把握し、今後の様々な対策資料とする。 ゴルフ場で使用する農薬について、計画書に基づき使用量、散布状況を確認し、排水の水質目標値に対しての汚染状況を確認する。 また、河川水等の健康項目検査および有害物質検査を実施し、環境汚染への対応として有害物質の検査を行っている。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 (3) 成果及び評価並びに改善点 鳩川等河川水質検査 11 箇所、年 2 回実施。また、糞便性大腸菌群の分析を 2 地点で実施(鳩川亀甲橋、内川東堂橋南)。 ゴルフ場排水残留農薬検査 5 ゴルフ場、24 年度から年 1 回実施。 健康項目および有害物質検査において、検査対象物質が環境基準を超えたことはない。
当初予算額	2,594 千円							
補正予算額	△26 千円							
決算額	2,549 千円							
92	ごみ不法投棄監視清掃業務委託料 <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>473 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△9 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>464 千円</td> </tr> </table> ①所管課⇒生活環境課 ②総合計画⇒環境の分野	当初予算額	473 千円	補正予算額	△9 千円	決算額	464 千円	(1) 事業の概要 不法投棄の定期的な監視を行うことにより、ごみの不法投棄の未然防止、不法投棄があった場合における迅速な撤去を実施し、地域環境の美化を図る。1 月当たり概ね 4 回実施。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 (3) 成果及び評価並びに改善点 監視活動によるごみ回収量は、27 年度比約 210kg (13.9%) と減少傾向にあり、監視活動の成果によるものと思われるが、不法投棄に対するモラルの低下は引き続き懸念される。
当初予算額	473 千円							
補正予算額	△9 千円							
決算額	464 千円							
93	広域静苑組合負担金 <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>3,638 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>3,638 千円</td> </tr> </table>	当初予算額	3,638 千円	補正予算額	0 千円	決算額	3,638 千円	(1) 事業概要 1 市 3 町で構成する火葬を行う組合の運営経費に係る負担金。組合規約に基づき、平等割 100 分の 20、人口割 100 分の 80 の割合で負担。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由
当初予算額	3,638 千円							
補正予算額	0 千円							
決算額	3,638 千円							

	①所管課⇒生活環境課 ②総合計画⇒環境の分野	(3) 成果及び評価並びに改善点 28年度は当初予算どおりの負担となった。	
94	浄化槽設置管理事業特別会計 繰出金	(1) 事業の概要 浄化槽設置管理事業特別会計への繰出金。浄化槽設置事業に係る経費のうち、国庫補助金、起債を除く町費負担分。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 (3) 成果及び評価並びに改善点 浄化槽設置管理事業特別会計は、当初の繰出金の範囲内にて実施することが出来た。	
	当初予算額		2,377千円
	補正予算額		0千円
	決算額		2,377千円
	①所管課⇒生活環境課 ②総合計画⇒暮らしの分野		

項3 清掃費

No.分類	事業	事業の概要及び成果	
95	埼玉西部環境保全組合負担金	(1) 事業の概要 1市3町で構成するごみ処理を行う組合の運営経費に係る負担金。組合規約に基づき、平均割100分の15、人口割100分の10、搬入量割100分の75の割合で負担。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 (3) 成果及び評価並びに改善点 28年度は当初予算どおりの負担となった。	
	当初予算額		199,881千円
	補正予算額		0千円
	決算額		199,881千円
	①所管課⇒生活環境課 ②総合計画⇒環境の分野		
96	坂戸地区衛生組合負担金	(1) 事業の概要 2市3町で構成するし尿および浄化槽汚泥の処理を行う組合の運営経費に係る負担金。組合規約に基づき、平等割100分の20、人口割100分の80の割合で負担。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 負担金が減額になったため。 (3) 成果及び評価並びに改善点 28年度は減額の負担となった。	
	当初予算額		25,440千円
	補正予算額		△2,880千円
	決算額		22,560千円
	①所管課⇒生活環境課 ②総合計画⇒環境の分野		

■款 6 農林水産業費

項 1 農業費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
97	減農薬栽培等奨励事業補助金	<p>(1) 事業の概要 埼玉県特別栽培認証制度の普及促進及び、環境保全型農業の奨励を図るために、認証を得た大豆生産農家等に対して補助金を交付する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.9%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 特別栽培は雑草や害虫対策に労力を要し、反収が減少するものの、ここ数年は取り組み農家数が増加する傾向にあり、平成 28 年度は 2 組合に支給した。</p>	
	当初予算額		1,282 千円
	補正予算額		125 千円 (流用) 70 千円
	決算額		1,476 千円
	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒産業経済の分野		
98	転作作物奨励事業補助金	<p>(1) 事業の概要 農家の公平性確保と転作作物の生産性向上のため、集団転作の手法でブロックローテーションを導入した農家等に対して補助金を交付する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.9%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 本補助金は、平成 26 年度から運用した。定着したブロックローテーションを継続し、転作推進、麦・大豆の作付拡大による生産性の向上を図った。</p>	
	当初予算額		787 千円
	補正予算額		(流用) -70 千円
	決算額		716 千円
	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒産業経済の分野		
99	農地流動化借手助成事業補助金	<p>(1) 事業の概要 町内の農用地の流動化を促進し、中核的農家の育成と農用地の有効利用を図るため、経営規模拡大を目指す農用地の借手農家に対し、農地流動化奨励金を交付する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 95.6%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 平成 28 年度・流動化合計面積 97.6ha・流動化率 18.1% (97.6ha/538a 田畑合計農地面積) 農地流動化奨励金 (延べ 37 件・119 筆)</p>	
	当初予算額		663 千円
	補正予算額		100 千円
	決算額		729 千円
	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒産業経済の分野		
100	多面的機能支援事業負担金	<p>(1) 事業の概要 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する事業。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.9%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 地区…鳩山町内泉井地区・須江地区・奥田地区・大豆戸地区・高野倉地区 5 地区 成果…地区での自主的主体的な活動により、農地、水路等の見回りや草刈り、美化活動などが実施され環境保全が図られた。</p>	
	当初予算額		5,787 千円
	補正予算額		-496 千円 (流用) -91 千円
	決算額		5,199 千円
	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒産業経済の分野		
101	農業集落排水事業特別会計繰出金	<p>(1) 事業の概要 農業集落排水事業特別会計への一般会計からの繰出金である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 処理場機器が故障し、多額の費用がかかったため。</p>	
	当初予算額		25,418 千円
	補正予算額		5,068 千円
	決算額		30,486 千円

	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒産業経済の分野	(3) 成果及び評価並びに改善点 繰出金によって施設の適正な稼働が図られた。						
102	農村公園管理委託料 <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>3,882千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>3,881千円</td> </tr> </table> ①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒産業経済の分野	当初予算額	3,882千円	補正予算額	千円	決算額	3,881千円	(1) 事業の概要 <ul style="list-style-type: none"> 施設管理業務（管理：347日、芝刈：2人/4日、除草：2人/77日、施設清掃：週3日年間153日、低木剪定649.8㎡） ジャブジャブ池清掃業務：年間3回実施（5・7・10月） 機会警備・自家用電気工作物保安管理業務・浄化槽設備維持管理業務 消防設備保守点検業務・清掃業務・公園周辺里山管理業務 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率100.0%
当初予算額	3,882千円							
補正予算額	千円							
決算額	3,881千円							
103	環境保全型農業直接支援対策費補助金 <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>378千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△85千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>292千円</td> </tr> </table> ①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒産業経済の分野	当初予算額	378千円	補正予算額	△85千円	決算額	292千円	(1) 事業の概要 農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るためには、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進することが必要である。そこで、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い「環境にやさしい農業」に取り組む農業者等に対する支援を行い、環境保全型農業の推進を図った。
当初予算額	378千円							
補正予算額	△85千円							
決算額	292千円							
	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒産業経済の分野	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率99.6%である。						
104	経営所得安定対策推進事業費補助金 <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>700千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>700千円</td> </tr> </table> ①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒産業経済の分野	当初予算額	700千円	補正予算額	千円	決算額	700千円	(1) 事業の概要 経営所得安定対策の実施に必要な推進活動のうち、地域段階の事業実施主体が行う現場における推進活動や要件確認等に必要とする経費を鳩山町地域農業再生協議会へ補助した。
当初予算額	700千円							
補正予算額	千円							
決算額	700千円							
	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒産業経済の分野	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率100.0%である。						
	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒産業経済の分野	(3) 成果及び評価並びに改善点 経営所得安定対策の推進活動を円滑に行うことできた。						
105	法人化推進事業費補助金 <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>400千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>800千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>1,200千円</td> </tr> </table> ①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒	当初予算額	400千円	補正予算額	800千円	決算額	1,200千円	(1) 事業の概要 集落営農組合を法人化推進する補助金。法人登記等に必要とする費用に対して補助した。
当初予算額	400千円							
補正予算額	800千円							
決算額	1,200千円							
新	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率100.0%である。						
	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒	(3) 成果及び評価並びに改善点 3集落営農組合（泉井、須江、大豆戸）について法人化することが出来た。						

■款 7 商工費

項 1 商工費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
106	商工会・つつじ祭補助金	<p>(1) 事業の概要 町の商工業の振興と安定した地域経済の発展と町の活性化を図り、商工業者の経営又は技術の改善発達のための事業、商工会に補助金を交付して地域発展を図る。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 商工会補助金 3,700,000 円、つつじ祭 800,000 円、商工会の安定運営と内容が充実したつつじ祭が実施できた。</p>	
	当初予算額		4,500 千円
	補正予算額		0 千円
	決算額		4,500 千円
	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒産業経済の分野		
107	小規模企業経営資金利子補給金補助金	<p>(1) 事業の概要 町内の小規模企業者の事業資金の融資の利子の一部を補助して、経営の円滑化を促進し安定した中小企業の経営の発展に資するため。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.9%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 町内の中小企業を取り巻く環境は厳しく、国・県の緊急融資は年々増加傾向であり、利子補給制度により中小企業の安定した健全経営を進めることができた。融資件数 70 件。融資を受けている企業数 37 社</p>	
	当初予算額		1,960 千円
	補正予算額		0 千円
	決算額		1,959 千円
	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒産業経済の分野		
108	住宅リフォーム資金助成事業補助金	<p>(1) 事業の概要 個人住宅の質の向上と地域経済対策の一環として町内業者の経営安定を図る目的に住宅改修の経費の一部を補助する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算を見込んだ件数を上回る申請があり、補正予算にて対応した。執行率 98.9%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 22 件の申請で 1,534,000 円の補助金を支給した。施工金額は総額で 32,979,378 円となり、町内業者への波及効果が図れた。</p>	
	当初予算額		1,000 千円
	補正予算額		550 千円
	決算額		1,534 千円
	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒暮らしの分野		
109	企業誘致奨励金	<p>(1) 事業の概要 企業の誘致を推進することにより、産業の振興及び雇用機会の拡大を図り、本町経済の発展、町民生活の向上に資するため。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100.0%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 1 件の申請で、企業奨励金 30,000,000 円を交付し、本町の経済発展、町民生活の向上が図られた。</p>	
	当初予算額		30,000 千円
	補正予算額		0 千円
	決算額		30,000 千円
	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒暮らしの分野		
110	鳩山町観光マップ作成業務委託料	<p>(1) 事業の概要 観光マップを作成し魅力あるはとやまの情報発信する。 A 5 版 16 ページ、カラー刷り、10,000 部作成</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 92.5%</p>	
	当初予算額		432 千円
	補正予算額		0 千円
	決算額		399 千円

	<p>①所 管 課⇒産業振興課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>	<p>(3) 成果及び評価並びに改善点 イメージキャラクターを活用し町内の自然・観光場所・祭り・歴史・特産品をわかりやすくPRするもので、ホームページにも掲載して「鳩山町」を広く紹介することができた。</p>
--	--------------------------------------	---

■款 8 土木費

項 2 道路橋りょう費

No. 分類	事業		事業の概要及び成果
111	町道改良工事		<p>(1) 事業の概要 赤沼地内の通学路区間約 88mの町道第 70 号線の道路改良工事である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 通学路の安全対策を必要とする約 70m の事業区間の追加工事が可能となったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 改良箇所については、急カーブとなっており生徒・児童の通学時の危険性が指摘されていたが改良工事を実施したことにより、児童を含む利用者の通行時の安全に寄与することができた。</p>
	当初予算額	4,000 千円	
	補正予算額	4,370 千円	
	決算額	8,370 千円	
①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野			
112	町道改良工事に伴う用地買収費		<p>(1) 事業の概要 小用地内の町道第 1248 号線の幅員狭小区間、約 250mの道路改良事業である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 平成 27 年度に実施した道路改良工事に伴う用地測量及び物件調査に基づき、平成 28 年度は用地買収等を実施した。</p>
	当初予算額	2,500 千円	
	補正予算額	△541 千円	
	決算額	1,938 千円	
①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野			
113	町道管理業務委託料		<p>(1) 事業の概要 NT 地区及び亀井・今宿地区の主要町道等の維持・管理業務（路肩の清掃、除草、街路樹の剪定等）である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 主要町道等の街路樹の剪定及び除草を実施することにより、良好な道路環境の維持に努め、歩行者等の交通安全の対策が図れた。</p>
	当初予算額	14,113 千円	
	補正予算額	0 千円	
	決算額	13,413 千円	
①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野			
114	町道維持補修業務委託料		<p>(1) 事業の概要 町内全域を対象とする道路施設等の維持補修業務である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 維持補修業務の緊急対応を実施したため、同類業務の同一科目内の委託料から流用対応を行った。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 道路上における危険箇所の早期補修等により、交通事故等の防止に努めた。</p>
	当初予算額	4,500 千円	
	補正予算額	0 千円	
	決算額	4,520 千円	
①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野			
115	町道修繕工事 交通安全対策工事		<p>(1) 事業の概要 町道第 2766 号線を中心とした老朽化した路面表示の交通安全対策工事である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 外側線や停止線の路面表示工事を実施することにより、安全で快適な道路交通の確保が図れた。</p>
	当初予算額	4,500 千円	
	補正予算額	0 千円	
	決算額	4,006 千円	
①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野			

116	町道修繕工事 防災・安全交付金 町道第 1323 号外線舗装修繕工事		<p>(1) 事業の概要 防災安全交付金を活用した町道第 1323 号線、町道第 61 号線、町道第 62 号線の舗装修繕工事である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 次年度以降において、防災安全交付金を活用した舗装修繕工事の要望に一定の制限が設けられる予定のため、防災安全交付金関連事業費の全体調整を行い、舗装修繕事業を拡大し実施した。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 老朽化した舗装面の修繕工事を実施することにより、通学児童等の交通事故防止と本町の道路交通体系の充実が図れた。</p>
	当初予算額	10,500 千円	
	補正予算額	10,000 千円	
	決算額	18,144 千円	
<p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野</p>			
117	町道修繕工事 町内全域町道舗装修繕工事		<p>(1) 事業の概要 町内全域を対象とする舗装修繕工事である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 年間単価契約業者へ指示書により指示するため、緊急性の高い補修に対応でき、道路交通の安全が図れる。</p>
	当初予算額	3,000 千円	
	補正予算額	0 千円	
	決算額	2,993 千円	
<p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野</p>			
118	橋りょう整備工事負担金		<p>(1) 事業の概要 都市計画道路入西・赤沼線橋りょう整備工事の負担金である。 坂戸市が事業主体となり鳩山町は、一般単独費と起債経費の 1/2 を負担している。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算額は、入西・赤沼線橋りょう整備工事に係る坂戸市の公債費から当該年度に普通交付税に算入される公債費の見込み額を差し引いた額の 1/2 を予算計上している。 普通交付税に算入される公債費分の確定に伴い、当初見込み額との差額分が減額となったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 都市計画道路入西赤沼線は、県道ときがわ坂戸線の渋滞緩和と坂戸市との交通円滑化を図ることを目的とし、平成 26 年 3 月に開通した。これにより坂戸西スマート IC との相乗効果により町の交通体系が充実した。</p>
	当初予算額	31,269 千円	
	補正予算額	△2,100 千円	
	決算額	29,168 千円	
<p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野</p>			
119	町内橋りょう耐震補強設計業務委託料		<p>(1) 事業の概要 防災安全交付金を活用した橋長 15m 以上の橋りょうの耐震補強設計業務である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 防災安全交付金の採択率が要望額の約 58%であったため、事業規模を可能な範囲で縮小した。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 防災安全交付金の採択率が低いため、優先順位等の検討により、竹之城橋、新唐沢橋の耐震補強・修繕設計を実施した。</p>
	当初予算額	15,000 千円	
	補正予算額	△5,820 千円	
	決算額	8,230 千円	
<p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野</p>			
120	橋りょう定期点検業務		<p>(1) 事業の概要 道路法施行規則の一部が改正され、平成 26 年 7 月から橋長 2m 以上の橋の点検は 5 年に 1 回の頻度を基本とし、健全性についても 4 段階に区分することが義務化されたため実施するものである。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 防災安全交付金の採択率が要望額の約 58%であったため、事業規模を可能な範囲で縮小した。</p>
	当初予算額	10,000 千円	
	補正予算額	△2,980 千円	
	決算額	7,020 千円	
<p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野</p>			

		<p>(3) 成果及び評価並びに改善点 防災安全交付金を活用して点検事業を実施した。 点検が必要な橋りょうは町内に 110 橋あり、平成 27 年度は 40 橋、平成 28 年度は 30 橋の点検を完了させた。平成 29 年度の点検見込み数は 26 橋とし、平成 30 年度までに全ての橋りょう点検を完了させる予定である。</p>						
121	<p>田中橋長寿命化工事</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>55,000 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△27,236 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>26,716 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野</p>	当初予算額	55,000 千円	補正予算額	△27,236 千円	決算額	26,716 千円	<p>(1) 事業の概要 防災安全交付金を活用した橋りょう耐震補強整備事業である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初は、耐震補強工事と長寿命化工事を予定していたが、防災安全交付金の採択率が要望額の約 58%であったため、事業内容の見直しを行い長寿命化工事のみを実施した。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 防災安全交付金を活用し橋りょう長寿命化修繕工事を実施した。 この事業の実施により、橋りょうの長寿命化を図ることができた。</p>
当初予算額	55,000 千円							
補正予算額	△27,236 千円							
決算額	26,716 千円							
122	<p>石今橋維持管理負担金</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>15,084 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△15,000 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>55 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野</p>	当初予算額	15,084 千円	補正予算額	△15,000 千円	決算額	55 千円	<p>(1) 事業の概要 石今橋の維持管理については、平成 5 年（4 月 23 日）締結の「石今橋の維持管理に関する協定書」に基づき実施しており、この協定により管理は坂戸市が行い、費用の負担に関しては坂戸市、鳩山町で 50%ずつ負担することとなっている。 平成 28 年度は、当初予算編成の段階で、坂戸市との協議により、通常分の道路照明灯電気料金等の維持管理負担金の他に、石今橋の歩道等修繕工事分の負担金 15,000 千円を見込んでいた。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 平成 28 年度に坂戸市において、平成 26 年 7 月から義務化された石今橋の「橋りょう定期点検」を実施しており、その点検結果によっては、次年度以降に歩道、橋りょうを一体的に修繕した方が合理的であると判断し、歩道等修繕工事を翌年度以降に延期したため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 協定に基づき適切な橋りょうの維持管理を実施している。</p>
当初予算額	15,084 千円							
補正予算額	△15,000 千円							
決算額	55 千円							

項 3 河川費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果						
123	<p>準用河川堤防等除草業務委託料</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>2,632 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△326 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>2,306 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野</p>	当初予算額	2,632 千円	補正予算額	△326 千円	決算額	2,306 千円	<p>(1) 事業の概要 準用河川の堤防等の除草等を行う河川維持管理業務である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 堤防等の除草を実施することにより、良好な河川環境の維持が図れた。</p>
当初予算額	2,632 千円							
補正予算額	△326 千円							
決算額	2,306 千円							

項 4 都市計画費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果						
124	<p>都市計画基礎調査業務委託料</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>3,122 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△65 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>2,840 千円</td> </tr> </table>	当初予算額	3,122 千円	補正予算額	△65 千円	決算額	2,840 千円	<p>(1) 事業の概要 都市計画法第 6 条第 1 項の規定に基づき、実施する都市計画の運用を適切に行うための基礎となる法定調査である。</p>
当初予算額	3,122 千円							
補正予算額	△65 千円							
決算額	2,840 千円							

	<p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野</p>	<p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 県の都市計画基礎調査委託金を受けて、人口規模、市街地の面積、土地利用に関する現状など国土交通省令で定める事項について、基礎調査を実施することができた。</p>						
125	<p>都市計画図修正業務委託料</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>2,808千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>3,024千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野</p>	当初予算額	2,808千円	補正予算額	0千円	決算額	3,024千円	<p>(1) 事業の概要 既存基本図（1/2500）及び都市計画図（1/10000）を修正し、更新する業務である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 土砂災害警戒区域等の修正業務を急遽追加対応するため、同類事業の同一科目内の委託料から流用対応したため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 現況地形と基本図等が大きく整合しないエリアの部分修正及び土砂災害警戒区域等の追加設定を実施することができた。</p>
当初予算額	2,808千円							
補正予算額	0千円							
決算額	3,024千円							
126	<p>耐震改修促進事業費補助金</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>250千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△250千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>0千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野</p>	当初予算額	250千円	補正予算額	△250千円	決算額	0千円	<p>(1) 事業の概要 鳩山町耐震改修促進計画に基づき、原則、昭和56年5月31日以前に建てられた旧耐震基準が適用されている建築物を対象とし、診断（上限5万円）及び診断結果に基づき改修工事（上限20万円）を実施された方に補助金を交付する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 補助対象建築物が建築後36年以上経過しており、耐震改修よりも建て替え等に大きく需要がシフトしていることが大きな要因の一つと考えられる。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 相談は数件あるもののここ数年の実績は0件となっている。広報等で制度の周知を積極的に行い、引き続き、旧耐震基準の木造建築物の改修促進を図って行く必要がある。</p>
当初予算額	250千円							
補正予算額	△250千円							
決算額	0千円							
127	<p>今宿東土地区画整理事業特別会計繰出金</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>82,750千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△1,381千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>81,369千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野</p>	当初予算額	82,750千円	補正予算額	△1,381千円	決算額	81,369千円	<p>(1) 事業の概要 既成市街地の再編と良好な住宅地の整備を目的として、今宿東土地区画整理事業を推進しているが、その財源として一般会計から繰出しを実施している。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 建物等移転補償費、仮換地地区図変更業務委託料、地方債利子が当初予算額を下回ったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 未整備区域内の宅地整地工事、建築物移転補償を実施することができ、事業の進捗が図られた。</p>
当初予算額	82,750千円							
補正予算額	△1,381千円							
決算額	81,369千円							
128	<p>毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合負担金</p> <table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>143,980千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>143,980千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒環境の分野</p>	当初予算額	143,980千円	補正予算額	0千円	決算額	143,980千円	<p>(1) 事業の概要 市街化区域を中心に下水道を整備することにより、快適で衛生的な市街地の整備を目的としている。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 平成26年度から5か年計画（H26～30年度）で県道ときがわ坂戸線沿線の鳩山第1処理分区（54.9ha）の下水道整備工事が開始され、当町の市街化区域内における公共下水道の未整備地区の都市環境の改善が図られている。</p>
当初予算額	143,980千円							
補正予算額	0千円							
決算額	143,980千円							

129	おしゃもじ山公園管理業務委託料		<p>(1)事業の概要 おしゃもじ山公園区域内の除草作業及び樹木剪定・伐採等の管理業務である。</p> <p>(2)当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3)成果及び評価並びに改善点 公園内の適正な管理に努めることにより、良好な公園環境が保たれている。</p>
	当初予算額	1,224千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	1,137千円	
①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒環境の分野			
130	ニュータウン内公園・緑地管理業務委託料		<p>(1)事業の概要 ニュータウン内都市公園及び緑地の除草及び樹木剪定・伐採等の管理業務である。</p> <p>(2)当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 公園及び緑地内樹木の剪定・伐採の緊急対応を実施したため。 なお、緊急対応については、同類業務の同一科目内の委託料から流用対応を行った。</p> <p>(3)成果及び評価並びに改善点 公園及び緑地の適正な維持管理に努めているが、ここ数年樹木の成長等による苦情が多く寄せられている。 限られた予算の中で、適切な維持管理を行っていく必要がある。</p>
	当初予算額	21,262千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	21,541千円	
①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒環境の分野			
131	親水公園植栽管理業務委託料		<p>(1)事業の概要 親水公園内の除草及び植栽の維持管理を行う業務である。</p> <p>(2)当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3)成果及び評価並びに改善点 公園内の適正な管理に努めることにより、良好な公園環境が保たれている。</p>
	当初予算額	588千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	480千円	
①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒環境の分野			
132	親水公園芝生管理業務委託料		<p>(1)事業の概要 親水公園内多目的広場の芝生の維持管理を行う業務である。</p> <p>(2)当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 多目的広場内の芝生管理業務（機械芝刈り）の実施回数を削減することができたため。</p> <p>(3)成果及び評価並びに改善点 公園内の適正な管理に努めることにより、良好な公園環境が保たれている。</p>
	当初予算額	627千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	177千円	
①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒環境の分野			
133	今宿地区外都市公園等清掃・植栽管理業務委託料		<p>(1)事業の概要 公園トイレの清掃及び公園・緑地の除草、低木剪定等の維持管理業務である。</p> <p>(2)当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 公園及び緑地内樹木の剪定・伐採の緊急対応を実施したため。 なお、緊急対応については、同類業務の同一科目内の委託料から流用対応を行った。</p> <p>(3)成果及び評価並びに改善点 公園内の適正な管理に努めることにより、良好な公園環境が保たれている。</p>
	当初予算額	3,703千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	4,008千円	
①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒環境の分野			

■款 9 消防費

項 1 消防費

No.	事業		事業の概要及び成果	
134	西入間広域消防組合負担金		<p>(1) 事業の概要 毛呂山町・越生町・鳩山町の3町により構成組織される、西入間広域消防組合の常備消防費及び非常備消防費の負担金。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 98.8% 不用額 3,462,220 円は、非常備消防費清算による戻入。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 消防・救急業務を西入間広域消防組合で共同処理することにより、業務の効率化と経費削減が図られている。</p>	
	当初予算額	294,197 千円		
	補正予算額	△2,212 千円		
	決算額	288,523 千円		
	<p>①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒</p>			
135	防災行政無線設備保守点検委託料		<p>(1) 事業の概要 災害等の発生時における地域住民へ適切な情報伝達を行うための、防災行政無線設備の定期保守点検業務。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率：100%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 当該点検作業により、機器の不具合箇所等の発見がなされ、早急な修繕対応を実施することで、災害等の不測の事態に備えられている。</p>	
	当初予算額	5,155 千円		
	補正予算額	0 千円		
	決算額	5,155 千円		
	<p>①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒社会資本</p>			
136	地震ハザードマップ作成業務委託料等（印刷製本費含む）		<p>(1) 事業の概要 平成24～25年度に埼玉県が県内全域で行った最新の地震被害想定調査結果を反映した地震ハザードマップの新規作成及び町民への配布。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率：100%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 平成28年4月に熊本地震が発生するなど、東日本大震災以降、大地震に対する防災意識も高まっている中で、最新の被害想定調査に基づいた地震ハザードマップの作成及び配布を行ったことで、町民に対するより一層の防災意識の啓発を図ることができた。</p>	
	新	当初予算額		4,503 千円
		補正予算額		△1,191 千円
		決算額		2,852 千円
	<p>①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒社会資本</p>			
137	自動体外式除細動器（AED）借上料		<p>(1) 事業の概要 救命救急活動の一助としての、町有施設へのAEDの常設。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率：99.9%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 平成28年度においては、避難所に指定されている町有施設で未設置となっていた「亀井農村センター」と「石坂集会所」に新たに設置を行った。</p>	
	当初予算額	999 千円		
	補正予算額	△239 千円		
	決算額	759 千円		
	<p>①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒社会資本</p>			
138	防災情報メール配信サービス使用料		<p>(1) 事業の概要 災害等発生時における地域住民へ適切な情報伝達である防災行政無線放送のフォロー手段としての、防災無線放送内容のメール配信サービス。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.9%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 防災行政無線放送は、建物内にいる場合や大雨時などにおいては、聞き取りづらくなることから、放送内容を確実に確認する手段として有効な手</p>	
	当初予算額	843 千円		
	補正予算額	0 千円		
	決算額	842 千円		
	<p>①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒社会資本</p>			

		段となっている。
139	埼玉県衛星系防災行政無線施設再整備事業費負担金	
	新	
	当初予算額	11,300千円
	補正予算額	0千円
	決算額	11,247千円
	①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒社会資本	<p>(1) 事業の概要 埼玉県が平成26年度から3か年計画で実施している「衛星系防災行政無線」における、鳩山町役場庁舎での当該設備の再整備工事。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.5%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 埼玉県実施の事業であるが、町と工事請負業者との事前調整を綿密に行い、滞りなく完了した。</p>
140	自主防災組織育成事業補助金	
	当初予算額	200千円
	補正予算額	△150千円
	決算額	0千円
	①所管課⇒総務課 ②総合計画⇒社会資本	<p>(1) 事業の概要 災害発生時における初期の防災活動を担う自主防災組織活動の支援、育成を図るため活動費及び資機材等の購入費の一部助成。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 自主防災活動の実施や資機材等を購入する団体がなかったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 当該補助制度は、平成25年度から開始した事業であるが、平成27年度は鳩山ニュータウン地区において自主防災訓練が行われたが、平成28年度は、町で実施した防災訓練が、鳩山ニュータウン地区と石坂一地区を対象として行われたことから、当該地区の自主防災訓練が行われず、また、その他の地区についても、実施の検討はなされていたものの、実施には至らなかったため、補助実績がなかった。今後も、引き続き、自主防災組織単位の防災訓練の実施について、区長・自治会長会議等での周知を図り、地域における自主防災活動の推進を図りたい。</p>

■款 10 教育費

項 1 教育総務費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
141	鳩山町立小中学校 35 人学級支援事業（賃金）	<p>(1) 事業の概要 小中学校における 35 人学級編制実現のため、町費任用の臨時的任用講師 小学校 2 名、中学校 4 名を配置（年間小学校 210 日、中学校 210 日勤務、週 5 日、1 日あたり 7 時間 45 分勤務。中学校のみ時間外勤務 110 時間/年）</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 94.4%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 全学年において 1 クラス 35 人以下の学級編制にできた。その結果、きめ細やかな指導が可能となり、学力向上とともに、生徒指導上でも大きな成果が表れた。平成 27 年 6 月に実施したアンケートでも約 8 割の保護者らが、学力向上や、生活指導の充実に効果があったと答えている。今後も継続していきたい。</p>	
	当初予算額		15,473 千円
	補正予算額		△1,165 千円
	決算額		13,510 千円
	①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒人づくりの分野		
142	小学校・幼稚園学習支援事業（賃金）	<p>(1) 事業の概要 きめ細やかな学習ができるように、小学校 3 名、幼稚園 1 名の町費による臨時的任用講師を配置（小学校：年間 180 日勤務、週 5 日、1 日あたり 6 時間勤務・幼稚園：年間 202 日勤務、1 日あたり 6 時間勤務）</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.9%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 講師を配置することで、少人数指導や教員 2 名による指導が可能となり、個に応じたきめ細やかな対応、及び基礎的・基本的内容の徹底を図ることができた。今後も継続していきたい。</p>	
	当初予算額		6,194 千円
	補正予算額		0 千円
	決算額		6,193 千円
	①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒人づくりの分野		
143	さわやか相談員（賃金）	<p>(1) 事業の概要 鳩山中学校内にあるさわやか相談室内に相談員 1 名を配置（年間 235 日、週 5 日、1 日 5 時間勤務）</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.1%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 不登校生徒や相談室登校の生徒、その保護者に対する専門的立場での相談活動で、不登校生徒の減少や相談室登校生徒を教室復帰させた。今後も継続していきたい。</p>	
	当初予算額		1,645 千円
	補正予算額		0 千円
	決算額		1,631 千円
	①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒人づくりの分野		
144	小学校費英語講師（賃金）	<p>(1) 事業の概要 小学校に英語講師 1 名を配置（小学校 3 校分/勤務時間は最大年間 665 時間※打ち合わせ分 210 時間含む）</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 85.2%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 担任の専門性不足を専門的な立場で補助し、担任と協力して児童の指導にあたり、英語の楽しさを実感させるとともに、英語好きな児童を多く育てることができた。今後も継続していきたい。</p>	
	当初予算額		998 千円
	補正予算額		0 千円
	決算額		851 千円
	①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒人づくりの分野		

145	総合的な学習事業補助金		<p>(1) 事業の概要 町内小中学校の児童・生徒の積極的な体験活動の推進や個々の活動を重視した調べ学習、また、国際交流活動など活動しやすい環境づくりのための1校あたり50,000円の補助。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率100%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 亀井小:農業体験、地域ふれあい活動、国際理解教育、昔を学ぶ会など 今宿小:探検・発見・鳩山町、大豆栽培、英語活動、みそづくりなど 鳩山小:鳩山町を有名にしよう、大豆博士になろう、お米博士になろう、ワールドリサーチ、職業調べなど 鳩山中:基礎学習(自然・環境)、進路学習(職場体験)、国際交流、自国理解、進路学習、表現活動など 今後も補助を継続していきたい。</p>
	当初予算額	200千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	200千円	
<p>①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒人づくりの分野</p>			
146	学校応援団事業補助金		<p>(1) 事業の概要 地域のボランティアや有識者に学校への協力者になってもらい、防犯活動や学校の環境整備、授業の補助等に参加してもらうための事業補助で、1校あたり60,000円の補助。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率100%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 各学校において、登下校時の見守り活動や、学校花壇や校庭の除草作業などの環境整備活動、体験授業時の講師等の分野で、地域との協力が図れ、家庭・地域全体で学校教育を支援する体制が整えられている。 今後も継続していきたい。</p>
	当初予算額	240千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	240千円	
<p>①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒人づくりの分野</p>			

項2 小学校費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
147	教育用パソコン借上料(小学校3校分)		<p>(1) 事業の概要 町内の小学校にあるパソコン教室における機器及び学習ソフト類の賃貸借に係る経費</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率99.9%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 各小学校で児童がパソコン類に触れる機会や調べ学習、パソコンを用いた学習の際に活用されている。今後も継続していきたい。</p>
	当初予算額	5,315千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	5,314千円	
<p>①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒</p>			
148	亀井小学校通学バス運行経費		<p>(1) 事業の概要 亀井小学校の児童の下校時における防犯と安全確保のために通学バスを運行し、希望者を地域の拠点まで送る。平成28年度はバス利用者47人、運行日数133日、388便、利用児童数延べ5,360人、走行距離5,361*。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率81.0% 学校行事の関係で当初見込んだ運行日の減少、修繕料及び代替車両の賃借料等の執行が見込みを下回ったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 学校及び保護者から好評である。今後も継続していきたい。</p>
	当初予算額	1,094千円	
	補正予算額	△40千円	
	決算額	854千円	
<p>①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒</p>			

149	新	亀井小学校臨時駐車場碎石舗装工事費		<p>(1) 事業の概要 粘土質の泥がむき出しの駐車場（道路挟んだ正門の反対側）で、雨が降るとぬかるみがひどくなり、車の出入りができない状態であった。亀井小学校来校者への利便性向上のため工事を実施した。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 96.1%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 好天・悪天に左右されず、来校者が安心して駐車できる環境が確保された。</p>
		当初予算額	0千円	
		補正予算額	628千円	
		決算額	604千円	
①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒				
150	新	今宿小学校体育館東側雨樋改修工事費		<p>(1) 事業の概要 体育館東側（校庭側）雨樋に、土・ゴミ等が詰まり雑草が繁茂していたため、台風シーズン前に改修を実施した。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 73.1%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 東側雨樋改修工事を開始するにあたり、西側軒樋内にもゴミ等が詰まっていることが判明したため、変更契約を行い体育館西側軒樋内洗浄工事を追加した。</p>
		当初予算額	443千円	
		補正予算額	0千円	
		決算額	324千円	
①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒				
151	新	鳩山小学校体育館舞台幕（緞帳）交換工事費		<p>(1) 事業の概要 体育館の舞台幕（引き割り緞帳）の破損・劣化がひどく、学校行事や学校開放等で支障が出ていたため、交換工事を行った。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 89.1%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点</p>
		当初予算額	812千円	
		補正予算額	0千円	
		決算額	733千円	
①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒				
152	新	鳩山小学校体育館屋内消火栓設備工事費		<p>(1) 事業の概要 体育館内床下の消火栓への管路漏水により、水道料金等にも影響が出ていたため、配管工事他、保温工事の修繕工事を実施した。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点</p>
		当初予算額	0千円	
		補正予算額	1,080千円	
		決算額	1,080千円	
①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒				

項3 中学校費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果
153	ボランティア相談員報償	
	当初予算額	1,299千円
	補正予算額	0千円
	決算額	1,191千円
①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒人づくりの分野		<p>(1) 事業の概要 鳩山中にある「さわやか相談室」に生徒とのふれあいを通しての相談・援助や地域の情報収集をするボランティア相談員2名を配置。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 91.6%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 さわやか相談員が家庭や小学校訪問をしている。そのさわやか相談員が不在の際には、相談室登校生徒や保護者からの電話に対応し、円滑な相談室運営を可能とした。</p>

154	校務・教育用パソコン、教育用タブレット PC 借上料		<p>(1) 事業の概要 校務・教職員用のパソコン等機器及びパソコン教室内の機器類に係る賃借料 追加：教育用タブレット PC・モバイルルーター 各学校 2 台ずつ設置(H28.5～)</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 98.9%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 教育用 PC については、パソコン教室が整備され、そこでは児童・生徒 1 人 1 台の状況にあるが、教職員用の PC の配置はまだ 1 人 1 台の状況になっていないため、引き続き努力していく必要がある。</p>
	当初予算額	5,323 千円	
	補正予算額	0 千円	
	決算額	5,267 千円	
①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒			
155	英会話指導業務委託料		<p>(1) 事業の概要 ALT（外国人指導教諭）を中学校並びに小学校を対象に 1 人配置。勤務内容は 1 日 5 時間、年間最大 995 時間。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.9%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 ALT が小中学校で指導に当たるため、中学校入学後の英語の授業にも抵抗なく馴染んでいける。今後も継続していきたい。</p>
	当初予算額	3,916 千円	
	補正予算額	0 千円	
	決算額	3,915 千円	
①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒人づくりの分野			
156	学力検査業務委託料		<p>(1) 事業の概要 中学 1～2 年生の学力テスト 1 回分/3 年生の学力テスト 3 回分の公費負担</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.8%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 1～2 年生の学力検査の結果は学習の理解度の判定資料に、3 年生の結果は進路指導の参考資料として活用している。今後も継続していきたい。</p>
	当初予算額	740 千円	
	補正予算額	△67 千円	
	決算額	672 千円	
①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒人づくりの分野			
157 新	校舎高架水槽塔床面防水・塗装工事費		<p>(1) 事業の概要 校舎屋上の高架水槽塔床面が損傷し、剥離していた。剥離したシートより溜まった水が染み出している状況であったため、床面防水改修・高架水槽塗装工事を実施した。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 92.5%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点</p>
	当初予算額	713 千円	
	補正予算額	0 千円	
	決算額	660 千円	
①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒			

項 4 幼稚園費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果
158	未就園児保育体験補助員（賃金）	
	当初予算額	200 千円
	補正予算額	0 千円
	決算額	200 千円
①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒人づくりの分野		<p>(1) 事業の概要 3 歳児と保護者を対象に幼稚園生活の体験をする。 1 回 1 時間 30 分～3 時間 30 分程度 年間 26 回 実施</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100 %</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 参加延人数 354 組の親子</p>

			保育体験を重ね、園の施設や同年齢の友だちとかかわることで、入園後の園生活が円滑に始められている。また、保育体験で在園児の活動状況を実際に見たり、職員に子育てや園生活に向けての相談をする機会となっていて、親子共に園生活に向けて安心感の一助になっている。							
159	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">預かり保育補助員（賃金）</td> </tr> <tr> <td>当初予算額</td> <td>675 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△21 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>648 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒人づくりの分野</p>	預かり保育補助員（賃金）		当初予算額	675 千円	補正予算額	△21 千円	決算額	648 千円	<p>(1) 事業の概要 保護者の就労や家庭の都合により、幼稚園教育時間終了後に、保育を要する園児を預かる。1回 400 円、おやつ教材費 1 回 50 円</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 99.1%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 預かり保育日数 193 日、利用延べ人数 741 人 預かり保育料 296,400 円 1 人当たりの平均利用回数 20.0 回 保護者にとって安心して子どもを預けられる場として好評である。今後も継続していきたい。</p>
預かり保育補助員（賃金）										
当初予算額	675 千円									
補正予算額	△21 千円									
決算額	648 千円									
160	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">幼稚園就園奨励費補助金</td> </tr> <tr> <td>当初予算額</td> <td>3,054 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△350 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>2,605 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒人づくりの分野</p>	幼稚園就園奨励費補助金		当初予算額	3,054 千円	補正予算額	△350 千円	決算額	2,605 千円	<p>(1) 事業の概要 町内に住む、未就園児の幼稚園就園奨励と保育料の保護者負担軽減のため、園児と生計を一にしている父母等の町民税課税額に応じて補助金を交付。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 96.3%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 私立幼稚園 10 園に在園する 20 人に対し、2,570,200 円を交付。事務費補助として 34,600 円を私立幼稚園に交付。保護者の負担軽減に寄与している。</p>
幼稚園就園奨励費補助金										
当初予算額	3,054 千円									
補正予算額	△350 千円									
決算額	2,605 千円									
161	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">空調機更新工事</td> </tr> <tr> <td>当初予算額</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>638 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>612 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒</p>	空調機更新工事		当初予算額	0 千円	補正予算額	638 千円	決算額	612 千円	<p>(1) 事業の概要 2 階会議室空調機故障の為更新工事を実施した。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 95.8%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 工事をしたことにより、PTA 活動や保護者のサークル活動等を快い環境の中で行うことができている。</p>
空調機更新工事										
当初予算額	0 千円									
補正予算額	638 千円									
決算額	612 千円									

項 5 生涯教育費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果																		
162	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">家庭教育学級事業経費</td> </tr> <tr> <td>当初予算額</td> <td>64 千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>48 千円</td> </tr> </table> <p>①所管課⇒生涯学習課 ②総合計画⇒人づくりの分野</p>	家庭教育学級事業経費		当初予算額	64 千円	補正予算額	0 千円	決算額	48 千円	<p>(1) 事業の概要 平成 27 年度から子どもたちの健全育成のため、各小・中学校 PTA で取組まれている。家庭教育学級の年間事業の中に「親学講座」の学習活動を位置づけることにし、事業の見直しを行いました。 平成 28 年度は、各小・中学校 PTA が幅広く家庭教育の効果的な活動の推進を図り、更に児童・生徒の健全育成と家庭教育の充実、実現のため「家庭教育学級」と位置づけ、小学校 3 校が実施いたしました。 家庭教育学級</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>会場</th> <th>内容</th> <th>主催</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/29 (水)</td> <td>・今宿コミュニティセンター</td> <td>・ヨガ教室</td> <td>今宿小学校 PTA 家庭教育学級</td> <td>15 名</td> </tr> </tbody> </table>	日時	会場	内容	主催	参加者	6/29 (水)	・今宿コミュニティセンター	・ヨガ教室	今宿小学校 PTA 家庭教育学級	15 名
家庭教育学級事業経費																				
当初予算額	64 千円																			
補正予算額	0 千円																			
決算額	48 千円																			
日時	会場	内容	主催	参加者																
6/29 (水)	・今宿コミュニティセンター	・ヨガ教室	今宿小学校 PTA 家庭教育学級	15 名																

			・今宿小学校家庭科室	・給食試食会		
	・7/8 (金)	・ガトーフェスタハラ ダ本社工場	・工場見学		亀井小学校 P T A家庭 教育学級	・13名
	・11/22 (火)	・亀井小学校家庭科室	・手編み手芸			・13名
	1/17 (火)	鳩山小学校家庭科室	講演会「困って いる子への対 応について～ 家庭で、学校で ～」		鳩山小学校 P T A家庭 教育学級	23名
	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由					
	(3) 成果及び評価並びに改善点 本年度において、「家庭教育学級」の事業実施状況は小学校3校であった。児童・生徒の健全育成と家庭教育の充実、実現のため事業継続を図ってまいります。					
163	第2回「言っぺんべー・聞いてんべー大会」		(1) 事業の概要 少子高齢化・高度情報化・グローバル化が進む今日、あるテーマに基づき町民等が自分の意見を発表する機会を設けるとともに、さまざまな立場の人々の意見に耳を傾け、それぞれの意見の違いを互いに認め合う寛容な考え方を通して町民等の交流を図る目的に実施いたしました。 日 時：平成28年11月3日(祝) 13:30～15:30 場 所：鳩山幼稚園ホール テーマ：①「仕事について」 ・昔、していた仕事について ・今の仕事について ・将来やってみたい仕事について ②「私の楽しみについて」 ・昔楽しみにしていたことについて ・今楽しみにしていることについて ・これから楽しみにしたいことについて			
	当初予算額	35千円				
	補正予算額	0千円				
	決算額	30千円				
	①所管課⇒生涯学習課 ②総合計画⇒人づくりの分野					
	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由					
	(3) 成果及び評価並びに改善点 発表者：10人(小学生6人 中学生2人 一般2人) 観覧者：約120人 ※昨年度は会場が狭かったため、今年度は町立幼稚園ホールで実施し、観覧に問題はなかった。					
164	図書館図書資料費		(1) 事業の概要 図書資料などを購入し整理・保存して町民等に提供することにより、町民の教育と文化の発展に寄与する。			
	当初予算額	5,000千円				
	補正予算額	0千円				
	決算額	5,000千円				
	①所管課⇒生涯学習課 ②総合計画⇒		(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率99.9%である。			
	(3) 成果及び評価並びに改善点 町民の生涯学習と文化発展のため、図書館における選定図書並びに利用者からのリクエスト図書として、一般書、児童書、絵本などの資料の購入を図ることができ、図書館施設における図書資料の充実が図れた。今後も図書館の利用者や図書館協議会の意見を踏まえ、図書資料の計画的な購入など充実を図っていきたい。					

165	南比企窯跡群国指定史跡化事業経費（調査・保存活用）		<p>(1) 事業の概要 南比企窯跡群の国史跡指定化の意見具申の際の資料となる南比企窯跡群総括報告書の刊行に向け、出土遺物の実測や拓本、トレース、写真撮影などを実施した。また、鳩山の粘土を使った焼き物づくり体験や復元古代窯を活用した焼成実験などの事業を実施した。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 復元古代窯の焼成実験準備を自前で行ったため、準備協力者謝金の12万円の支出が不要となったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 南比企窯跡群総括報告書の刊行に向けた資料作成、原稿作成等を進めることができた。</p>
	当初予算額	785千円	
	補正予算額	△165千円	
	決算額	537千円	
<p>①所管課⇒生涯学習課 ②総合計画⇒人づくりの分野</p>			

項6 生涯スポーツ費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
166	レクリエーション施設利用補助金		<p>(1) 事業の概要 当町には公共のプールがないことから、夏季における町民レクリエーション活動の場として、関係施設と契約を締結し、その利用料の一部補助を行うもの。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 町民の健康の維持管理及び増進が図れた。今後もレクリエーション施設利用の際の補助制度を継続していきたい。</p>
	当初予算額	451千円	
	補正予算額	△26千円	
	決算額	425千円	
<p>①所管課⇒生涯学習課 ②総合計画⇒</p>			
167	鳩山町体育協会補助金		<p>(1) 事業の概要 町内における各種スポーツ団体を統轄し、スポーツの普及発展に努め、町民の健康維持増進と明るい町づくりを目指すもの。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 町民体育祭をはじめ、駅伝大会及び正月マラソン大会等への参加者が増加している。今後も各種事業を通して町民の健康維持増進と交流の機会を提供するため、体育協会関係者等の意見を踏まえ、継続して実施していきたい。</p>
	当初予算額	1,715千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	1,715千円	
<p>①所管課⇒生涯学習課 ②総合計画⇒</p>			
168	鳩山町スポーツ少年団本部補助金		<p>(1) 事業の概要 スポーツを通じて、青少年の健全育成を目的とする。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 少子化が進むなか、スポーツを通じて仲間づくりや、規律などを学ぶことができる。今後も各種事業を通して子どもたちの健康増進と交流の機会を提供するため、スポーツ少年団関係者等の意見を踏まえ、継続して実施していきたい。</p>
	当初予算額	886千円	
	補正予算額	0千円	
	決算額	886千円	
<p>①所管課⇒生涯学習課 ②総合計画⇒</p>			
169	野球バックネットクッションカバー交換工事		<p>(1) 事業の概要 梅沢運動場A面バックネットクッションの老朽化によりクッションとしての機能が損なわれたため交換工事を実施。</p>

新	当初予算額	947 千円	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由
	補正予算額	千円	
	決算額	897 千円	
	①所管課⇒生涯学習課 ②総合計画⇒		(3) 成果及び評価並びに改善点 防護材として正常に機能することで、より安全に競技できる環境が整った。
170 新	梅沢運動場トイレ新築工事		(1) 事業の概要 既存トイレの老朽化による機能の低下・頻繁な故障などによりグラウンド利用者の排泄場所を適正に提供できていなかったため、障がい者対応も含めた、トイレ新築工事を実施。
	当初予算額	14,050 千円	
	補正予算額	千円	
	決算額	12,960 千円	
	①所管課⇒生涯学習課 ②総合計画⇒		(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 入札による。 (3) 成果及び評価並びに改善点 利用者が快適に、また、安全に安心して利用できるトイレが設置できた。
171 新	町民体育館アリーナ照明設備交換工事		(1) 事業の概要 点灯しない照明灯により、競技実施に支障をきたしたため、照明設備の電灯を5基交換する工事を実施。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 (3) 成果及び評価並びに改善点 競技等、快適に利用できる環境となった。
	当初予算額	899 千円	
	補正予算額	千円	
	決算額	899 千円	
	①所管課⇒生涯学習課 ②総合計画⇒		

項7 給食センター費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果
172 新	学校給食センター改築工事監理業務委託料	
	当初予算額	3,790 千円
	補正予算額	3,662 千円
	決算額	2,100 千円
	①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒	
	(1) 事業の概要 学校給食センター改築工事を円滑・適正に遂行するための工事監理業務。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算では、平成28・29年度の2ヵ年継続事業として計上していたが、国の平成28年度補正予算(第2号)が成立したことに伴い、改築工事のⅡ期工事分及び関連する単独事業を前倒して実施するため、町の平成28年度補正予算(第6号)で関連経費の予算化を図るとともに、繰越明許費の設定を行い、平成29年度に繰り越したため。 (3) 成果及び評価並びに改善点 設計意図を施工者に正確に伝えるため、定期的に打合せ会議等を行うとともに、設計図書に照らし検討・確認及び指示等を行うことで、改築工事が円滑に進捗することができた。	
173 新	小・中学校配膳室改修工事設計業務委託料	
	当初予算額	1,620 千円
	補正予算額	△324 千円
	決算額	1,296 千円
	①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒	
	(1) 事業の概要 新学校給食センターの建設に伴って、食缶等を専用のコンテナに積込む配送方式となるため、コンテナ配送に対応するための小・中学校配膳室改修工事設計業務。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率100% (3) 成果及び評価並びに改善点	

		コンテナ配送に対応するため、亀井小・鳩山小・鳩山中学校の既設配膳室改修のための適正な設計額を算出した設計書を策定した。
174	学校給食センター改築工事	
	当初予算額	247,420 千円
	補正予算額	237,738 千円
	決算額	140,200 千円
	①所管課⇒教育総務課 ②総合計画⇒	
	<p>(1) 事業の概要 新学校給食センターの建設（建築、電気設備、給排水衛生設備、空調設備、排水処理施設設備、外構工事 一式）工事。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算では、平成 28・29 年度の 2 ヶ年継続事業として計上していたが、国の平成 28 年度補正予算（第 2 号）が成立したことに伴い、改築工事のⅡ期工事分及び関連する単独事業を前倒して実施するため、町の平成 28 年度補正予算（第 6 号）で関連経費の予算化を図るとともに、繰越明許費の設定を行い、平成 29 年度に繰り越したため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 学校給食センター改築工事の第Ⅰ期工事分（工事割合 30%）が滞りなく完了した。</p>	

資料 1 - (2) 新規事業・主要事業の実施概要（特別会計・企業会計）

①国民健康保険特別会計

■款 8 保健事業費

項 1 特定健康診査等事業費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
1	特定健康診査等業務委託料	<p>(1) 事業の概要 国民健康保険被保険者のうち 40 歳から 74 歳を対象とし、保健センターが指定した受診日に受ける「集団健診」と被保険者が指定の医療機関にて受ける「個別健診」の受診費用の補助を行っている。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算は受診者 1,719 人と見込んだが、実績は 1,346 人であった。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 受診率は、前年度同時期より 4.9 ポイント上昇した。今後も、特定健診の受診率向上を図り、生活習慣病等の重症化予防及び医療費の抑制に努めていく。</p>	
	当初予算額		10,814 千円
	補正予算額		△2,662 千円
	決算額		7,752 千円
	①所管課⇒町民課 ②総合計画⇒暮らしの分野		
2	国保保健指導事業委託料	<p>(1) 事業の概要 国民健康保険被保険者のうち 40 歳から 74 歳を対象とし、生活習慣病予防と生活習慣の改善、未受診者の受診勧奨と 1 次予防対策を目的として保健指導等を 10/10 の補助事業として実施。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率は、99.9%である。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 当初予算では、未受診者受診勧奨の対象 2,000 人に対し、実績 2,915 人となった。受診率は前年度同時期より 4.9 ポイント上昇した。 また、1 次予防事業では、法定の特定保健指導に該当になる前の段階の被保険者に、早期の生活習慣改善のための保健指導を実施することができた。また、1 次予防事業も予算 59 人に対し、実績 48 人となった。</p>	
	当初予算額		2,648 千円
	補正予算額		0 千円
	決算額		2,647 千円
	①所管課⇒町民課 ②総合計画⇒暮らしの分野		
3	生活習慣病重症化予防事業負担金	<p>(1) 事業の概要 糖尿病患者の重症化を予防し、国保被保険者の健康維持、医療費の適正化を図る。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 埼玉県国保連合会の共同事業で、H28 年度は県内保険者 40 市町が参加し実施したため、被保険者の総数等により当初見込みより負担割合が減少した。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 鳩山町国保被保険者 2 人に生活習慣病重症化予防に係る保健指導を実施した。</p>	
	当初予算額		6,520 千円
	補正予算額		△4,547 千円
	決算額		1,664 千円
	①所管課⇒町民課 ②総合計画⇒暮らしの分野		
4	共同研究事業負担金	<p>(1) 事業の概要 国立大学法人金沢大学との保健事業の共同で、国民健康保険データベース（KDB）を活用して、本町に適する効率的な保健指導を行うための調査・研究を行い、地域の健康状態の向上を図る。</p>	
	当初予算額		0 千円
	補正予算額		1,993 千円

	決算額	1,993千円	
	①所管課⇒町民課 ②総合計画⇒暮らしの分野		<p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算の積算段階では、事業の具体化が見えず予算計上できなかったため補正予算での措置となった。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 KDB データの分析により、本町の健康課題が見えて、課題に対する処方箋を作成でき、データヘルス計画の策定に大きく貢献した。</p>

②土地区画整理事業特別会計

■款1 事業費

項1 今宿東事業費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果
1	建物調査積算業務委託料 当初予算額 4,457千円 補正予算額 △1,897千円 決算額 2,560千円 ①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野	<p>(1) 事業の概要 過去に実施した移転建物等の調査積算業務の成果を基に、各種法制等を勘案して、再調査及び再積算を行う業務である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 移転建物等において各種法制等を勘案した調査内容の一部再調査及び補償額の再積算を行う必要があることから本業務を実施。これにより移転補償契約を締結することができた。</p>
2	出来形確認測量業務委託料 当初予算額 40,450千円 補正予算額 5,270千円 決算額 46,038千円 ①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野	<p>(1) 事業の概要 区画整理事業地内の基準点の測量・設置、街区点や画地点及び公共施設用地の出来形確認測量の実施、境界復元を行う業務である。 【基準点測量】 2級基準点設置 6点、4級基準点測量 96点 【出来形確認測量】 2051点 ・街区点・画地点の計算・測量 ・街区・画地・公共施設用地の面積確認計算、測量図データファイル作成 【境界復元】 ・復元測量 265点 ・石杭設置 49点 ・金属標設置 216点 ・成果等の整理 2,051点</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 街区点及び画地点の精査に伴う数量の増加及び現地における境界復元点数の数量増により全体事業費が増加したため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 換地計画作成のために街区及び画地点、公共施設用地について測量を行い形状、面積の確認を行った。事業完了に向けて事業の進捗が図られた。</p>
3	道路築造工事 当初予算額 3,987千円 補正予算額 △3,987千円 決算額 0千円 ①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野	<p>(1) 事業の概要 区 6-12 号線 W=6.0m L=36.1m 土工、車道路盤工 A=175.9 m² 車道舗装工 (t=4cm) 175.49 m² 排水構造物工 (長尺 U 字溝 300×300) L=59.4m、区画線工、撤去工付帯工</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 法人分 1 件の建物等移転補償事業の事業繰越に伴う影響工事として、事業費の減額を行なったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点</p>

4	建物等移転補償		(1) 事業の概要 個人2件 法人1件 建物移転、工作物移転、動産移転、移転雑費 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予定していた個人分の移転補償事業3件のうち1件について、法人分移転補償事業の翌年度繰越に伴い事業費の減額を行ったため。 (3) 成果及び評価並びに改善点 今年度の建物移転により、翌年度の道路工事予定地先が確保することができ、事業の進捗が図られた。 なお、法人分1件については、繰越事業となっている。
	当初予算額	112,584千円	
	補正予算額	△8,139千円	
	決算額	80,856千円	
	①所管課⇒まちづくり推進課 ②総合計画⇒社会資本の分野		

③介護保険特別会計

■款1 総務費

項3 介護認定審査会費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果
1	毛呂山町・越生町・鳩山町介護認定審査会負担金	
	当初予算額	5,707千円
	補正予算額	△418千円
	決算額	5,168千円
	①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野	
		(1) 事業の概要 要介護状態区分の判定を行うため3町で共同設置している介護認定審査会への負担金。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 審査判定件数が当初見込みより少なかったことなどによる。 (3) 成果及び評価並びに改善点 1,309,069円（平等割：100分の20） 3,858,737円（審査判定件数割：100分の80） 判定件数634件（昨年度648件） 昨年度負担金5,979千円 * 改善点 毛呂山町・越生町・鳩山町の3町共同で認定審査会を設置している。格差是正に向け年2回の認定審査会総会の席上において、事例を基に研修を行うとともに、合議体間の格差については、3か月に一度各合議体間の審査委員の入替えを行い、格差是正を図っている。今後も同様に認定審査会総会において事例を基に研修を行っていく。

■款2 保険給付費

項1 介護サービス等諸費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果
2	居宅介護サービス給付費	
	当初予算額	391,208千円
	補正予算額	△43,365千円
	決算額	333,877千円
	①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野	
		(1) 事業の概要 居宅介護サービスには、居宅を訪問してもらう訪問系サービスや施設に通って受ける通所系サービスなどがある。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初見込額より給付実績が少なかったことによる。 (3) 成果及び評価並びに改善点 受給者数291人/月（昨年度285人） 総件数7,558件（昨年度7,852件） 昨年度給付費353,405千円

		<p>* 改善点 平成 27 年度以降の 3 年間で新たな介護給付適正化取組強化期間として位置づけ、介護給付適正化に取り組むこととする。</p>	
3	地域密着型介護サービス給付費	<p>(1) 事業の概要 住み慣れた地域での生活を続けるために、地域の特性に応じたサービスが受けられる。町内には、認知症対応型通所介護（共用型）、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護がある。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 平成 28 年度からあらたに定員 18 人以下の通所介護が地域密着型介護サービスに加わったことによる。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 受給者数 107 人／月（昨年度 49 人） 総件数 1,339 件（昨年度 599 件） 昨年度給付費 135,168 千円</p> <p>* 改善点 平成 27 年度以降の 3 年間で新たな介護給付適正化取組強化期間として位置づけ、介護給付適正化に取り組むこととする。</p>	
	当初予算額		156,563 千円
	補正予算額		46,593 千円
	決算額		195,994 千円
	<p>①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>		
4	施設介護サービス給付費	<p>(1) 事業の概要 施設介護サービスには、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設があり、介護が中心か治療が中心かなどにより入所する施設を選択する。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初見込額より給付実績が少なかったことによる。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 ・特養 総件数 800 件 191,272,840 円 ・老健 総件数 291 件 73,255,269 円 ・療養 総件数 44 件 15,402,421 円 3 施設 総件数 1,135 件（昨年度 1,136 件） 昨年度給付費 276,369 千円</p> <p>* 改善点 平成 27 年度以降の 3 年間で新たな介護給付適正化取組強化期間として位置づけ、介護給付適正化に取り組むこととする。</p>	
	当初予算額		316,694 千円
	補正予算額		△38,701 千円
	決算額		279,931 千円
	<p>①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>		

■款 3 地域支援事業費

項 1 介護予防・生活支援サービス事業費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
5	介護予防・生活支援サービス給付費	<p>(1) 事業の概要 平成 28 年 3 月より、町が中心となって、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することにより、地域の支え合いの体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目的とする介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」という。）が始まり、従来の介護予防訪問介護及び介護予防通所介護が総合事業に移行された。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 平成 28 年度から新たに開始されたため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 訪問介護相当サービス 2,532,538 円 通所介護相当サービス 13,468,089 円</p>	
	当初予算額		18,226 千円
	補正予算額		△1,652 千円
	決算額		16,001 千円
	<p>①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>		

		<p>* 改善点 平成 30 年度以降、給付費用の適正化に取り組むこととする。</p>
--	--	--

項 2 包括的支援事業・任意事業費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
6	認知症初期集中支援チーム設置事業	<p>(1) 事業の概要 認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症の人への効果的な支援体制の構築のため、認知症専門医、看護師、認知症地域支援推進員で構成する認知症初期集中支援チームを設置し、本人及び介護者の精神的負担等の軽減を図る。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 相談件数が当初見込みより少なくなったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 相談延人数 44 人</p> <p>* 改善点 引き続き対象者を的確に把握しながら、啓発活動等を推進する。</p>	
	当初予算額		305 千円
	補正予算額		△30 千円
	決算額		275 千円
	<p>①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>		
7	生活支援コーディネーター配置事業	<p>(1) 事業の概要 日常生活の支援及び要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止に係る体制の整備を担う鳩山町生活支援コーディネーターを配置した。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 実活動日数が当初見込みより少なかったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 (社福)鳩山町社会福祉協議会より生活支援コーディネーターを選任。</p> <p>* 改善点 引き続きニーズを的確に把握し、生活支援体制構築に努める。</p>	
	当初予算額		520 千円
	補正予算額		0 千円
	決算額		447 千円
	<p>①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>		

■款 4 基金積立金

項 1 基金積立金

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
8	介護給付費準備基金積立金	<p>(1) 事業の概要 国から交付された介護円滑導入臨時特例交付金や第 1 号被保険者が納付した保険料を積み立てたものです。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 前年度の介護給付費が確定した段階で保険料分の清算を行ったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 平成 27 年度第 1 号被保険者保険料清算分 38,872,941 円 平成 27 年度介護給付費等への繰入分返金 15,686,000 円 基金利子分 361,784 円</p> <p>* 改善点 保険料改定時に第 1 号被保険者の保険料負担の軽減に努める。</p>	
	当初予算額		463 千円
	補正予算額		54,458 千円
	決算額		54,921 千円
	<p>①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野</p>		

④後期高齢者医療特別会計

■款 2 後期高齢者広域連合納付金

項 1 後期高齢者広域連合納付金

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
1	後期高齢者広域連合納付金	<p>(1) 事業の概要 町で徴収した後期高齢者医療保険料及び保険料軽減分を法定負担する保険基盤安定制度による負担金を、保険者である埼玉県後期高齢者医療広域連合に納付するもの。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 執行率 100%である。 広域連合が当初に見込んだ保険料額及び軽減額と平成 28 年度保険料算定実績に生じた差額を 補正及び予備費の充用により解消した。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 75 歳以上を対象とした後期高齢者医療制度の運営のため、高齢者が将来にわたって安心して医療が受けられるように、広域連合と連携・協力して事業の運営を行っている。</p>	
	当初予算額		183,771 千円
	補正予算額		8,681 千円
	決算額		192,603 千円
	①所管課⇒高齢者支援課 ②総合計画⇒暮らしの分野		

⑤農業集落排水事業特別会計

■款 1 施設費

項 1 施設管理費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果																		
1	排水施設修繕料	<p>(1) 事業の概要 処理施設、中継ポンプ施設の機器の修繕、オーバーホール等の実施により施設の適正な稼働を図る。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 処理場機器が故障し、緊急の修繕が必要になったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 主な修繕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリーン施設 No.3 ばっ気ブロワインバータ交換修繕</td> <td>259,200</td> </tr> <tr> <td>クリーン施設 DO 計センター交換修繕</td> <td>92,880</td> </tr> <tr> <td>クリーン施設制御盤シーケンサ点検・調査</td> <td>82,080</td> </tr> <tr> <td>クリーン施設制御盤シーケンサ交換修繕</td> <td>999,000</td> </tr> <tr> <td>クリーン施設No.1 汚泥引抜きポンプインバータ交換修繕</td> <td>151,200</td> </tr> <tr> <td>クリーン施設インテリジェントプリンター交換修繕</td> <td>2,484,000</td> </tr> <tr> <td>クリーン施設No.1 汚泥引抜きポンプ交換修繕</td> <td>496,800</td> </tr> <tr> <td>P7 ポンプ水位計交換修繕</td> <td>97,200</td> </tr> </tbody> </table> <p>修繕により復旧し施設の適正な稼働が図られた。</p>	工事名	金額 (円)	クリーン施設 No.3 ばっ気ブロワインバータ交換修繕	259,200	クリーン施設 DO 計センター交換修繕	92,880	クリーン施設制御盤シーケンサ点検・調査	82,080	クリーン施設制御盤シーケンサ交換修繕	999,000	クリーン施設No.1 汚泥引抜きポンプインバータ交換修繕	151,200	クリーン施設インテリジェントプリンター交換修繕	2,484,000	クリーン施設No.1 汚泥引抜きポンプ交換修繕	496,800	P7 ポンプ水位計交換修繕	97,200
	工事名		金額 (円)																	
	クリーン施設 No.3 ばっ気ブロワインバータ交換修繕		259,200																	
	クリーン施設 DO 計センター交換修繕		92,880																	
クリーン施設制御盤シーケンサ点検・調査	82,080																			
クリーン施設制御盤シーケンサ交換修繕	999,000																			
クリーン施設No.1 汚泥引抜きポンプインバータ交換修繕	151,200																			
クリーン施設インテリジェントプリンター交換修繕	2,484,000																			
クリーン施設No.1 汚泥引抜きポンプ交換修繕	496,800																			
P7 ポンプ水位計交換修繕	97,200																			
当初予算額	700 千円																			
補正予算額	4,015 千円																			
決算額	4,662 千円																			
	①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒環境の分野																			

■款 2 事業費

項 1 農業集落排水事業費

2	管路施設等工事		<p>(1) 事業の概要 新規加入世帯の本管から宅内最終樹までの接続工事、その後の舗装復旧工事等。本年はマンホール周りの湧水対策工事を実施。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 新規接続工事がなかったため。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 主な工事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町道第 66 号線 湧水対策工事</td> <td>198,720</td> </tr> <tr> <td>町道第 66 号線 舗装復旧工事</td> <td>691,200</td> </tr> <tr> <td>舗装本復旧工事 (28-1 工区)</td> <td>82,063</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事により施設の適正な稼働が図られた。</p>	工事名	金額 (円)	町道第 66 号線 湧水対策工事	198,720	町道第 66 号線 舗装復旧工事	691,200	舗装本復旧工事 (28-1 工区)	82,063
	工事名	金額 (円)									
	町道第 66 号線 湧水対策工事	198,720									
	町道第 66 号線 舗装復旧工事	691,200									
舗装本復旧工事 (28-1 工区)	82,063										
当初予算額	1,194 千円										
補正予算額	△203 千円										
決算額	971 千円										
<p>①所管課⇒産業振興課 ②総合計画⇒環境の分野</p>											

⑥浄化槽設置管理事業特別会計

■款 2 施設管理費

項 1 浄化槽管理費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果
1	浄化槽管理事業	
	当初予算額	9,360 千円
	補正予算額	0 千円
	決算額	8,560 千円
<p>①所管課⇒生活環境課 ②総合計画⇒環境の分野</p>		<p>(1) 事業の概要 町が設置した浄化槽の保守点検業務や清掃業務の委託経費、浄化槽使用料徴収業務契約に基づく水道課への委託経費である。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 保守点検業務実施基数：延べ 733 基、清掃業務実施基数：述べ 140 基</p>

■款 3 施設整備費

項 1 施設整備費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果
2	浄化槽設置事業	
	当初予算額	26,655 千円
	補正予算額	△11,760 千円
	決算額	14,310 千円
<p>①所管課⇒生活環境課 ②総合計画⇒環境の分野</p>		<p>(1) 事業の概要 公共用水域の水質向上並びに水環境の保全を図るため、施主（個人）の申請に基づき、住宅に町型浄化槽を設置するものである。</p> <p>(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 5 人槽：10 基、7 人槽：13 基、10 人槽：2 基の計 25 基の設置を予定していたが、15 基の設置に留まった。各家庭における生活設計や経済情勢等にも密接に関係しているため、目標設置基数を達成することができなかったと考えている。</p> <p>(3) 成果及び評価並びに改善点 5 人槽：13 基、7 人槽：2 基、10 人槽：0 基、合計 15 基設置</p>
3	浄化槽転換促進事業	<p>(1) 事業の概要 県の全額補助事業であり、単独浄化槽又は汲み取り便槽から町型浄化槽に転換する場合、配管費 20 万円、撤去費 10 万円を上限として補助されるものである。</p>

	当初予算額	4,000 千円	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初 10 基を見込んでいたが、5 基に留まった。
	補正予算額	△2,500 千円	
	決算額	1,500 千円	
	①所管課⇒生活環境課 ②総合計画⇒環境の分野		(3) 成果及び評価並びに改善点 設置基数 15 基のうち 5 基（単独：3 基、汲み取り：2 基）が転換であり、補助金の効果は限定的となっている。引き続き、補助制度を周知するとともに、公共用水域の保全等に向け、転換整備を推進していく必要がある。

⑦鳩山町水道事業特別会計

■款 1 水道事業費用

項 1 営業費用

No. 分類	事業			事業の概要及び成果
1	原水及び浄水費 水質検査手数料			(1) 事業の概要 浄水場の水及び町内に配水した水の水質(放射性物質含む)検査業務。
	当初予算額	3,485 千円		(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額 3,485,000 円 決算額 3,352,920 円 執行率 96.2%
	補正予算額	0 千円		
	決算額	3,353 千円		
①所管課⇒水道課 ②総合計画⇒		(3) 成果及び評価並びに改善点 検査を行ったすべての検査項目について「異常なし」または「検査基準値以下」であった。		
2	原水及び浄水費 県水受水費			(1) 事業の概要 埼玉県企業局より町内に配水する浄水の購入。
	当初予算額	93,385 千円		(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額 93,385,000 円 決算額 93,215,663 円 執行率 99.8%
	補正予算額	0 千円		
	決算額	93,216 千円		
①所管課⇒水道課 ②総合計画⇒		(3) 成果及び評価並びに改善点 給水人口の減少、節水機器の普及等により水道の使用量が減少している状況に鑑み、受水量及び配水量を調整した。		
3	配水給水費 修繕費			(1) 事業の概要 町内全域に埋設してある配水管からの漏水修理、法定使用期間を過ぎた水道メーターの交換作業、配水施設の修繕等。
	当初予算額	8,441 千円		(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 配水管漏水の修理工事が当初見込んでいたより減少した。 配水場外修理については、修繕箇所がなかった。
	補正予算額	0 千円		
	決算額	5,785 千円		
①所管課⇒水道課 ②総合計画⇒		(3) 成果及び評価並びに改善点 漏水修理工事：55 件（4,198 千円）、交換メーター購入：712 個（1,587 千円）		
4	減価償却費 固定資産減価償却費			(1) 事業の概要 建設、工事等で生じた固定資産類の毎年度ごとの減価償却
	当初予算額	93,224 千円		(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算 93,224,000 円 決算額 92,520,523 円 執行率 99.2%
	補正予算額	0 千円		
	決算額	92,521 千円		
		(3) 成果及び評価並びに改善点		

①所管課⇒水道課 ②総合計画⇒	内訳 建物 : 934,751 円 構築物 : 86,768,559 円 機械及び装置 : 4,817,213 円
--------------------	---

項 2 営業外費用

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
5	支払利息及び 企業債取扱諸費	(1) 事業の概要 財務省財政融資資金及び地方公共団体金融機構より借り受けた借入金 の利子償還金。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額 2,084,000 円 決算額 2,083,092 円 執行率 100.0% (3) 成果及び評価並びに改善点 借入時点で決定した償還計画に基づく利息額。	
	当初予算額		2,084 千円
	補正予算額		0 千円
	決算額		2,084 千円
	①所管課⇒水道課 ②総合計画⇒		

■款 1

項 1 建設改良費

No. 分類	事業	事業の概要及び成果	
6	事務費 鳩山町配水管管理システムデータ作成業務	(1) 事業の概要 平成 23 年度に導入した鳩山町配水管網図システムのデータ更新。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 予算現額 5,076,000 円 決算額 4,568,400 円 執行率 90.0% (3) 成果及び評価並びに改善点 更新内容 配水管データ入力 (1/2500)0.11km、竣工図スキャン [※] 及び位置リンク (A1)11 枚、基図データ簡易修正一式、配水管調書作成 0.11km、給水 台帳資料整理及び給水基図作成 3,860 件 等	
	当初予算額		5,076 千円
	補正予算額		0 千円
	決算額		4,569 千円
	①所管課⇒水道課 ②総合計画⇒		
7	配水施設費 町道第 1229 号線外配水管布設替 工事	(1) 事業の概要 小用地内。供給水量不足の改善等を行うための工事。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算 14,140,000 円 補正 2,216,000 円 予算現額 16,356,000 円 決算額 16,355,520 円 執行率 100.0% (3) 成果及び評価並びに改善点 更新内容 配水用ポリエチレン管φ75mm 428.0m 硬質塩化ビニール管φ100mm 5.0m 制水弁φ75mm 7 基 φ50mm 1 基 消火栓 1 箇所 給水工事 12 箇所 舗装仮復旧工 271.6 m ² 舗装本復旧工 660.6 m ² その他工 事一式	
	当初予算額		14,140 千円
	補正予算額		2,216 千円
	決算額		16,356 千円
	①所管課⇒水道課 ②総合計画⇒		
8	配水施設費 県道東松山越生線配水管布設替 工事	(1) 事業の概要 熊井地内。埼玉県東松山県土整備事務所の工事にあわせ施工。 (2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算 3,700,000 円 補正 1,666,000 円 予算現額 5,366,000 円 決算額 5,054,400 円 執行率 94.2%	
	当初予算額		3,700 千円
	補正予算額		1,666 千円
	決算額		5,055 千円
	①所管課⇒水道課 ②総合計画⇒		

	①所 管 課⇒水道課 ②総合計画⇒	(3) 成果及び評価並びに改善点 配水用ポリエチレン管 φ100 mm 195.0m φ50 mm 5.0m 制水弁（排泥弁）φ100 mm 1基 給水工事 2箇所 その他工事一式
9	配水施設費 池田浄水場取水ポンプ交換工事	(1) 事業の概要 石坂地内（鳩山町第1号取水井）。池田浄水場取水井No.2 取水ポンプ故障に伴うポンプ交換を行うための工事。
	当初予算額 2,916 千円	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 当初予算 2,916,000 円 決算額 2,700,000 円 執行率 92.6%
	補正予算額 0 千円	
	決 算 額 2,700 千円	(3) 成果及び評価並びに改善点 取水ポンプ交換工 ステンレス製水中渦巻ポンプ 周波数 50Hz 出力 11KW 線出管交換、台板付き曲管交換、仕切弁交換、試運転工、その他工事一式
	①所 管 課⇒水道課 ②総合計画⇒	

項 2 企業債償還金

No. 分類	事業	事業の概要及び成果
10	企業債償還金	(1) 事業の概要 財務省財政融資資金及び地方公共団体金融機構より借り受けた借入金 の償還金。
	当初予算額 7,156 千円	(2) 当初予算と決算額が大きく異なる場合は、その理由 ・ 予算現額 7,156,000 円 ・ 決算額 7,155,142 円 執行率 100.0%
	補正予算額 0 千円	
	決 算 額 7,156 千円	(3) 成果及び評価並びに改善点 借入時点で決定した償還計画に基づく償還額。
	①所 管 課⇒水道課 ②総合計画⇒	

資料 2 - (1)

補助金負担金の交付団体、責任者、使用目的等一覧



資料 2 - (1) 補助金負担金の交付団体、責任者、使用目的等一覧

この資料について

- ① この資料は、各課から提出された定例監査資料を基に作成しました。
- ② 記載した負担金及び補助金は、町内団体等へ支出しているものを基本としています。
- ③ ただし、支出先が特定の団体となるものについては記載を行っています。

総務課

No.	交付団体等の名称	責任者等	交付額	使用目的
1	大字小用	区長	540,000 円	自治協力団体交付金 大字・自治会の運営、公益的活動への交付金
2	大字大豆戸	区長	388,500 円	
3	大字赤沼	区長	486,000 円	
4	大字今宿	区長	297,000 円	
5	石坂一地区	区長	126,000 円	
6	石坂二自治会	自治会長	78,000 円	
7	鳩山団地自治会	自治会長	189,000 円	
8	鳩山ニュータウン自治会	自治会長	954,000 円	
9	鳩山ニュータウン新自治会	自治会長	405,000 円	
10	大字大橋	区長	174,000 円	
11	大字奥田	区長	46,500 円	
12	大字須江	区長	91,500 円	
13	大字竹本	区長	102,000 円	
14	大字泉井	区長	172,500 円	
15	高野倉自治会	自治会長	27,000 円	
16	上熊井地区	区長	66,000 円	
17	下熊井地区	区長	127,500 円	
18	鳩山町コミュニティ推進協議会	協議会会長	300,000 円	協議会の活動費補助金
19	大字大豆戸	区長	323,406 円	鳩山町コミュニティ施設特別整備事業補助金
20	鳩山町納涼夏まつり実行委員会	実行委員会委員長	3,500,000 円	鳩山町納涼夏まつり実施補助金
21	明るい選挙推進協議会	協議会会長	50,000 円	明るい選挙推進活動費

政策財政課

No.	交付団体等の名称	責任者等	交付額	使用目的
1	鳩山町地域公共交通会議負担金 (デマンドタクシー運行経費分)	会議会長	20,029,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・鳩山町地域公共交通会議の運営 ・デマンドタクシー運行事業者への運行費補助 ※「国土交通省／地域公共交通確保維持改善事業補助金」及び「運賃収入」で不足する分

2	鳩山町地域公共交通会議負担金 (町営路線バス試験運行経費分)	会議会長	19,613,000 円	・町営路線バス試験運行費
3	鳩山町地域公共交通会議負担金 (地方創生事業分)	会議会長	1,630,000 円	・町営路線バス試験運行の準備に係る経費 (チラシ印刷、バス停整備費等)
4	埼玉県町村情報システム共同化推進協議会	協議会会長	1,370,206 円	・県内 18 町村。 ・協議会は、情報システムに必要な共同化事業を実施し、各町村の行政サービスの一層の向上と効率的な行財政運営に寄与することを目的とする。
5	地方公共団体情報システム機構		2,110,000 円	・都道府県及び市町村 1,788 団体 ・一部事務組合及び広域連合 約 100 団体 ・社会保障、税番号制度に係る中間サーバープラットフォーム整備に係る費用。 ※国庫補助金あり 10/10
6	宇宙・産学官・地域連携コンソーシアム	コンソーシアム会長	30,000 円	・コンソーシアムの運営 ・コンソーシアム主催事業の実施

町民課

No.	交付団体等の名称	責任者等	交付額	使用目的
1	鳩山町地域公共交通会議負担金 (町内循環バス運行経費分)	会議会長	10,350,000 円	・町内循環バス運行事業者への運行費補助 ※「国土交通省/地域公共交通確保維持改善事業補助金」及び「運賃収入」で不足する分

健康福祉課

No.	交付団体等の名称	責任者等	交付額	使用目的
1	鳩山町民生委員・児童委員協議会	協議会会長	3,595,000 円	民生委員・児童委員活動費の助成
2	オリーブの会(鳩山町障がい者団体連絡協議会)	協議会会長	10,000 円	提案型障がい者ふれあいのまちづくり事業費の助成
3	鳩山町青少年相談員協議会	協議会会長	120,000 円	青少年相談員活動費の助成
4	はとやま子育てネットワークくるっくー	代表	300,000 円	子育てフェスティバル事業費の助成
5	ひばり保育園、ひばりゆりかご保育園等	園長	27,334,505 円	民間保育所の育成費等の助成

健康福祉課 (保健センター)

No.	交付団体等の名称	責任者等	交付額	使用目的
1	保健推進協力委員会補助金	委員会会長	82,000 円	保健推進協力委員活動費の助成

高齢者支援課

No.	交付団体等の名称	責任者等	交付額	使用目的
1	町社会福祉協議会補助金	協議会会長	31,758,233円	人件費及び事業費の助成
2	単位老人クラブ補助金	各クラブ会長	957,200円	活動費の助成
3	町老人クラブ連合会補助金	連合会会長	150,000円	活動費の助成
4	シルバー人材センター補助金	センター理事長	5,000,000円	人件費及び事業費の助成

生活環境課

No.	交付団体等の名称	責任者等	交付額	使用目的
1	西入間交通安全協会鳩山支部補助金	鳩山支部長	140,000円	活動費の助成
2	鳩山町交通安全母の会補助金	各支部会長	38,000円	活動費の助成

産業振興課

No.	交付団体等の名称	責任者等	交付額	使用目的
1	農業育成協議会補助金	協議会会長	390,000円	農作物の病虫害防除に対する助成等
2	農業振興事業補助金	直売所生産部会長	133,000円	農産物直売部会育成補助
3	転作作物奨励事業補助金	振興会代表	716,344円	ブロックローテーションの推進・安定・定着化に対する補助
4	減農薬栽培等奨励事業補助金	振興会代表	1,476,040円	減農薬栽培等奨励事業に対する補助
5	経営所得安定対策推進事業費補助金	協議会会長	700,000円	制度の推進活動等に対する助成等
6	有害鳥獣捕獲事業補助金	鳩山支部長	130,000円	農作物等の被害防止のため年1回実施
7	畜産振興奨励事業補助金	協会会長	90,000円	畜産奨励事業に対する助成等
8	畜産防疫奨励事業補助金	協会会長	37,750円	畜産防疫事業に対する助成等
9	認定農業者等連絡協議会	会長	54,000円	経営感覚の優れた効率的かつ安定的な農業経営実現のための補助
10	高野倉ふれあい自然公園管理補助金	自治会長	250,000円	高野倉ふれあい自然公園管理補助
11	商工会補助金	商工会長	3,700,000円	鳩山町商工会活動費補助
12	商工会つつじ祭り補助金	商工会長	800,000円	鳩山町商工会つつじ祭り補助
13	はとやま祭実行委員会補助金	会長	2,800,000円	はとやま祭開催補助
14	法人化推進事業費	各農事組合法人	1,200,000円	各営農組合法人化を推進支援補助

生涯学習課

No.	交付団体等の名称	責任者等	交付額	使用目的
1	鳩山町PTA連絡協議会補助金	協議会会長	26,000円	鳩P連活動運営費
2	子ども大学はとやま実行委員会	委員会委員長	70,000円	子ども大学はとやま運営費
3	亀井婦人会補助金	会長	39,000円	亀井婦人会活動運営費
4	こども110番の家運営委員会補助金	委員会委員長	41,000円	こども110番の家運営費
5	鳩山町人権教育推進協議会補助金	協議会会長	70,000円	人推協活動運営費

生涯学習課（生涯スポーツ）

No.	交付団体等の名称	責任者等	交付額	使用目的
1	鳩山町体育協会補助金	協会長	1,715,000 円	運営費補助金
2	鳩山町スポーツ少年団本部補助金	本部長	886,000 円	運営費補助金

資料 2 - (2)

借地の所在地、面積、契約金額等一覧



資料 2 - (2) 借地の所在地、面積、契約金額等一覧

この資料について

- ①この資料は、各課に調査を行い作成しました。
 ②町は、110 円/㎡を標準的な借地単価としています。
 ③しかし、次のような場合は、特例的な単価等を設定しています。

※1 区画単価	既設の駐車場を借りる場合。
※2 特例的な単価	長期の借用や、借地面積の広さなどにより、個別に単価を定める場合。
※3 無償使用貸借	土地所有者と町で、土地借地料を無償とする契約を締結する場合。
※4 市場的な単価	宅地など評価額の高い土地を借用する場合。

1 タウンセンター駐車場【総務課・東出張所】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町松ヶ丘一丁目	1486 番地 215	宅地	57 台分	○864 円 (一般用 55 台/月) ○1728 円 (身障 用 2 台/月)	611,712 円	※1 区画単価

●決算書 P50 「駐車場使用料 611,712 円」と一致

2 石坂の森保全用地【北部地域活性化推進室】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字石坂字切通	819 番地 2	山林	4,928 ㎡	—	3,000 円	※2 特例的な単価
2	鳩山町大字石坂字切通	819 番地 3	山林	4,928 ㎡	—	3,000 円	

●決算書 P56 「石坂の森保全用地借上料 6,000 円」と一致

3 役場駐車場用地【政策財政課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字大豆戸字鳩山	184 番地 15	雑種地	306 ㎡	110 円/㎡/年	33,660 円	
2	鳩山町大字大豆戸字鳩山	184 番地 119	雑種地	173 ㎡		19,030 円	
3	鳩山町大字赤沼字鳩山	1905 番地	畑	730 ㎡		80,300 円	
4	鳩山町大字大豆戸字鳩山	184 番地 14	山林	710 ㎡		78,100 円	
5	鳩山町大字大豆戸字鳩山	184 番地 93	雑種地	564 ㎡		62,040 円	
6	鳩山町大字赤沼字鳩山	1949 番地 1	山林	659 ㎡		72,490 円	
7	鳩山町大字赤沼字鳩山	1950 番地 1	山林	1,790 ㎡		196,900 円	
8	鳩山町大字赤沼字鳩山	1950 番地 2	山林	56 ㎡		6,160 円	
9	鳩山町大字大豆戸字鳩山	184 番地 29	畑	1,025 ㎡		112,750 円	

●決算書 P60 「役場駐車場用地借上料 661,430 円」と一致

4 防犯灯用地【政策財政課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字大豆戸字鳩山	184 番地 58 (持分 1/2)	畑	1.00 ㎡	1,000 円/基/年	500 円	特例的な単価
2	鳩山町大字大豆戸字鳩山	184 番地 58 (持分 1/2)	畑	1.00 ㎡	1,000 円/基/年	500 円	

●決算書 P60 「防犯灯用地借上料 1,000 円」と一致

5 大豆戸車庫用地【政策財政課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字大豆戸字赤沼境	164 番地 1	畑	330 m ²	110 円/m ² /年	36,300 円	

●決算書 P62 「大豆戸車庫用地借上料 36,300 円」と一致

6 大橋バスターミナル用地【政策財政課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字大橋字御所谷	230 番地 4	畑	55 m ²	110 円/m ² /年	6,050 円	

●決算書 P62 「大橋バスターミナル用地借上料 6,050 円」と一致

7 保健センター駐車場用地【健康福祉課・保健センター】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字赤沼	1954 番地 1	畑	947 m ²	110 円/m ² /年	104,170 円	

●決算書 P96 「駐車場用地借上料 104,170 円」と一致

8 石坂ゲートボール場用地【高齢者支援課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字赤沼字花見堂	704 番地	畑	1,735 m ²	110 円/m ² /年	190,850 円	

●決算書 P84 「石坂ゲートボール場用地借上料 190,850 円」と一致

9 防犯灯用配電盤用地【生活環境課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町楓ヶ丘二丁目	664 番 1204 号	山林	1.62 m ²	1,500 円/年	1,500 円	特例的な単価

●決算書 P52 「防犯灯用配電盤用地借上料 1,500 円」と一致

10 信号待機場用地【生活環境課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字大豆戸字赤沼境	163 番 1 号	畑	12.43 m ²	110 円/m ² /年	1,360 円	

●決算書 P52 「信号待機場用地借上料 1,360 円」と一致

11 鳩山町特産品販売施設駐車場用地【産業振興課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字熊井字テンヤオネ	74 番 1	畑	1,157.00 m ²	110 円/m ² /年	127,270 円	

●決算書 P110 「特産品販売施設駐車場用地借上料 127,270 円」と一致

12 ふれあいの森用地【産業振興課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字赤沼字境田	1383 番	山林	972.00 m ²	5 円/m ² /年	4,860 円	特例的な単価
2	鳩山町大字赤沼字境田	1366 番 1	山林	2,084.00 m ²		10,420 円	
3	鳩山町大字赤沼字境田	1389 番	山林	140.00 m ²		700 円	
4	鳩山町大字赤沼字境田	1388 番	山林	1,381.00 m ²		6,905 円	

5	鳩山町大字赤沼字境田	1396番	山林	579.00㎡	2,895円
6	鳩山町大字赤沼字境田	1397番2	山林	464.00㎡	2,320円
7	鳩山町大字赤沼字境田	1392番	山林	800.00㎡	4,000円
8	鳩山町大字赤沼字境田	1393番	山林	1,063.00㎡	5,315円
9	鳩山町大字赤沼字境田	1404番1 (持分1/6)	山林	277.00㎡	1,385円
10	鳩山町大字赤沼字境田	1404番2 (持分1/6)	山林	54.60㎡	274円
11	鳩山町大字赤沼字境田	1404番1 (持分5/6)	山林	1,385.00㎡	6,925円
12	鳩山町大字赤沼字境田	1404番2 (持分5/6)	山林	273.30㎡	1,367円
13	鳩山町大字赤沼字境田	1379番	山林	2,046.00㎡	10,230円
14	鳩山町大字赤沼字境田	1394番	山林	1,041.00㎡	5,205円
15	鳩山町大字赤沼字境田	1381番	山林	2,105.00㎡	10,525円
16	鳩山町大字赤沼字境田	1390番	山林	1,796.00㎡	8,980円
17	鳩山町大字赤沼字境田	1397番3	山林	444.00㎡	2,220円
18	鳩山町大字赤沼字境田	1400番	山林	95.00㎡	475円
19	鳩山町大字赤沼字境田	1402番	山林	688.00㎡	3,440円
20	鳩山町大字赤沼字境田	1403番	山林	986.00㎡	4,930円
21	鳩山町大字赤沼字境田	1348番1	原野	703.00㎡	3,515円
22	鳩山町大字赤沼字境田	1362番2	山林	290.00㎡	1,450円
23	鳩山町大字赤沼字境田	1366番2	山林	377.00㎡	1,885円
24	鳩山町大字赤沼字境田	1348番2	原野	94.00㎡	470円
25	鳩山町大字赤沼字境田	1,362番	原野	31.00㎡	155円
26	鳩山町大字赤沼字境田	1344番	山林	1,536.00㎡	7,680円
27	鳩山町大字赤沼字境田	1380番1	山林	1,280.00㎡	6,400円
28	鳩山町大字赤沼字境田	1380番2	山林	386.00㎡	1,930円

小計① 116,856円

13 体験農園用地【産業振興課】

No.	所在地	地目	面積	単価	契約金額	備考	
1	鳩山町大字赤沼字石田	1452番	田	927.00㎡	15円/㎡/年	13,905円	特例的な単価
2	鳩山町大字赤沼字石田	1453番	田	1,865.00㎡		27,975円	
3	鳩山町大字赤沼字皿沼下	1322番	山林	982.00㎡		14,730円	
4	鳩山町大字赤沼字皿沼下	1321番4	山林	816.00㎡		12,240円	
5	鳩山町大字赤沼字石田	1454番	田	1,008.00㎡		15,120円	
6	鳩山町大字赤沼字石田	1457番	山林	781.00㎡		11,715円	
7	鳩山町大字赤沼字石田	1416番	原野	326.00㎡		4,890円	
8	鳩山町大字赤沼字石田	1449番	原野	437.00㎡		6,555円	
9	鳩山町大字赤沼字石田	1450番	畑	1,369.00㎡		20,535円	
10	鳩山町大字赤沼字石田	1451番	田	1,231.00㎡		18,465円	
11	鳩山町大字赤沼字石田	1417番	畑	715.00㎡		10,725円	
12	鳩山町大字赤沼字石田	1455番	畑	1,102.00㎡		16,530円	
13	鳩山町大字赤沼字石田	1460番	畑	1,764.00㎡		26,460円	

小計② 199,845円

14 里山景観保全用地【産業振興課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字赤沼字境田	1342 番	山林	1,606.00 m ²	5 円/m ² /年	8,030 円	特例的な単価
2	鳩山町大字赤沼字水穴前	1484 番	山林	825.00 m ²		4,125 円	
3	鳩山町大字赤沼字水穴前	1482 番 3	山林	800.00 m ²		4,000 円	
4	鳩山町大字赤沼字皿沼下	1321 番 1	山林	5,451.00 m ²		27,255 円	
5	鳩山町大字赤沼字水穴前	1476 番 4	山林	495.00 m ²		2,475 円	
6	鳩山町大字赤沼字皿沼下	1339 番 3	山林	44.00 m ²		220 円	
7	鳩山町大字赤沼字皿沼下	1339 番 1	山林	924.00 m ²		4,620 円	
8	鳩山町大字赤沼字皿沼下	1321 番 3	山林	588.00 m ²		2,940 円	
9	鳩山町大字赤沼字皿沼下	1333 番	田	673.00 m ²		3,365 円	
10	鳩山町大字赤沼字皿沼下	1339 番 2	山林	307.00 m ²		1,535 円	
11	鳩山町大字赤沼字境田	1341 番 1	山林	1,143.00 m ²		5,715 円	
12	鳩山町大字赤沼字水穴前	1480 番 1	畑	970.00 m ²		4,850 円	
13	鳩山町大字赤沼字水穴前	1482 番 2	山林	1,896.00 m ²		9,480 円	

小計③ 78,610 円

15 公園周辺環境保全用地【産業振興課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字赤沼字水穴前	1487 番 2	山林	768.00 m ²	5 円/m ² /年	3,840 円	特例的な単価
2	鳩山町大字赤沼字水穴前	1487 番 4	山林	368.00 m ²		1,840 円	
3	鳩山町大字赤沼字水穴前	1487 番 3 (持分 1/2)	山林	1,138.00 m ²		5,690 円	
4	鳩山町大字赤沼字水穴前	1487 番 3 (持分 1/2)	山林	1,138.00 m ²		5,690 円	
5	鳩山町大字赤沼字水穴前	1487 番 21	畑	622.00 m ²		3,110 円	
6	鳩山町大字赤沼字水穴前	1487 番 13	原野	818.00 m ²		4,090 円	

小計④ 24,260 円

16 自然景観用地【産業振興課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字赤沼字境田	1349 番	田	2,361.00 m ²	5 円/m ² /年	11,805 円	特例的な単価
2	鳩山町大字赤沼字境田	1359 番	田	1,437.00 m ²		7,185 円	
3	鳩山町大字赤沼字境田	1360 番	田	1,427.00 m ²		7,135 円	

小計⑤ 26,125 円

●決算書 P114 「体験農園用地等借上料 (①+②+③+④+⑤) 445,696 円」と一致

17 高野倉ふれあい自然公園用地【産業振興課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字高野倉字母貴	457 番 1	山林	656.00 m ²	5 円/m ² /年	3,280 円	特例的な単価
2	鳩山町大字高野倉字母貴	458 番 2	畑	811.00 m ²		4,055 円	
3	鳩山町大字高野倉字母貴	446 番 1	畑	434.00 m ²		2,170 円	
4	鳩山町大字高野倉字母貴	446 番 2	山林	97.00 m ²		485 円	
5	鳩山町大字高野倉字母貴	450 番	山林	196.00 m ²		980 円	
6	鳩山町大字高野倉字母貴	447 番	田	30.00 m ²		150 円	
7	鳩山町大字高野倉字母貴	440 番 1	山林	3,316.00 m ²	—	0 円	※3

8	鳩山町大字高野倉字母貴	441番2	宅地	296.01 m ²	—	0円	無償使用貸借
---	-------------	-------	----	-----------------------	---	----	--------

●決算書 P114 「高野倉ふれあい自然公園用地借上料 11,120円」と一致

18 ふれあい農園用地【産業振興課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字赤沼字久保田	1186番1	畑	2,185.00 m ²	20円/m ² /年	43,700円	特例的な単価
2	鳩山町大字赤沼字竹ノ城	1238番	畑	646.00 m ²		12,920円	
3	鳩山町大字赤沼字竹ノ城	1237番	畑	1,238.00 m ²		24,760円	
4	鳩山町大字赤沼字竹ノ城	1240番	畑	779.00 m ²		15,580円	
5	鳩山町大字赤沼字久保田	1178番	山林	399.00 m ²		7,980円	
6	鳩山町大字赤沼字久保田	1185番	畑	2,036.00 m ²		40,720円	
7	鳩山町大字赤沼字竹ノ城	1236番	畑	706.00 m ²		14,120円	

●決算書 P114 「ふれあい農園用地借上料 159,780円」と一致

19 桜街道整備事業の桜植栽及び管理敷地【まちづくり推進課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字須江字峠平	628番6	畑	77.50 m ²	—	0円	無償使用貸借
2	鳩山町大字須江字峠平	628番6	畑	77.50 m ²		0円	
3	鳩山町大字須江字峠平	628番6	畑	77.50 m ²		0円	
4	鳩山町大字須江字峠平	628番1	畑	120.00 m ²		0円	
5	鳩山町大字須江字笛吹峠	618番1	原野	67.00 m ²		0円	
6	鳩山町大字須江字笛吹峠	620番1	山林	215.00 m ²		0円	
7	鳩山町大字須江字笛吹峠	625番1	山林	129.00 m ²		0円	
8	鳩山町大字須江字笛吹峠	622番1	山林	190.00 m ²		0円	

20 資材置場等用地【まちづくり推進課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字赤沼字高在家	265番1	畑	30.00 m ²	110円/m ² /年	3,300円	
2	鳩山町大字赤沼字上ノ前	2002番1	畑	1,825.00 m ²	110円/m ² /年	200,750円	

●決算書 P118 「資材置場等用地借上料 204,050円」と一致

21 農業啓発体験用地（今小）【教育総務課（小学校）】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字赤沼	353番地1	畑	165.00 m ²	110円/m ² /年	18,150円	

●決算書 P132 「農業啓発体験用地借上料 18,150円」と一致

22 駐車場用地【教育総務課（小学校）】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字赤沼	374番地1	畑	585.00 m ²	110円/m ² /年	64,350円	

●決算書 P132 「駐車場用地借上料 64,350円」と一致

23 幼稚園用地【教育総務課（幼稚園）】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字赤沼	1736番地	雑種地	622.00 m ²	110円/m ² /年	68,420円	

●決算書 P142 「幼稚園用地借上料 68,420円」と一致

24 職員臨時駐車場用地【教育総務課（給食センター）】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町楓ヶ丘四丁目	857 番地 10	雑種地	764.00 m ²	110 円/m ² /年	69,995 円	H28.6.1 から借地

●決算書 P162 「職員臨時駐車場用地借上料 69,995 円」と一致

25 文化会館用地【生涯学習課（公民館）】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字赤沼字久保	1706 番地 1	山林	1,307 m ²	110 円/m ² /年	143,770 円	
2	鳩山町大字赤沼字久保	1712 番地 1	畑	1,081 m ²		118,910 円	
3	鳩山町大字赤沼字久保	1734 番地 1	畑	1,110 m ²		122,100 円	
4	鳩山町大字赤沼字鳩山	1915 番地	山林	1,017 m ²		111,870 円	

●決算書 P146 「文化会館用地借上料 496,650 円」と一致

26 埋蔵文化財収蔵庫用地【生涯学習課（文化財）】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字熊井字天ヤオネ	63 番地 1	畑	918 m ²	110 円/m ² /年	100,980 円	

●決算書 P152 「埋蔵文化財収蔵庫用地借上料 100,980 円」と一致

27 新沼窯跡史跡指定地【生涯学習課（文化財）】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字泉井字新沼	1093 番地	山林	2,130 m ²	110 円/m ² /年	234,300 円	

●決算書 P152 「新沼窯跡史跡指定地借上料 234,300 円」と一致

28 亀井運動場用地【生涯学習課（生涯スポーツ）】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字泉井字児沢	1517 番地	雑種地	2,875 m ²	110 円/m ² /年	316,250 円	
2	鳩山町大字泉井字鶴舞	806 番地 1	雑種地	2,242 m ²		246,620 円	
3	鳩山町大字泉井字児沢	1030 番地 2	雑種地	1,868 m ²		205,480 円	
4	鳩山町大字泉井字鶴舞	809 番地 1	雑種地	819 m ²		90,090 円	
5	鳩山町大字泉井字児沢	1037 番地 3	雑種地	984 m ²		108,240 円	
6	鳩山町大字泉井字児沢	1518 番地 3	雑種地	1,154 m ²		126,940 円	
7	鳩山町大字泉井字鶴舞	805 番地 1	雑種地	551 m ²		60,610 円	
8	鳩山町大字泉井字児沢	1515 番地 1	山林	53 m ²		5,830 円	
9	鳩山町大字泉井字児沢	1518 番地 2	原野	189 m ²		20,790 円	

●決算書 P158 「亀井運動場用地借上料 1,180,850 円」と一致

29 亀井運動場駐車場用地【生涯学習課（生涯スポーツ）】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字泉井字鶴舞	831 番地 1	畑	1,150 m ²	110 円/m ² /年	126,500 円	
2	鳩山町大字泉井字鶴舞	831 番地 2	畑	527 m ²		57,970 円	
3	鳩山町大字泉井字鶴舞	833 番地	畑	353 m ²		38,830 円	
4	鳩山町大字泉井字鶴舞	829 番地 2	畑	173 m ²		19,030 円	
5	鳩山町大字泉井字鶴舞	830 番地	畑	334 m ²		36,740 円	

●決算書 P158 「亀井運動場駐車場用地借上料 279,070 円」と一致

30 中央庭球場用地【生涯学習課（生涯スポーツ）】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字熊井字下海道下	19 番地 1	田	1,935 m ²	110 円/m ² /年	212,850 円	
2	鳩山町大字赤沼字雷	1658 番地 3	畑	450 m ²		49,500 円	
3	鳩山町大字熊井字下海道下	26 番地 1	畑	84 m ²		9,240 円	
4	鳩山町大字熊井字下海道下	28 番地 1	畑	398 m ²		43,780 円	
5	鳩山町大字熊井字下海道下	27 番地	畑	1,062 m ²		116,820 円	
6	鳩山町大字赤沼字雷	1656 番地 1	畑	2,284 m ²		251,240 円	

●決算書 P158 「中央庭球場用地借上料 683,430 円」と一致

31 中央庭球場駐車場用地【生涯学習課（生涯スポーツ）】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字熊井字下海道下	29 番地 1	田	870 m ²	110 円/m ² /年	95,700 円	
2	鳩山町大字赤沼字雷	1659 番地 1	畑	654 m ²		71,940 円	

●決算書 P158 「中央庭球場駐車場用地借上料 167,640 円」と一致

参考資料

1 防災行政無線施設子局用地【総務課】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字大橋字宮ノ沢	621 番 1	宅地	1.00 m ²	1,000 円/m ² /年	1,000 円	
2	鳩山町大字竹本字越前	365 番	山林	1.00 m ²	1,000 円/m ² /年	1,000 円	
3	鳩山町大字竹本字表	810 番 1	畑	1.00 m ²	1,000 円/m ² /年	1,000 円	
4	鳩山町大字竹本字東	1426 番	畑	1.00 m ²	1,000 円/m ² /年	1,000 円	
5	鳩山町大字熊井字八幡前	219 番 2	畑	1.00 m ²	1,000 円/m ² /年	1,000 円	
6	鳩山町大字小用字中島	399 番 1	境内地	1.00 m ²	1,000 円/m ² /年	1,000 円	
7	鳩山町大字大豆戸字宮ノ前	788 番 1	境内地	1.00 m ²	1,000 円/m ² /年	1,000 円	
8	鳩山町大字今宿字仮宿	32 番 1	畑	1.00 m ²	1,000 円/m ² /年	1,000 円	
9	鳩山町大字今宿字安養地	503 番 2	境内地	1.00 m ²	1,000 円/m ² /年	1,000 円	
10	鳩山町大字石坂字唐澤	332 番 2	雑種地	1.00 m ²	1,000 円/m ² /年	1,000 円	
11	鳩山町大字赤沼字宮山台	893 番 2	境内地	1.00 m ²	1,000 円/m ² /年	1,000 円	

2 農業集落排水中継ポンプ操作盤設置【産業振興課・農業集落排水事業特別会計】

No.	所在地		地目	面積	単価	契約金額	備考
1	鳩山町大字大橋字向	343 番地	畑	1.00 m ²	1,000 円/m ² /年	1,000 円	10 年間一括 払 (H28~H37 分 : H28 支払 済)
2	鳩山町大字大橋字川間	196 番地	宅地	1.00 m ²			

資料 2 - (4)

平成 27 年度繰越明許費決算調書

1 全体調書

No.	事業名	備考
(1)	情報セキュリティ強化対策等事業	(総務費)
(2)	地方創生加速化交付金事業	(総務費)
(3)	個人番号カード等交付事業	(総務費)

(1) 情報セキュリティ強化対策等事業（総務費）

平成 27 年 12 月 18 日に平成 27 年度国の補正予算が閣議決定され、これに伴う国の平成 27 年度補正予算（第 1 号）が平成 28 年 1 月 20 日に成立した。当町では、情報セキュリティ強化対策事業費補助金を活用し、情報システムの強靱性向上のため、平成 28 年第 1 回定例会（3 月定例議会）における補正予算（第 4 号）において、情報セキュリティ強化対策委託料の予算化を図るとともに、繰越明許費の設定も併せて行い、事業費を 28 年度に繰り越したものである。

この繰越事業に係る歳入歳出決算の状況は次のとおりであり、本繰越事業は完了した。

[歳入]

(単位：円)

科 目				繰越事業費 繰越財源充当額	収入済額	支出済額へ の充当額
款	項	目	節			
14		国庫支出金		6,150,000	6,149,000	6,149,000
	2	国庫補助金		6,150,000	6,149,000	6,149,000
	1	総務費国庫補助 金		6,150,000	6,149,000	6,149,000
			2 情報セキュ リティ強化対 策事業費補助 金	6,150,000	6,149,000	6,149,000
19		繰越金		50,000	50,000	49,824
	1	繰越金		50,000	50,000	49,824
		1 繰越金		50,000	50,000	49,824
			1 前年度繰越金	50,000	50,000	49,824
21		町債		6,100,000	6,100,000	6,100,000
	1	町債		6,100,000	6,100,000	6,100,000
		5 総務債		6,100,000	6,100,000	6,100,000
			1 一般補助施設 整備事業債	6,100,000	6,100,000	6,100,000
計				12,300,000	12,299,000	12,298,824

[歳出]

(単位：円)

科 目				予 算 現 額			支出済額	不用額
款	項	目	節	繰越事業費 繰 越 額	流用増 △減額	計		
2		総務費		12,300,000		12,300,000	12,298,824	1,176
	3	政策財政費		12,300,000		12,300,000	12,298,824	1,176
		7 電算管理費		12,300,000		12,300,000	12,298,824	1,176
			13 委託料	12,300,000		12,300,000	12,298,824	1,176
計				12,300,000		12,300,000	12,298,824	1,176

(2) 地方創生加速化交付金事業（総務費）

一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として、「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」や「安心につながる社会保障」も含め「新・三本の矢」の取組に貢献するため、平成27年12月18日に平成27年度国の補正予算が閣議決定され、これに伴う国の平成27年度補正予算(第1号)が平成28年1月20日に成立した。当町では、地方創生加速化交付金を活用し、鳩山町「生涯活躍のまち」構想推進による住宅団地アクティブ化・キックオフ事業を実施するため、平成28年第1回定例会(3月定例議会)における補正予算(第5号)において、地方創生費の予算化を図るとともに、繰越明許費の設定も併せて行ったところである。なお、当該対象事業の実施期間確保等の関係から、事業に要する必要経費について繰越明許費の設定も併せて行い、事業費を28年度に繰り越したものである。

この繰越事業に係る歳入歳出決算の状況は次のとおりであり、本繰越事業は完了した。

[歳入]

(単位：円)

科 目				繰越事業費 繰越財源充当額	収入済額	支出済額へ の充当額
款	項	目	節			
14		国庫支出金		81,000,000	78,301,633	78,301,633
	2	国庫補助金		81,000,000	78,301,633	78,301,633
	1	総務費国庫補助 金		81,000,000	78,301,633	78,301,633
			6 地方創生加 速化交付金	81,000,000	78,301,633	78,301,633
19		繰越金		1,000,000	1,000,000	0
	1	繰越金		1,000,000	1,000,000	0
		1 繰越金		1,000,000	1,000,000	0
			1 前年度繰越金	1,000,000	1,000,000	0
計				82,000,000	79,301,633	78,301,633

[歳出]

(単位：円)

科 目				予 算 現 額			支出済額	不用額
款	項	目	節	繰越事業費 繰越額	流用増 △減額	計		
2		総務費		82,000,000		82,000,000	78,301,633	3,698,367
	3	政策財政費		82,000,000		82,000,000	78,301,633	3,698,367
		14 地方創生費		82,000,000		82,000,000	78,301,633	3,698,367
			7 賃金	2,000,000		2,000,000	386,190	1,613,810
			13 委託料	32,000,000		32,000,000	31,888,520	111,480
			15 工事請負費	26,000,000		26,000,000	25,920,000	80,000
			17 公有財産購 入費	5,000,000		5,000,000	5,000,000	0
			18 備品購入費	11,000,000		11,000,000	10,106,923	893,077
			19 負担金、補助 及び交付金	6,000,000		6,000,000	5,000,000	1,000,000
計				82,000,000		82,000,000	78,301,633	3,698,367

(3) 個人番号カード等交付事業（総務費）

個人番号カード等交付事業（マイナンバー制度関連の事業）の事務委任に係る交付金に対する国庫補助金が追加交付されることにより、平成28年第1回定例会（3月定例議会）における補正予算（第4号）において、個人番号カード等交付事業交付金の予算化を図るとともに、繰越明許費の設定も併せて設定し事業費を28年度に繰り越したものである。

この繰越事業に係る歳入歳出決算の状況は次のとおりであり、本繰越事業は完了した。

[歳入]

(単位：円)

科 目				繰越事業費 繰越財源充当額	収入済額	支出済額へ の充当額
款	項	目	節			
14		国庫支出金		2,408,000	1,241,000	1,241,000
	2	国庫補助金		2,408,000	1,241,000	1,241,000
	1	総務費国庫補助 金		2,408,000	1,241,000	1,241,000
			3 個人番号カ ード交付事業 費補助金	2,408,000	1,241,000	1,241,000
計				2,408,000	1,241,000	1,241,000

[歳出]

(単位：円)

科 目				予 算 現 額			支出済額	不用額
款	項	目	節	繰越事業費 繰越額	流用増 △減額	計		
2		総務費		2,408,000		2,408,000	1,241,000	1,167,000
	5	戸籍住民基本台 帳費		2,408,000		2,408,000	1,241,000	1,167,000
		1 戸籍住民基本 台帳費		2,408,000		2,408,000	1,241,000	1,167,000
			19 負担金、補助 及び交付金	2,408,000		2,408,000	1,241,000	1,167,000
計				2,408,000		2,408,000	1,241,000	1,167,000

資料 2 - (5)

平成 28 年度継続費繰越調書

1 全体調書

No.	事業名	備 考
(1)	給食センター施設改築事業	(教育費)

(1) 給食センター施設改築事業（教育総務費）

継続費として設定した平成 28 年度の年割額に係る歳出予算の経費が、当該年度内での支出が完了しなかったことから、その執行残額を継続費の最終年度である平成 29 年度に通次繰り越したものである。

款 10 教育費 項 7 給食センター費 目 1 給食センター管理費

(単位：円)

節	翌年度 繰越額	左 の 財 源 内 訳			
		繰越金	特定財源		
			国県支出金	地方債	その他
11 需用費	690,000	690,000			
計	690,000	690,000			

資料 2 - (6)

平成 28 年度繰越明許費繰越調書

1 全体調書

No.	事業名	備考
(1)	(仮称)鳩山町包括ケアセンター整備事業	(総務費)
(2)	(仮称)コミュニティ・マルシェ給排水等整備改修事業	(総務費)
(3)	個人番号カード等交付事業	(総務費)
(4)	給食センター施設改築事業	(教育費)
(5)	建物等移転補償事業	(毛呂山・越生都市計画事業 今宿東土地区画整理事業 特別会計)

(1) (仮称)鳩山町地域包括ケアセンター整備事業(総務費)

(仮称)鳩山町地域包括ケアセンター整備工事については、高齢者が住みなれた地域での生活を継続することができる包括的な支援及びサービス提供体制を構築するための施設として、国の交付金を活用し旧松栄小学校跡地に整備を進めるため、平成28年度当初予算での予算計上及び平成28年度第4回定例会(12月定例議会)において補正予算を編成するとともに、繰越明許費の設定を併せて行ったところである。なお、当該事業の施工期間確保等の関係から、事業に要する必要経費について本年度支出を完了することができないと見込まれたため、平成29年度に繰り越したものである。

款 2 総務費 項 2 はとやま再生・創造費 目 2 都市再構築戦略事業費

(単位:円)

節	翌年度 繰越額	左の財源内訳					
		既収入 特定財源	未収入特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
13委託料	7,233,000	0	3,616,000	0	3,500,000	0	117,000
15工事請負費	745,796,000	0	421,430,000	0	316,200,000	0	8,166,000
計	753,029,000	0	425,046,000	0	319,700,000	0	8,283,000

(2) (仮称)コミュニティ・マルシェ給排水等整備改修事業(総務費)

当該事業は、平成28年12月に取得した旧西友リビング館に整備する(仮称)コミュニティ・マルシェ内に多目的トイレ等整備改修工事を町の単独事業として実施するものである。当町では、平成28年第4回定例会(12月定例議会)における補正予算(第5号)及び平成29年第1回定例会(3月定例議会)における補正予算(第7号)において、関連経費の予算化を図るとともに、補正予算(第7号)で繰越明許の設定も併せて行ったところである。当該事業の施工期間確保等の関係から、事業に要する必要経費について本年度に支出を完了することができないと見込まれたため、平成29年度に繰り越したものである。

款 2 総務費 項 3 政策財政費 目 14 地方創生費

(単位:円)

節	翌年度 繰越額	左の財源内訳					
		既収入 特定財源	未収入特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
13委託料	300,000	0	0	0	0	0	300,000
15工事請負費	8,000,000	0	0	0	0	0	8,000,000
計	8,300,000	0	0	0	0	0	8,300,000

(3) 個人番号カード等交付事業(総務費)

マイナンバー制度導入に伴い、個人番号カード関連事務を地方公共団体情報システム機構へ委任することに係る経費について平成28年度当初予算に計上したが、平成28年度中の執行が無く、また、総務省自治行政局住民制度課から平成28年12月20日付け事務連絡において、平成28年度個人番号カード交付事業費補助金を平成29年度へ繰り越すようにとの指示があったことから、平成29年第1回定例会(3月定例議会)における補正予算(第6号)において繰越明許費を設定し、事業費を平成29年度に繰り越したものである。

款 2 総務費 項 5 戸籍住民基本台帳費 目 1 戸籍住民基本台帳費

(単位:円)

節	翌年度 繰越額	左の財源内訳					
		既収入 特定財源	未収入特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	

19 負担金、補助及び交付金	1,113,000	0	1,113,000	0	0	0	0
計	1,113,000	0	1,113,000	0	0	0	0

(4) 給食センター施設改築事業（教育費）

昨年8月24日に未来への投資を実現する経済対策が閣議決定され、これに伴う国の平成28年度補正予算（第2号）が10月11日に成立した。当町では、学校給食センター改築工事のⅡ期工事分及び関連する単独事業を前倒して実施するため、平成29年第1回定例会（3月定例議会）における補正予算（第6号）において関連経費の予算化を図るとともに、繰越明許費の設定も併せて行ったところである。なお、当該対象事業の施工期間確保等の関係から、事業に要する必要経費について本年度に支出を完了することができないと見込まれたため、平成29年度に繰り越したものである。

款 10 教育費 項 7 給食センター費 目 1 給食センター管理費

(単位：円)

節	翌年度繰越額	左の財源内訳					
		既収入 特定財源	未収入特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
12 役務費	280,000	0	0	0	0	0	280,000
13 委託料	5,352,000	0	0	0	5,100,000	0	252,000
15 工事請負費	344,958,000	0	29,008,000	0	310,400,000	0	5,550,000
18 備品購入費	90,000,000	0	14,880,000	0	60,200,000	0	14,920,000
27 公課費	120,000	0	0	0	0	0	120,000
計	440,710,000	0	43,888,000	0	375,700,000	0	21,122,000

(5) 建物等移転補償事業（毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業特別会計）

本事業は、区画整理事業地内における建物等移転補償事業であり、平成28年第1回定例会（3月定例議会）における当初予算において当該事業費の予算化を図ったものである。しかし、本事業を進める中で、一部の地権者との間において移転方法等の最終的な協議・調整に当初の予定を上回る日数を要したため、事業着手が遅れ年度内完了が困難と見込まれたことから、平成28年第4回定例会（12月定例議会）における補正予算（第2号）において繰越明許費の設定を行い、本年度に支出を完了することのできない必要経費について、事業費を平成29年度に繰り越したものである。

款 1 事業費 項 1 今宿東事業費 目 1 今宿東事業費

(単位：円)

節	翌年度繰越額	左の財源内訳					
		既収入 特定財源	未収入特定財源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
22 補償、補填及び賠償金	23,590,000	0	0	0	21,200,000	0	2,390,000
計	23,590,000	0	0	0	21,200,000	0	2,390,000